

取扱説明書

モバイルPC 圏MP-C101

お買い上げありがとうございます。

ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。 特に「安全上のご注意」(6~12ページ)は、必ずお読みいただき、 安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。



HQINST-025D

この順序でご利用ください

箱の中身を確認してください。

お使いになる前に、梱包箱の中に下記の物があるか、ご確認ください。 万一不備な点がありましたら、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●InterLink本体



●専用ACアダプター(AA-MP101)



●モジュラーケーブル (長さ2m)



●シリアルケーブル(長さ1.5m)



- ●取扱説明書(本書)
- ●アプリケーションCD-ROM
- ●デスクトップソフトウェア for Microsoft® Windows® CE CD-ROM
- ●保証書



「安全上のご注意」「使用上のご注意」をご覧ください。

(→6~15ページ)



InterLinkの楽しい用途を知っていただくため、「InterLinkの楽しみ方」をご覧ください。 (→16~23ページ)



InterLinkの基本的な取り扱いと操作を知るために、 1章「取り扱いを覚えよう」、

2章「アプリケーションを楽しむ前に」を順にご覧ください。

(→25~38ページ、→39~63ページ)



3~5章は、やってみたいことが載っている章から、ご覧ください。

(→65~80ページ、→81~95ページ、→97~103ページ)



6章以降は、必要に応じてご覧ください。 (→105~

(→105~166ページ)

■ 機種名やアプリケーション名などの正式名称

| 本書での表記 | 正式名称 | |
|--------------------------|--|--|
| InterLink | InterLink (MP-C101) | |
| Windows CE | Microsoft® Windows® CE, Handheld PC Professional Edition, Version 3.0 日本語版 | |
| Windows CEサービス | Microsoft® Windows® CE サービス Version 2.21 | |
| Windows 95 | Microsoft® Windows® 95 Operating System | |
| Windows 98 | Microsoft® Windows® 98 Operating System | |
| Windows NT 4.0 | Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0 | |
| Pocket Excel | Microsoft® Pocket Excel | |
| Pocket Word | Microsoft® Pocket Word | |
| Pocket Internet Explorer | Microsoft® Pocket Internet Explorer | |
| Pocket Access | Microsoft® Pocket Access | |
| Pocket PowerPoint | Microsoft® Pocket PowerPoint® | |
| Pocket Outlook | Microsoft® Pocket Outlook™ | |

■ 登録商標について

Microsoft, MS, MSN, PowerPoint, ActiveX, ActiveSync. Outlook, InkWriter, Windows, Windows NT, Visual Basic, Visual C++, および Powered by Windows CE ロゴ は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国の登録商標または商標です。

This software is based on the work of the Independent JPEG Group.

The GIFLIB distribution is Copyright® 1997 Eric S. Raymond

The Graphics Interchange Format[®] is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF^(SM) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated.

Original English text® Longman Group UK Limited 1993

Amended English text^o Longman Group UK Limited/Kirihara Uni 1999

Japanese texto Kirihara Uni 1999

This edition of the Longman/Kirihara English Japanese and Japanese English Dictionary is made by arrangement with Longman Group UK Limited, London.

Copyright® 1993-1999, AltoCom, Inc. All rights reserved.

コンパクトフラッシュは米国 SanDisk Corporation の登録商標です。

本書の画面キャプチャーは CaptCE を使用しています。

その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

| は | じ | め | ات |
|---|---|-----|----|
| | | -53 | 安全 |
| | | - 4 | 市田 |

| | | 女王上りご注息 | |
|---|----|--------------------------------------|----|
| | | 使用上のご注意 | |
| | | InterLink の楽しみ方 | 16 |
| | 1章 | 取り扱いを覚えよう ~初めて電源を入れたら~ | |
| | | 各部のなまえ | 26 |
| | | 電源を入れる | 28 |
| | | セットアップ (初めて電源を入れたとき) | 32 |
| | | 操作する | 33 |
| | | スタイラスを使う | 34 |
| | | キーボードを使う | 35 |
| | | ディスプレイを調整する | 36 |
| | | 電源を切る | 37 |
| 基 | 2章 | アプリケーションを楽しむ前に | |
| 本 | | Windows CEの画面について | |
| | | アプリケーションを起動する | 42 |
| | | アプリケーションを終了する | 47 |
| | | 文字を入力する | 48 |
| | | ヘルプを見る | 51 |
| | | 使い方に合わせてカスタマイズする | 52 |
| | | 通信の準備と設定をする | 53 |
| | | メール送受信のための設定をする | 60 |
| | | PC 接続の準備をする ~ Windows CE サービスのインストール | 62 |
| | | 付属の CD-ROM からアプリケーションをインストールする | 63 |
| | 3章 | メールを楽しもう | |
| | | 自宅でメールを送り、出張の準備をする | 66 |
| | | メールにファイルを添付して公衆電話から送る | 72 |
| | | 携帯電話・PHS でメールの送信と受信を一度に行う | |
| | | 受信メールを読み、添付ファイルを開く | 76 |
| 実 | | 知っていると便利 | 78 |
| 践 | 4章 | 画像を楽しもう | |
| | | デジタルスチルカメラの画像でアルバムを作る | 82 |
| | | 写真にいたずら書きをする | 86 |
| | | USB キャプチャーカメラで動画を録る | 89 |
| | | 作った画像をメールで送る | 92 |
| | | 知っていると便利 | |

| 実 | 5章 | 音を楽しもう |
|----------|-------|-----------------------------|
| 夫 | | MIDI 演奏を聴く98 |
| 践 | | ポータブル MD レコーダーをつないで楽しむ101 |
| Samuel . | | 知っていると便利 100、103 |
| | 6章 | その他の便利な使い方 |
| | | よく使うアプリケーションをイチ押しキーに登録する106 |
| | | Web ページをわかりやすく表示する108 |
| | | 単語の意味をすぐに調べる109 |
| | | スタイラスですばやくメモする110 |
| | | 顔を見ながら会話する111 |
| | | 省電力の設定をする112 |
| | 7章 | |
| - | / 早 | 他の機器と接続する |
| 拡 | | 電話回線につなぐ114 |
| 35 | | 携帯電話や PHS につなぐ 116 |
| 張 | | USB キャプチャーカメラを取り付ける118 |
| | | 赤外線通信対応のデジタルスチルカメラを使う 119 |
| 1 2 | | ビデオ機器をつなぐ120 |
| | | ポータブル MD レコーダーをつなぐ122 |
| | | パソコンにつなぐ123 |
| | | 赤外線通信対応のプリンタを使う124 |
| | | 外部ディスプレイにつなぐ125 |
| | | USB マウスをつなぐ126 |
| | | PC カードを使う 127 |
| | | コンパクトフラッシュカードを使う129 |
| | 8章 | その他の情報 |
| | | リセットのしかたと注意132 |
| | | アプリケーション一覧133 |
| 情 | | Microsoft 社製アプリケーションの使い方 |
| | | リモートネットワークの設定154 |
| 報 | 1 | 製品仕様160 |
| | | 用語説明161 |
| : | | 故障と思う前に |
| 1. | | 索引 |
| - | | |
| 登録 | 哲標につ(| ハて |

安全上のご注意

■絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。 これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止する ための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

●この表示を無視して、誤った取扱いをする と、死亡または重傷を負う可能性が想定さ れる内容を示しています。

●この表示を無視して、誤った取扱いをする と、傷害を負ったり物的損害が想定される 内容を示しています。

絵表示の説明

⚠ 記号は、注意(警告を含む)をうながす内容があることをお知らせするものです。図の中 ーー や近くに具体的な「注意喚起」内容を示しています。



一般的注意



感電注意



指をはさまれ ないよう注意

○ 記号は、禁止の行為であることをお知らせするものです。図の中や近くに具体的な「禁止」 内容を示しています。





分解禁止



水ぬれ禁止





風呂、シャワー室 ぬれ手禁止 での使用禁止

記号は、行為を強制したり指示する内容をお知らせするものです。図の中や近くに具体的 な「指示」内容を示しています。



一般的指示



雷源プラグを コンセントから抜け

万一、異常が起きたら

↑警告 次のことをお守りください。

次のような異常が発生したときは、そのまま使用しないでください。 火災や感電の原因となります。



- ・煙が出ている、変なにおいがするなどの異常のとき。
- ・画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- ・内部に水や物が入ってしまったとき。
- ・落としたり、ケースが破損したとき。
- ・ACアダプターのケーブルが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。

このようなときはすぐに本機の電源を切り、ACアダプターのプラグをコンセントから抜いてください。煙が出ているときは、止まったことを確かめてから、販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対におやめください。

使用環境について

↑警告 次のことをお守りください。

・風呂場など水のある場所で使わないでください。本機の内部に水が入ると、 火災や感電の原因となります。水などの入った容器(コップ、化粧品、薬品 など)はこぼれたりしますので、本機の上に置かないでください。また、雨 天、降雪中、海岸、水辺で使用するときはご注意ください。





設置・接続をされるとき

↑警告 次のことをお守りください。

・表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災や感電の原因となります。





・ぬれた手でACアダプターやモジュラーケーブル、PCカード、コンパクトフラッシュカードなどの接続や抜き差しをしないでください。 感電の原因となることがあります。







お使いになるとき

↑ 警告 次のことをお守りください。

・本機のケースを外したり、分解や改造をしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。,





・航空機内や病院など、使用が制限または禁止されている場所では、本機の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となることがあります。



・運転中、本機を使用しないでください。本機を利用する場合は、車を安全な場所に停めてからお使いください。運転しながら本機を使用すると、片手運転や運転への注意力低下により、とっさのハンドル操作が難しくなるなど、事故を引き起こすような危険につながります。



・本機の開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。特にお子さまのいるご家庭ではご注意ください。





・本機をお使いになるときは、健康のため 1 時間ごとに 10~15分の休憩をとり、目や手を休めてください。使用中に体の一部に不快感を感じたときは、すぐに本機の使用をやめてください。万一、休憩しても不快感が取れないときは、医師の診察を受けてください。



・歩行中に本機を使用しないでください。交通事故などの原因になります。



・付属の CD-ROM は、CD-ROM 対応プレーヤー以外では使用しないでください。 大音量によって聴力に障害が生じたり、スピーカーが破損するおそれがあります。



単3形電池でお使いになるとき

本機では、単3形のニッケル水素蓄電池とアルカリ乾電池、リチウム乾電池のいずれかが使用できます。

ニッケル水素蓄電池を使用される場合は、充電器の取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。当社別売のニッケル水素蓄電池の容量は1600mAhです。

♠警告 次のことをお守りください。

・ 乾電池は、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。使用する際も小さなお子さまが使用機器から取り出さないように注意してください。



・乾電池は充電しないでください。



・使用後は、本機の電源を必ず切ってください。



・取り扱いを誤ると、乾電池が液もれしたり、発火、破裂する原因となります。乾電池が液もれして目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。そのままにしておくと障害を起こすおそれがあります。



・乾電池が液もれし、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。



・乾電池が液もれしたり、異臭、変色など今までと異なることに気づいたときは直 ちに火気より遠ざけ使用しないでください。



・電池を使用するときは次のことをお守りください。液もれ、発火、破裂の原因となります。



- ・プラス(+)とマイナス(-)の向きを機器の表示のとおりに正しく入れること。
- ・指定以外の電池を使用しないこと。
- ・種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて入れないこと。
- ・端子をショートさせないこと。金属小物(鍵、アクセサリ、ネックレス)といっしょに持ち運んだり、保管しないこと。
- ・水や火の中に投入したり、加熱しないこと。
- ・ 直射日光の強いところや炎天下の車内、熱器具の周辺など、高温になる場所で 使用、放置しないこと。
- ・強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないこと。
- ・分解、改造しないこと。





・使用済みの乾電池は一般のゴミといっしょに捨てずに、販売店にお持ちください。 電池を分別収集している自治体では、その条例に基づいて廃棄してください。



電源コード(AC アダプター)でお使いになるとき

↑ 警告 次のことをお守りください。

・表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



・専用のACアダプターをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となることがあります。





・ACアダプターのケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱しないでください。ケーブルが破損して、火災や感電の原因となります。



・ACアダプターのケーブルの上に重い物を乗せたり、ケーブルが本機や充電器の下敷きにならないようにしてください。ケーブルに傷がついて、火災や感電の原因となります。ケーブルを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重い物を乗せてしまうことがあります。



・ACアダプターやコンセントにほこりや金属が付着したまま使用しないでください。ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布でふいてください。



・雷が鳴り出したら、ACアダプターに触れないでください。感電の原因となります。



通信機能をお使いになるとき

本機の内蔵モデムは、日本国内の一般公衆回線(NTTの引き込み線)で使用することを目的にして設計しています。通信機能(AV リンクメール、Pocket Internet Explorer など)を使用するときは、次の点に注意してください。

↑ 警告 次のことをお守りください。

・本機の内蔵モデム、内蔵PIAFS接続機能、内蔵デジタル携帯電話接続機能は、日本国内での使用を目的に設計されていますので、海外では使用できません。



・本機の内蔵モデムを、ISDN対応公衆電話のデジタル側のジャックや、PBX(構内 交換機)、家庭用キーテレホン、ビジネスホン、ホームテレホンに接続しないでく ださい。通信できないだけでなく、故障や発熱、火災の原因となることがありま す。



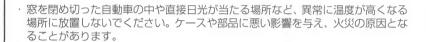
・ 落雷のおそれのあるときは、モジュラーケーブルや通信用ケーブルを本機から取り外してください。火災の原因となることがあります。



使用環境について

↑注意 次のことをお守りください。

- ・次のような所には置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。
 - ・湿気やほこりの多い所
 - ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたる所
 - 熱器具の近くなど
 - ・窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たって温度が上がる所
 - ・窓際など水滴の発生しやすい所







設置・接続をされるとき

↑注意 次のことをお守りください。

・ACアダプターのケーブル、モジュラーケーブルを熱器具に近づけないでください。ケーブルの被ふくが溶けて、火災や感電の原因となることがあります。



・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



・他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、各々の取扱説明書に従ってください。また、指定以外のコードを使用したり延長したりすると、発熱し、火災ややけどの原因となることがあります。





お使いになるとき

↑注意 次のことをお守りください。

・本機のふた(液晶画面)を閉じるとき、手を入れないでください。手をはさまれて、けがの原因となることがあります。特に小さいお子さまのいるご家庭では注意してください。





・万一、液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。また、目に入った場合は流水で15分以上洗浄した後、医師に相談してください。



・使用しないときは、安全のため、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

電源コード(ACアダプター)でお使いになるとき

⚠注意 次のことをお守りください。

・ACアダプターは、コンセントの根本まで確実に差し込んでください。ショートや 発熱により、火災や感電の原因となることがあります。



・ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



・ACアダプターはケーブルの部分を持って抜かないでください。ケーブルを引っ張ると傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。ACアダプターを持って外してください。



・移動させる場合は電源を切り、必ず AC アダプターをコンセントから外し、外部の接続ケーブルなどをはずしたことを確認してください。ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



・旅行などで長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず AC アダプターを コンセントから外してください。火災の原因となることがります。



・通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。 風通しをよくするため、布などにくるまないでください。毛足の長い敷物(じゅうたんや毛布など)の上に放置しないでください。



・通電中の本体やACアダプターに長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



・本体や AC アダプターを布や布団などでおおった状態で使用しないでください。 熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。



使用上のご注意

■ 瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。 (社団法人日本電子工業振興会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

- ■この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。
- ■本機は使用誤り、故障、修理により、記憶内容が変化、消失する場合があります。重要な内容は 必ずデータのバックアップを取っておいてください。付属の「デスクトップソフトウェア for Microsoft® Windows® CE CD-ROM」を使用してPCにバックアップしたり、市販のATAフ ラッシュメモリカードやコンパクトフラッシュメモリカードにコピーすることができます。 記憶内容の変化、消失については、弊社では一切その責任は負いませんのであらかじめご了承く ださい。
- ■戸外の光や照明が画面に反射しているところでは見にくくなります。場所を変えてご使用ください。
- ■本機や電池を廃棄するときは、各地方自治体の条例にしたがって処理してください。詳しくは、最寄りの地方自治体にお問い合わせください。
 - ・下記の温度/湿度条件でご使用ください。 この範囲外で使用すると、故障の原因とな ることがあります。

温度:5~35℃

湿度:35~80%(ただし、結露しないこと)



・振動のある場所や衝撃が加わる場所に置かないでください。故障の原因となることがあります。



・保管の際は、上に物を乗せたり、落下する おそれのある所を避けてください。また、 ほこりや異物が入らないようにしてくださ い。

help

・液晶ディスプレイ画面をスタイラス以外の 先がとがったもので触れたり、硬いもので たたいたりしないでください。画面を傷つ けることがあります。



・液晶ディスプレイやキーボードなどについた汚れは、乾いたきれいな布で軽く拭き取ってください。水や洗剤、薬品などを使用すると、変色や変形、故障の原因となります。



お客様へのお願い

弊社ハンドヘルドPC(以下「本製品」といいます)をご使用いただく前に、下記のソフトウェア使用許諾契約書(以下「本契約書」といいます)をよくお読みください。

このたびは、本製品をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。

お客様が購入された本製品にプリインストールまたは添付されております日本ビクターオリジナルソフトウェア (以下「本ソフト」といいます)をご使用いただく前に本契約書をよくお読みください。本契約書にご同意いただけない場合には、本製品を未使用・本ソフトの記録媒体のパッケージを未開封のまま本製品をお求めになった販売店にご返却ください。

お客様が本製品を使用された場合、または本ソフトの記録媒体のパッケージを開封された場合に は、本契約書のすべてにご同意いただいたものといたします。本契約書にご同意いただいた方の み、本ソフトをこ使用いただくことかできます。

ソフトウェア使用許諾契約書

日本ビクター株式会社(以下「弊社」といいます)は、お客様に、本製品にプリインストールまたは 添付されている本ソフトを使用する権利を下記の条件で許諾します。

1. 著作権

本ソフトおよび本ソフトとともにお客様に提供されるマニュアルおよび取扱説明書等の関連資料(以下「関連資料」といいます)に関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属又は第三者から正当なライセンスを得たものであり、日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。

お客様は関連資料を複製することはできません。

2. 権利の許諾

- (1) お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトを日本国内で使用する、非独占的な権利を 本契約に基づき取得します。
- (2) お客様は、本ソフトを、本製品のみでご使用いただけます。
- (3) お客様は、本ソフトのバックアップまたは保存の目的においてのみ本ソフトの全部または 一部を一回に限り複製することかできます。ただし、本ソフトの複製物を記録した CD -ROM等の媒体が本製品に添付されている場合には、お客様は、本ソフトを複製または上記 以外の目的で使用することはできません。

3. 制限事項

- (1) お客様は、本ソフトのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。
- (2) お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトを使用、全部または一部を複製、改変等をすることはできません。
- (3) お客様は、本ソフトを第三者に使用許諾、貸与またはリースすることはできません。

4. 本ソフトの譲渡

お客様は、下記のすべての条件を満たした場合に限り、本契約に基づく使用権を第三者に譲渡することかできます。

- i) お客様が本契約書、本ソフトを含む本製品、本ソフトのすべての複製物およびその記録媒体、ならびに関連資料を含む本製品のすべてを譲渡し、これらを一切保持しないこと、
- ii) 譲受人が本契約に同意していること。

5. 限定保証

- (1) 弊社は、本ソフトに関していかなる保証も行いません。したがって、本ソフトに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。
- (2) 上記(1)にかかわらず、お客様が必要事項を記入した別添のユーザー登録/愛用者カードを弊社まで返送された場合において、最初にご購入されたお客様が本製品をご購入された後1年以内に、弊社が本ソフトの誤り(バグ)を修正した場合には、弊社はお客様に対して、修正されたソフトウェア、修正のためのソフトウェア(以下、これらのソフトウェアを「修正ソフト」といいます)、またはこのような修正に関する情報を提供いたします。ただし、修正ソフトまたはこのような修正に関する情報の提供の必要性、時期、方法等に関しては、すべて弊社の裁量により決定させていただきます。お客様に提供された修正ソフトも本ソフトとみなします。
- (3) 本ソフトの記録媒体に物理的欠陥(ただし、プログラムおよび/またはデータの読み出しが不可能な場合に限ります)があり、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合、最初にご購入されたお客様が本製品を購入された日から14日以内に本製品の保証書を添えてお求めになった販売店に当該記録媒体を返却された場合には、弊社は無償で当該記録媒体を同等の記録媒体と交換するものとします。

本項の規定をもって本ソフトの記録媒体に関する弊社の保証のすべてといたします。

6. 責任の制限

- (1) 弊社は、いかなる場合も、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害(損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます)および第三者からお客様になされた損害賠償等の請求による損害について、一切責任を負いません。
- (2) いかなる場合においても、本契約に基づく弊社の責任はお客様が実際にお支払いになった 本製品の代金のうち本ソフトの代金相当額をその上限とします。

7. 契約期間

本契約は、お客様が本製品を最初に使用されたとき、または本ソフトの記録媒体のパッケージを開封されたときのいずれか早いときに発効し、下記8.により本契約が終了するまで有効であるものとします。

8. 契約の終了

- (1) 弊社は、お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、お客様に対し何らの通知・催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。その場合、弊社は、お客様によって被った損害をお客様に請求することができます。
- (2) お客様は、本契約が終了したときは、直ちに本ソフトおよびそのすべての複製物ならびに 関連資料を破棄するものとします。

9. その他

- (1) お客様は、いかなる方法および目的によっても、本ソフトおよびその複製物を違法に日本 国外に輸出してはなりません。
- (2) 本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

日本ビクター株式会社AV&マルチメディア事業本部

InterLink の楽しみ方

家にPCが欲しいけれど、持ち歩けるものも 欲しい。そう思っていた古賀さんは、 InterLinkを購入しました。



メールを楽しもう

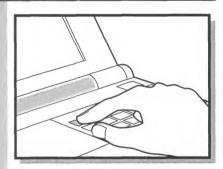
急に取引先へ出張することになった朝。 「始業前に会社に電話をしても、同僚の橋本さんはまだ出社してないだろうなー」 今日の予定は、メールで連絡することにしました。家を出る前に、InterLinkを使ってメールを送ります。



■メールを書く(AVリンクメール)

イチ押しキーの「Mail」を押して、「AVリンクメール」を起動します。橋本さんのメールアドレス、タイトルを入力し、メッセージを入力します。





今日は、急な打ち合わせのため、出張し ています。

打ち合わせ中は電話に出られないので、何か連絡があればメールを送ってください。 なるべく、こまめにメールチェックする ようにします。

■自宅の電話からメールを送る (AVリンクメール)

→68ページ

「書いてから接続しないと、電話代がもったいないもんな!

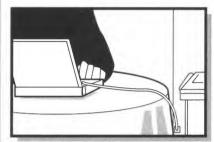
古賀さんは、自宅の電話回線を使ってメールを送るための準備をしています。

「モジュラーケーブルをここに差して、サ ーバメニューの[接続]だよな」

プロバイダのアクセスポイントに電話がかかります。

送信ボタンを付属のスタイラスで軽く触ります。これで、橋本さん宛のメールが送信できました。

電話代が気になる古賀さんは、サーバメニューの「接続を切る」を選び、電話回線を切断します。





■出張先に近いアクセスポイントを 登録しておく (リモートネットワーク)

→71ページ

「出張するんだから、アクセスポイントを 変えておかないと!

古賀さんは、出張先に近いアクセスポイントの電話番号の登録を始めました。

「スタートメニュー、プログラム、通信。 それから、リモートネットワーク、新しい 接続、と。ここでプロバイダの電話番号を 登録すればいいんだな!



画像を楽しもう

■デジタルスチルカメラの画像で アルバムを作る (ピクチャーアルバム)

「打ち合わせも終わったことだし、おみやげは何がよいか聞いてみるか」

おみやげ屋さんに入った古賀さんはお店の 人に断ってデジタルスチルカメラで写真を 撮り、近くの喫茶店に入りました。

古賀さんのデジタルスチルカメラは、画像 をコンパクトフラッシュカード* に保存す るタイプです。

コンパクトフラッシュカードをデジタルス チルカメラから取り出し、InterLinkに入れ、 イチ押しキーの「Album」を押して、「ピ クチャーアルバム」を起動します。 ツリー表示でメモリカード内のフォルダを 開くと、静止画像が表示されました。

→82ページ





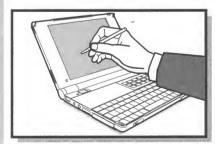
*****コンパクトフラッシュカードは別売です。 (→129ページ)

■写真にいたずら書きをする (ピクチャーパレット)

「おいしそうな順番を書き込んでおこう」 「ピクチャーアルバム」の静止画を選んで「パレットへ」ボタンをスタイラスでポンと触り、 「ピクチャーパレット」を起動します。画 面には、「ピクチャーアルバム」で見てい た静止画が表示されました。

「テキストボタンで、文字の入力と」 古賀さんは自分の食べたいもの順に静止画 に「店長のおすすめ」「ナンバー2」「ナ ンバー3」とそれぞれ文字入力し、画面に 貼り付けて保存しました。





■メールにファイルを添付して 公衆電話から送る (AVリンクメール)

メールに画像を添付して送り、おみやげを選んでもらうつもりの古賀さん。

「ピクチャーパレット」を終了して、「ピクチャーアルバム」に戻ります。「ピクチャーアルバム」で3枚の静止画を選んで、「メールへ」ボタンをスタイラスでポンと触ります。

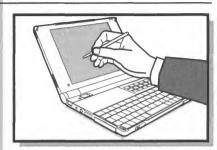
すると、新規のメールに、選んだ3枚の静止画を添付した状態になりました。

「まさに、至れり尽くせりだね」 そうつぶやきながら、橋本さんのメールア ドレス、タイトル、メッセージを入力します。 「さて、送ろうか…。きっと容量が大きい だろうから、公衆電話から送ろう」

ISDN公衆電話は、すぐにみつかりました。 モジュラーケーブルで公衆電話のアナログ コネクタに接続し、送信します。登録して おいた出張先付近のアクセスポイントに電 話がかかります。

容量の大きい画像データの場合、長時間の 通信となるため、電話代が気になるところ ですが、携帯電話よりは公衆電話の方がお 得です。古賀さんは、しっかり者ですね。

→72ページ





■携帯電話でメールの送信と受信を 一度に行う(AVリンクメール)

→74ページ

1 時間ほど観光し、駅前の喫茶店で、取引 先の担当者宛のメールを書き、送ることに しました。ついでに、橋本さんからのメー ルが届いてないかもチェックすることにし ました。

「さて、メールを送信して、受信も一気に するか!

携帯電話用の通信ケーブル*でつなぎ、携帯電話の電源ONと「圏内」を確認します。サーバメニューの「メール送受信」を選び、表示された接続先の一覧からアクセスポイントを選ぶだけで、電話回線の接続からメールの送信、受信、電話回線の切断まで自動的にできるので便利です。

「携帯電話でメールをチェックするのって、はじめてだな。やっぱりモバイルって便利だ」メールリストを見ると、受信したメールの中には、ファイルが添付されているものもあります。

「ゆっくり見ているひまがないから、このメールはあとで見よう」

でも橋本さんからの返事だけは、すぐに読みます。

古賀さん、お疲れさまです。
みんなで相談した結果、おみやげは「店長のおすすめ」を買ってきてください。
でも、「店長のおすすめ」は古賀さんの食べたいものですよね。(^ ^)

橋本より







*****PDC接続ケーブルは別売です。 (→160ページ)

■USBキャプチャーカメラで動画 を録る(ビデオキャプチャー)

→89ページ

帰りの電車に乗り込んだ古賀さんは、まだ InterLinkを手にしています。

外の景色は、田園風景から住宅街、そして 水平線まで続く海と、目を楽しませてくれ ます。

「よし、この景色もおみやげにしよう」 USBキャプチャーカメラ*をUSBコネク タに取り付けて、窓の外の景色を撮る準備 を始めます。

「イチ押しキーの「V-Cap」を押して、録 画ボタンで撮影開始!|

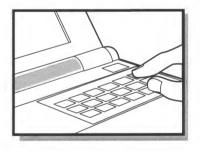
撮影が終わると、「ビデオキャプチャー」 の画面は編集モードに切り替わります。ここで、再生や一時停止、カット編集などして動画を完成させます。

「あれ? 何か音が入ってるぞ」

「ビデオキャプチャー」は、USBキャプチャーカメラと内蔵マイクで画像と音声を同時に録ってくれるアプリケーションです。 景色を録りながら古賀さんがつぶやいた言葉「いい天気だぁ。会社に帰るの、やめよっかなぁ」が、しっかり録音されていたのでした。







*****USBキャプチャーカメラは別売です。 (→160ページ)

音を楽しもう

昼下がりの電車には、あまり人が乗っていません。ゆったりした空間の中で、古賀さんはInterLinkに没頭し、感激したり笑ったり、自分に言い聞かせてブツブツ言ったりと、にぎやかしくやっています。

■受信メールを読み、添付ファイル を開く → MIDI演奏を聴く (ソフトシンセプレーヤー)

「そういえば、さっき何か届いていたっけ」 受信メールリストから、さきほどの添付ファイルのあるメールを探します。

それは、バンド仲間からのメールでした。

「驚くなよって、何だろう。開いてみるか」 InterLinkにイヤホンマイク*(φ2.5)をつなぎ、添付ファイルを開いてみます。 すると、MIDIファイルが再生されて、音楽が流れてきました。大きな音にビックリ。 「ボリュームの調節をし忘れていたよ。失敗、 失敗。でも、MIDIってこんなにいい音なんだ」 メールの添付ファイルを開くと、ファイルタイプに応じたPlug Inソフトが起動される、

この機能にも満足した古賀さんです。

→76、98ページ



*****イヤホンマイクは別売です。 (→160ページ)

■ポータブルMDレコーダーを つないで楽しむ (MDコントローラー)

しばらく仲間のオリジナル曲を聴いた古賀 さんは、プロのアーティストの曲を聴いて 耳直し(?)することにしました。

ポータブルMDレコーダーをInterLinkにつなぎます。これで、録音も再生も編集もInterLinkの画面を見ながら簡単にできます。

「やっぱり、この曲は2番目に持ってくるべきだよなー」

トラックの移動をしたり、トラックの結合/分割もお手の物。そして古賀さんは、トラックのタイトル入力を始めました。

「これをMDレコーダーでやるのは超めん どうなんだけど、キーボードがあればラク チンだし

タイトル入力はすいすいとはかどり、完了。 「LABEL」ボタンをスタイラスでポンと触 ります。

なんと、「ピクチャーパレット」にタイトルがすらり表示されました。これに、またまたいたすら書きをして、オリジナルのMDラベルができました。プリンタで印刷してみるのが楽しみですね。

→101ページ



InterLinkの楽しい使い方の一例を紹介 しました。実際に楽しむための操作方法は、 3~5章の該当ページをご覧ください。

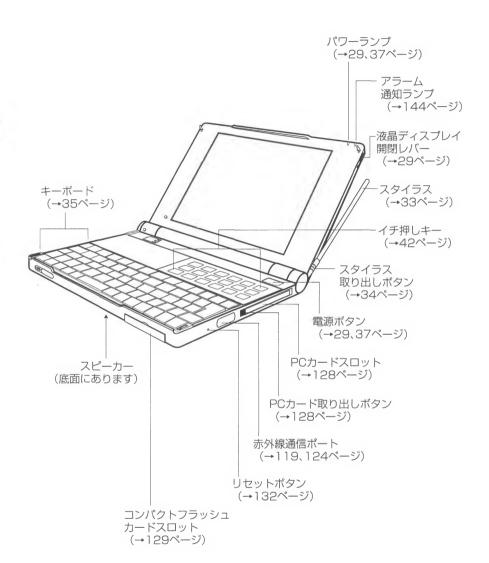
1章

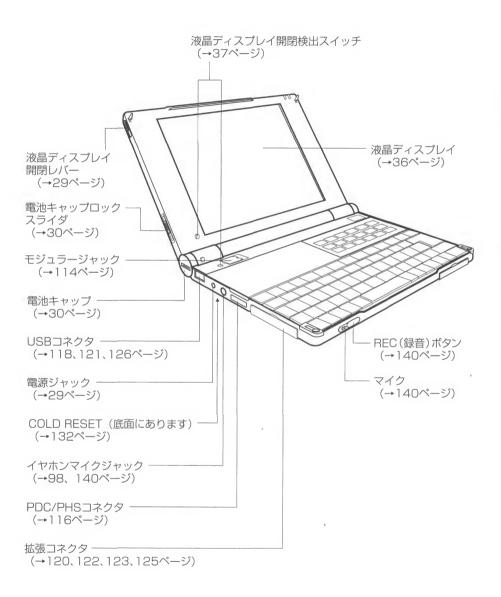
取り扱いを覚えよう

-初めて電源を入れたら-

基本

| 各部のなまえ | 26 |
|--|----|
| 電源を入れる | 28 |
| AC電源を使うとき | 29 |
| 単3形電池で使うとき | 30 |
| セットアップ(初めて電源を入れたとき) | 32 |
| 操作する | 33 |
| スタイラスを使う | 34 |
| キーボードを使う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 35 |
| ディスプレイを調整する | |
| 明るさを調整する | 36 |
| コントラストを調整する | 36 |
| 電源を切る | |
| 電源を切る | 37 |
| サスペンドモードについて | 38 |





電源を入れる

InterLinkは、AC電源、単3形電池(ニッケル水素蓄電池、アルカリ乾電池、リチウム乾電池のい) ずれか)で使うことができます。マンガン乾雷池、二カド蓄電池はコントロールパネルの「省電力」 プロパティで対応していないため正確なバッテリー残量検出ができませんので、使用できません。

■AC電源

家庭や会社など、AC100Vコンセントがある場所では、Interlinkに付属の専用ACアダプター (6.5V用)をお使いください。

■単3形雷池

AC100Vコンセントのない場所でInterLinkを使用するときは、あらかじめ充電した(InterLink では充電できません。単3形のニッケル水素蓄電池4個、または単3形アルカリ乾電池(またはリ チウム乾雷池) 4 個を入れてお使いください。雷池寿命の日安は、下記を参考に予備雷池を携帯す ることをおすすめします。

駆動時間*

| 別売ニッケル水素蓄電池 | 非通信時 (連続通信時) | 約6.0時間 (約2.5時間) |
|-------------|--------------|-----------------|
| アルカリ乾電池 | 非通信時 (連続通信時) | 約3.0時間 (約1.0時間) |

*駆動時間は省電力を有効にし、ディスプレイのバックライトを最も暗くした状態で、非通信時においてはPocket Wordで5分間 キー入力、55分間無入力をくり返した場合のものです。通信時においては、デジタル携帯電話またはPHSデータ通信を使用し、 Pocket Internet ExplorerでWebページを連続してアクセスした時の値です。また、ご使用の条件(ディスプレイのバックライト の明るさ、外部機器の使用、低い気温等)により使用時間がさらに短くなります。電池の性能はメーカーにより異なります。

注意

(内蔵バックアップ雷池)

- お買い上げ時は、内蔵バックアップ電池が放電している場合があります。専用ACアダプター を約10時間接続し充電してください。
- 単3形電池を抜いて1日以上使用しない場合は、内蔵バックアップ電池が放電し、保存され ているファイルやデータが消失するおそれがあります。放電を防ぐために、常時単3形電池 4個を入れてお使いください。

(ファイルやデータのバックアップ)

- InterLinkのファイルやデータの消失を防ぐ方法として、定期的にPCとの「同期」をとり、 情報更新をすること(→152ページ)や、PCカードまたはコンパクトフラッシュカードな どのメモリカードに保存すること(→127~130ページ)をおすすめします。
- InterLinkホームページ(裏表紙)からバックアップ用アプリケーションをダウンロードして AVリンクメールの通信設定データをPCカードまたはコンパクトフラッシュカードなどのメ モリカードに保存することをおすすめします。

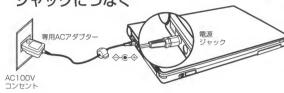
もっと教えて

- ●液晶ディスプレイを明るくしたり、通信をしたり、PCカードやコンパクトフラッシュカード、USB機器 を使用すると、動作時間は短くなります。
- ●単3形電池をお使いの場合は、別売のニッケル水素蓄電池(1600mAh)のご使用をお勧めします。 ・ニッケル水素蓄電池はアルカリ乾電池に比べて動作時間が長くなります。
 - ニッケル水素蓄電池は充電式のため、繰り返し使用できます。
- ●ニッケル水素蓄電池は、InterLinkで充電することはできません。別売の専用の充電器で充電してからお 使いください。

AC電源を使うとき

AC100Vのコンセントから電源をとるには、次のように接続します。

付属の専用ACアダプターをAC100Vコンセントに差し込み、InterLinkの電源ジャックにつなぐ



⑦ 液晶ディスプレイを開ける



■ 電源ボタンを押す



付属の専用ACアダプター (AA-MP101)以外は使わないでください。

両手で、液晶ディスプレイ開閉レバーを手前(矢印の方向)にずらしながら、液晶ディスプレイを開けます。

液晶ディスプレイは一定 角度以上開かない構造に なっています。ストッパ ーで止まったらそれ以上 無理な力を入れないでく ださい。

電源が入り、パワーランプが点灯します(緑色)。

しばらくすると、InterLinkが起動されます。

初めて電源を入れたときは、Windows CEセットアップ画面が表示されます。 (→32ページ)

2 度目以降はWindows CEデスクトップ画面が表示されます。(→40ページ)

単3形電池で使うとき

単3形の二ッケル水素蓄電池またはアルカリ乾電池、リチウム乾電池から電源をとるには、次のようにします。また、電池キャップロックスライダは電池との接点にもなっています。 必ず正しい位置にセットしてください。電源が入らなくなります。

■ 電池キャップロックスライダをOPEN側に スライドさせた状態で、電池キャップレバ ーを起こして反時計回りに止まるまで回し、 電池キャップを引き抜く



2 電池を入れる

3 電池キャップロックスライダをOPEN側にスライドさせた状態で、電池キャップを取り付け、電池キャップレバーを持って時計回りに止まるまで回して、電池キャップレバーをたたむ



4 電池キャップロックスライダをOPEN側の逆向きにスライドさせる

電池キャップを「反時計回りに止まるまで回す」とは、約25度回してアンロックの状態にすることです。電池キャップは、電池キャップロックスライダをOPEN側にスライドさせた状態で回してください。

+-の向きに注意して、単3 形電池を4個入れます。

電池キャップを「時計回りに止まるまで回す」とは、アンロックの状態(手順1のイラスト)から約25度回してロックの状態にすることです。電池キャップは、電池キャップロックスライダをOPEN側にスライドさせた状態で回してください。

しまっと教えて

●電池交換はすみやかに 行ってください。長時間電 池が入っていない状態が 続くと、通信設定データや ファイル、インストールした アプリケーションなどが消 えることがあります。

でもっと教えて

- ●単3形のニッケル水素蓄電池は、InterLinkで充電することはできません。別売の専用充電器で充電してからお使いください。
- ●単3形電池のバッテリ残量がなくなり、電源ボタンを押しても電源が入らないとき、AC電源(専用ACアダプタ)を接続して電源ボタンを押しても、電源が入らない場合があります。このような場合は、すでに内蔵バックアップ電池の電圧が低下しており、メモリの内容を保持することができません。次のようにしてください。
- 1 AC電源(専用ACアダプタ)をはずし、新品の単3形電池に入れ替えます。
 - コールドリセット(→132ページ)され、内蔵バックアップ電池の充電が始まります。
- 2 電源ボタンを押して、電源を入れます。
- ●単3形電池のバッテリ残量は、コントロールパネルの「パワーマネージメント」で確認し、お早めに取り替えてください。



警告

●電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。そのままにしておくと障害を起こすおそれがあります。





注意

●電池について、下記をお守りください。 液もれ・発火・破裂の原因となります。



- ・プラスとマイナスの向きを表示のとおり、正しく入れてください。
- ・指定以外の電池を使用しないでください。
- ・種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて入れないでください。
- ・端子をショートさせないでください。金属小物(鍵、アクセサリ、ネックレスなど)といっしょに持ち運んだり、保管したりしないでください。
- ・水や火の中に投入したり、加熱しないでください。
- ・直射日光の強いところや炎天下の車内、熱器具の周辺など、高温になる 場所で使用、放置しないでください。
- ・強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
- 分解しないでください。

セットアップ(初めて電源を入れたとき)

InterLinkの電源を初めて入れると、「ようこそ」の画面が表示されます。これからセットアップウィザードを使って、本機のセットアップをします。

- ◀ スタイラスを取り出す
- 2 画面に表示される内容を読み、スタイラスで画面をタップする

- 3 画面右下の[次へ]をタップする
- 4 画面の一番下の行に表示される質問に従って、「都市」、「日付と時刻」、「オーナー 情報」を入力する
- 5 [終了]をタップする

液晶パネル右側面のスタイラス取り出しボタンを押して、スタイラスを取り出します。(→34ページ)

「タップ」とはマウスの「クリック」と同じ意味です。 (→34ページ) 最初に「タッチスクリーン の補正」の画面が表示され、 次に「入力パネル」の画面 が表示されます。

「世界時計」の画面が表示されます。

「セットアップが完了しました」の画面が表示されます。 この画面で表示されている『ハンドヘルドPCユーザーズガイド』とは、本書を示しています。

これでセットアップは終了 しました。Windows CEの デスクトップ画面が表示さ れます。(→40ページ) また、電源を2度目以降に 入れたときは、この画面が 表示されます。

でもっと教えて

●操作4の「都市」「日付と時刻」「オーナー情報」の設定は、そのままで[次へ]をタップするだけで次に進むことができます。変更が必要なときは、セットアップ終了後でも修正することができます。

操作する

InterLinkを操作するには、スタイラス、USBマウス(別売)、キーボード、イチ押しキーのいずれかを使います。

■スタイラス

InterLinkの液晶ディスプレイに触れて操作するための付属ペンを「スタイラス」といいます。 スタイラスの先でディスプレイに触れたり、触れたまま、文字を書くようにディスプレイ上をなぞったりして、操作します。 (→34ページ) スタイラスの反応が正しくない場合は、再補正してください。 (→52ページ)



■USBマウス

Windows 98などと同様に、USBマウス(別売)で操作することもできます。シリアルマウスは使えません。



■キーボード、イチ押しキー

文字キーと特殊キーは、文字を入力するときや、ショートカットキーで操作するときなどに使います。

このほかに、アプリケーションを起動するための「イチ押しキー」があります。

- · 文字入力の方法については「文字を入力する」をご覧ください。 (→48ページ)
- ・主な特殊キーの役割については「キーボードを使う」をご覧ください。 (→35ページ)
- ・イチ押しキーの使い方については「イチ押しキーで起動する」をご覧ください。 (→42ページ)

スタイラスを使う

■スタイラスを取り出す

- ◀ スタイラス取り出しボタンを押す
- 2 スタイラスを取り出す



スタイラスが少し飛び出します。

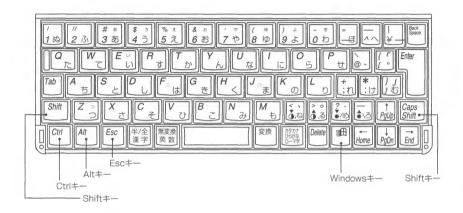
■スタイラスの操作

スタイラスの操作方法は、マウスの操作と比較すると覚えやすいです。

| どんな時に 使う? | メニューや[OK]などの ボタンを選択するとき などに使います。 | アプリケーションを起動するためにアイコン やファイルを選択する ときに使います。 | ファイルを移動したり、 「ピクチャーパレット」 で図形を描いたりする ときに使います。 | |
|--------------|--|--|--|--|
| スタイラス の操作 | ディスプレイ上の希望の位置を、スタイラスで1回押します。 | ディスプレイ上の希望の位置を、スタイラスで2回続けて押します。 | ディスプレイ上の希望の位置をスタイラスで押したまま移動して、希望の位置でスタイラスを画面から離します。 | |
| マウスの操作 | ポインターを希望の位置に合わせて、マウスの左ボタンを1回押します。 | ポインターを希望の位置に合わせて、マウスの左ボタンを続けて2回押します。 | ポインターを希望の 位置に合わせて、左 ボタンを押したまま ポインターを移動 し、希望の位置でボタンを離します。 | |

キーボードを使う

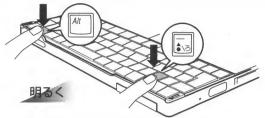
キーボードのキーは、特殊キーと文字キーに分類できます。 ここでは、他のキーと組み合わせて使う、特殊キーについて説明します。 文字キーの使い方は「文字を入力する」をご覧ください。(→48ページ)



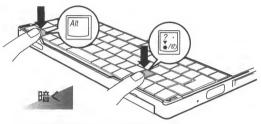
| Shiftキー (シフト) | 文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。 また、文字キーと他のキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行 できます。実行できる機能は、使用するアプリケーションによって異 なります。 |
|-----------------------|---|
| Ctrlキー (コントロール) | たとえば、Ctrlキーを押しながらVキーを押すと、クリップボードの内容がカーソル位置に挿入されます。このように文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。実行できる機能は、使用するアプリケーションによって異なります。 |
| Altキー (オルタネート) | たとえば、Altキーを押しながら . (ピリオド)キーを押すと、ディスプレイのコントラストが強くなります。 このように文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。実行できる機能は、使用するアプリケーションによって異なります。 |
| Escキー (エスケープ) | 実行を中止したり、設定を取り消したりします。 |
| Windowsキー (ウィンドウズ) | Windows CEの[スタート]メニューが表示されます。 他のキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。実行できる機能は、使用するアプリケーションによって異なります。 |

~初めて電源を入れたら~

明るさを調整する



Altキーを押しながら、バックスラッシュキーを押す。



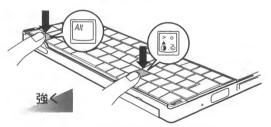
Altキーを押しながら、スラッシュキーを押す。

ディスプレイの表示の明 るさは、4段階に調節す ることができます。

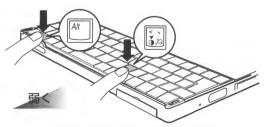
でもっと教えて

●電池で利用する場合、ディスプレイの明るさを ディスプレイの明るさを もやいいでは、消費電力を抑えることができます。消費電力を抑える 方法については「省電力 の設定をする」をご覧く ださい。 (→112ページ)

コントラストを調整する



Altキーを押しながら、ピリオドキーを押す。



Altキーを押しながら、カンマキーを押す。

ディスプレイの表示のコントラストは、32段階に調整することができます。

電源を切る

電源を切る

InterLinkの電源を自分で切るには、3種類の方法があります。

■電源ボタンを押す



■液晶ディスプレイを閉める



■メニュー操作

┫ [スタート]をタップする

2 [サスペンド]をタップする

電源が切れて、パワーラ ンプが消灯します。

液晶ディスプレイを閉める と液晶ディスプレイ開閉検 出スイッチが働き(→27ペ ージ)電源が切れて、パワ ーランプが消灯します。

[スタート]メニューが表示 されます。

電源が切れて、パワーランプが消灯します。

サスペンドモードについて

サスペンドモードとは、電源が切れる前の状態から起動できるモードのことです。

たとえば、InterLinkでワープロソフトを使って文書を作っている最中に、うっかり電源を切ったとします。次に電源を入れたときに表示されるのは、Windows CEの初期画面ではなく、作成途中の文書です。そのまま続きを作成することができます。

また、InterLinkの電源を切らずに、30分間、別の用事をしていたとします。用事が済んでInterLinkを見ると、画面が真っ暗になり、電源が切れています。しかし、これは故障ではなく、「オートサスペンド」という機能です。この場合も電源を入れると、さきほどの画面が表示されますので、続きの操作をすることができます。

できっと教えて

●サスペンド&レジューム

InterLinkのようなモバイルPCの場合は、「電源を切る」=「実行中の作業を記憶しておいて、電源供給を一時停止する」ということになります。これを「サスペンド(suspend)」といいます。

また、電源供給が再開したとき、記憶していた状態を復元する機能を「レジューム(resume)」といいます。

●オートサスペンド

InterLinkは、ACアダプターを使用しないで、単3形電池による電源供給時、3分間何も操作をしないでいると、自動的に電源供給を一時停止するように設定されています(工場出荷時の状態)。これを「パワーマネージメントのオートサスペンド」といいます。

[スタート] メニューから [設定]、 [コントロールパネル] を順にタッブし、 [パワーマネージメント] アイコンをダブルタップし「電源オフ」の画面で設定を変更することもできます。

なお、通信中(「AVリンクメール」でメール送受信中や、「Pocket Internet Explorer」でWebページを閲覧中)は、何も操作しない場合でもオートサスペンドしません。

2章 アプリケーションを 楽しむ前に

基本

| Windows CEの画面について | |
|-----------------------------|----|
| タスクバーについて | 41 |
| アプリケーションの画面について | |
| アプリケーションを起動する | |
| イチ押しキーで起動する | 42 |
| デスクトップのアイコンで起動する | |
| スタートメニューから起動する | |
| アプリケーションを終了する | |
| 文字を入力する | |
| キーボードで入力する | 48 |
| 入力パネルで入力する | 50 |
| ヘルプを見る | |
| Windows CEのヘルプ | 51 |
| アプリケーションのヘルプ | |
| 使い方に合わせてカスタマイズする | |
| 通信の準備と設定をする | |
| インターネットを楽しむ前に | 53 |
| インターネット接続のための設定をする | |
| インターネットに接続する | |
| Webページを閲覧する | |
| メール送受信のための設定をする | |
| PCの接続の準備をする | |
| ~Windows CEサービスのインストール~ | 62 |
| 付属のCD-ROMからアプリケーションをインストール・ | |
| | |

Windows CEの画面について

下図はWindows CEのデスクトップ画面の例です。表示される画面の背景やアイコンは設定(→52ページ)によって異なります。

ごみ箱

ファイルを削除すると、一時的にこの「ごみ箱」に移動します。「ごみ箱」に移動したファイルは簡単に元に戻せます。完全に消去するには「ごみ箱」をダブルタップし、[ファイル]メニューの[ごみ箱を空にする|を選択します。

My Documents

ファイル管理に使用します。ダブルタップすると、データが保存されているフォルダが開きます。

マイハンドヘルドPC

このアイコンをダブルタップすると、各フォル ダの内容を見たり、ファイルの管理や操作がで きます。

デスクトップ

Windows CEを起動すると画面全体に表示される領域を「デスクトップ」といいます。アプリケーション(ソフトウェア)を使って作業したり、マイハンドヘルドPCやよく使うアイコンを置くことができる、いわゆる「机の上」です。



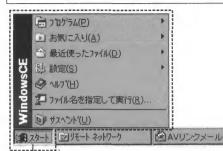
[スタート]

タップすると[スタート]メニューが開きます。[プログラム]や[設定]、[最近使ったファイル]などをタップして開く(または起動する)ことができます。

タスクバー

[スタート]や、現在作動中のプログラムが表示されます。また、時刻や日本語入力のためのインジケータ (→48ページ) などを表示するステータスエリアと、デスクトップアイコンがあります。

タスクバーについて



デスクトップアイコン

開いているプログラムを最小化したり、それをデスクトップに表示したりできます。

A 7 10:08

[スタート]メニュー

現在動作中のプログラムが表示されます。

ステータスエリア

このエリアのアイコンをダブルタップする と詳しい情報が表示されます。

しまっと教えて

●ウィンドウとメニューの色は変えることができます。[スタート]をタップし、[スタート]メニューで [設定]、[コントロールパネル]を順にタップします。「画面」アイコンをダブルタップし、[デザイン] タブをタップします。用意されたデザインの中から選択するか、自分で作成します。

アプリケーションの画面について

アプリケーションを起動(→42ページ)するとアプリケーションのウィンドウ上部にコマンドバーが表示されます。下図は「AVリンクメール」のコマンドバーの例です。

メニュー

名前をタップすると、そのメニューが開きます。

スライダー

スライダーをドラッグすると、ツールバーボタンのみ表示したり、メニューとツールバーボタンのどちらも表示したり、必要なボタンやメニューの名前を表示したりすることができます。

スライダーをドラッグして、メニューの下にツールバー ボタンを移動することもできます。

ツールバーボタン

ボタンをタップしたままにすると、そのボタンの機能が表示され、離すとその機能が実行されます。ボタンの機能が表示された後、その機能を実行しないときは、ツールバーボタンの外にドラッグします。

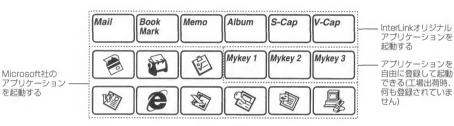
アプリケーションを起動する

アプリケーションを起動する方法として、主に下記の3種類があります。

- イチ押しキーで記動する
- デスクトップのアイコンで起動する
- スタートメニューから起動する

イチ押しキーで起動する

イチ押しキーを押すと、そのボタンに登録されているアプリケーションが起動されます。スタイ ラスは使わずに指で押します。



しくもっと教えて

を起動する

- ●サスペンド時、イチ押しキーを押すと電源が入り、登録されているアプリケーションが起動されます。
- ●サスペンド時、shiftキーやctrlキーは無効です。
- ●イチ押しキーにアプリケーションやファイルを登録するには、「イチ押しキー設定」を使います。「イ チ押しキー設定」の操作については、「よく使うアプリケーションをイチ押しキーに登録する」をご 覧ください。(→106ページ)

■InterLinkオリジナルアプリケーション

下表のイチ押しキーを押すと、それぞれに登録されているInterLinkオリジナルアプリケーションが起動されます。

| Mail AVリンクメール (→66ページ) | 電子メールの送受信ができます。音声や画像などを添付して、AVリンクメールを楽しむことができます。 ●「Mail」を押すと「AVリンクメール」が起動されます。 ●Shiftキーを押しながら「Mail」を押すと、「AVリンクメール」が起動され、自動的にプロバイダのアクセスポイントに電話をかけます。この場合、新着メールを受信した後、自動的に電話回線を切ります。 |
|---|---|
| Book Mark オリジナル ブックマーク (→108ページ) | Pocket Internet Explorerの「お気に入り」をわかりやすく整理します。 お気に入りのWebページにより早くジャンプでき、インターネットが さらに楽しくなります。 ●「BookMark」を押すと「Pocket Internet Explorer」が起動されてWebページを表示し、そこに「オリジナルブックマーク」のパネルが表示されます。(ラウンチモード) ●Shiftキーを押しながら「BookMark」を押すと、「オリジナルブックマーク設定」のパネルが表示されます。「Pocket Internet Explorer」 は起動されません。(編集モード) |
| Memo メモ機能 (→110ページ) | スタイラスで自由に描ける、フリーノートです。電話番号などの短いメモを急いでとりたいときに最適です。 ●「Memo」を押すと「メモ機能」が起動され、新しい画面が表示されます。 ●Shiftキーを押しながら「Memo」を押すと、今までに描いたメモの一覧が表示されます。 |
| Album ピクチャーアルバム (→82ページ) | 写真をアルバムに保管するように、静止画を整理して保存します。 1 枚 1 枚にコメントを付けたり、連続して表示させて楽しむ(スライド ショウ)こともできます。 ●「Album」を押すと「ピクチャーアルバム」が起動されます。 |
| S-Cap スチルキャプチャー (→84ページ) | USBキャプチャーカメラ(別売)や、デジタルスチルカメラなどから 静止画を取り込みます。 ●「S-Cap」を押すと「スチルキャプチャー」が起動されます。 |
| V-Cap ビデオキャプチャー (→89ページ) | USBキャプチャーカメラ(別売)で撮影し、動画を作成します。 ●「V-Cap」を押すと「ビデオキャプチャー」が起動されます。 |

■Microsoft社のアプリケーション

下表のイチ押しキーを押すと、それぞれに登録されているMicrosoft社のアプリケーションが起動 されます

| | 「予定表」が起動されます。(→142ページ) |
|---|--|
| | 「連絡先」が起動されます。 (→145ページ) |
| | 「仕事」が起動されます。(→146ページ) |
| | 多重に開いている「Pocket Word」のウィンドウを切り替えます。(開 いていない場合は「Pocket Word」が起動されます。) Ctrlキーを押しながら、このキーを押すと「Pocket Word」が新たに 起動されます。(→135ページ) |
| Ø | 多重に開いている「Pocket Internet Explorer」のウィンドウを切り替えます。(開いていない場合は「Pocket Internet Explorer」が起動されます。) Ctrlキーを押しながら、このキーを押すと「Pocket Internet Explorer」が新たに起動されます。(→59ページ) |
| | 多重に開いている「Pocket Excel」のウィンドウを切り替えます。(開いていない場合は「Pocket Excel」が起動されます。) Ctrlキーを押しながら、このキーを押すと「Pocket Excel」が新た に起動されます。(→136ページ) |
| | 多重に開いている「Pocket Access」のウィンドウを切り替えます。 (開いていない場合は「Pocket Access」が起動されます。) Ctrlキーを押しながら、このキーを押すと「Pocket Access」が新 たに起動されます。(→137ページ) |
| | 多重に開いている「Pocket PowerPoint」のウィンドウを切り替えます。(開いていない場合は「Pocket PowerPoint」が起動されます。) Ctrlキーを押しながら、このキーを押すと「Pocket PowerPoint」 が新たに起動されます。(→139ページ) |
| | 単独で押すと「 PC リンク」が起動されます。(\rightarrow 152ページ) Shiftキーを押しながらこのキーを押すと「 A ctive Sync」が起動されます。(\rightarrow 157ページ) Ctrlキーを押しながらこのキーを押すと「リモートネットワーク」が起動されます。(\rightarrow 154ページ) |

デスクトップのアイコンで起動する

Windows CEデスクトップのアイコンをスタイラスでダブルタップすると、それぞれに対応したアプリケーションが起動されます。

■InterLinkオリジナルアプリケーション

| | AVリンクメール (→66ページ) |
|---------------|-----------------------|
| (3-11) MD | MDコントローラー (→101ページ) |
| E | ピクチャーアルバム(→82ページ) |
| | ピクチャーパレット (→86ページ) |
| | ビデオプレーヤー (→91ページ) |
| <u>\$</u> | ラップンボイス(→100ページ) |
| | ソフトシンセプレーヤー (→98ページ) |
| à | クイックディクショナリー(→109ページ) |

■Microsoft社製アプリケーション

| a a | Internet Explorer (→59ページ) |
|-----|-----------------------------|
| | 受信トレイ (→147ページ) |
| | 予定表 (→142ページ) |
| 200 | 連絡先 (→145ページ) |
| 45 | 仕事 (→146ページ) |
| | Pocket Word (→135ページ) |
| | Pocket Excel (→136ページ) |
| *** | Pocket Access (→137ページ) |
| 2 | Pocket PowerPoint (→139ページ) |

スタートメニューから起動する

順次表示されるメニューの選択を繰り返すと、希望のアプリケーションが起動されます。 たとえば、InterLink ユーティリティの「オリジナルブックマーク」を起動してみます。

- ┫ [スタート]をタップする
- 2 [プログラム]をタップする
- **3** [InterLink ユーティリティ]をタップする
- [オリジナルブックマーク]をタップする



[スタート]メニューが表示さ れます。

[プログラム]メニューが表示 されます。

[InterLink ユーティリティ] メニューが表示されます。

これで、「オリジナルブック マーク」 アプリケーションが 起動されます。

アプリケーションを終了する

アプリケーションを終了するには、下記の2種類の方法があります。

- **■**コマンドバーの × をタップする
- ■[ファイル]メニューの[閉じる]や[終了]を タップする



アプリケーションのウィンドウの右上にある × をタップします。

アプリケーションによっては、[ファイル]メニューの[アプリケーションの終了]を選択するものもあります。

しまっと教えて

●アプリケーションを終 了せずに電源を切った場 合、次に電源を入れたと きにそのアプリケーショ ンの画面が表示されます。 詳しくは、「サスペンド モードについて」をご覧 ください。(→38ページ)

文字を入力する

InterLinkで日本語を入力するときは、Windows CEに組み込まれている、かな漢字変換プログラムMS-IME 98を利用します。MS-IME 98が使用できるときは、タスクバーに下記のようなインジケータが表示されます。

入力モードインジケータキーボードで入力する (下記) ときの モードを示します。 **入力パネルインジケータ**入力パネルインジケータ 入力パネルから入力する (→50ページ) ときのモードを示します。

キーボードで入力する

■入力のしかた

漢字キーを押してMS-IME 98をオンに し、キーボードからの日本語入力モード に切り替える

日本語入力モードになる と、タスクバーの入力モ ードインジケータが変わ ります。入力モードは[入 カモードインジケータ]を タップして切り替えるか、 キーボードから切り替え ます。

| | 入力モードインジケータ | キーボードでのモード切り替え |
|-----|-----------------------|--------------------------|
| あ | ひらがな | ひらがなキー |
| カ | 全角カタカナ | Shiftキー+ひらがなキー、または無変換キー |
| A | 全角英数 | ひらがなモードまたは全角カタカナモードで英数キー |
| 力 | 半角カタカナ | 無変換キー |
| L.A | 半角英数 | 全角英数モードでShiftキー+無変換キー |
| LA | 直接入力(MS-IME 98がオフのとき) | |

- **2** Altキー+ひらがなキーを押して、かな 入力とローマ字入力を切り替える
- 3 キーボードから文字を入力し、変換キーまたはスペースキーを押して変換する

かな入力、またはローマ 字入力のどちらかの方法 で入力します。

入力した文字の下に破線 が表示されます。変換キーやスペースキーを決破線の部分が漢字。 記号に変換されます。 換候補が正しくない場合 は、もう一度変換キーを たはスペースキーを押し て他の候補を表示します。

4 変換候補が正しい場合はEnterキーを押して確定する

5 漢字キーを押して、MS-IME 98をオフにする

日本語入力モードが解除されます。

きっと教えて

●文字を入力したあとで下記のキー(ショートカットキー)を押して変換することもできます。

Ctrl+U ひらがなに変換する

Ctrl+I カタカナに変換する Ctrl+P 全角英数に変換する

Ctrl+O 半角にする

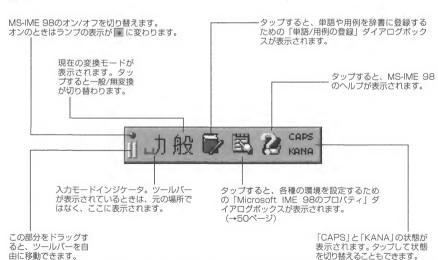
Ctrl+T 半角英数に変換する

■MS-IME 98ツールバー

入力や変換などの日本語入力モードの状態を表示したり、環境を設定したりするときは MS-IME 98ツールバーを使います。

¶ タスクバーの[入力モードインジケータ] をタップし、「ツールバーを表示」を選 択する

MS-IME 98ツールバー が表示されます。



でもっと教えて

- ●ツールバーに表示される内容や状態は「Microsoft IME 98のプロバティ」の[表示]で変更することができます。ツールバーの表示を止め、タスクバーに戻す操作もここで行います。
- ●MS-IME 98の詳しい使い方は、MS-IME 98ツールバーからヘルプを表示してご覧ください。

■Microsoft IME 98のプロパティ

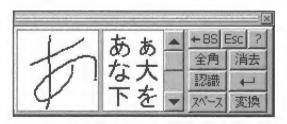
プロパティの設定を変更することにより、MS-IME 98の機能を好みに合わせてカスタマイズすることができます。



入力パネルで入力する

日本語の入力方法に応じて、「ひらがな/カタカナ」や「英数字」、「手書き入力」や「手書き 検索」など数種類の入力パネルが用意されています。

- タスクバーの[入力パネルインジケータ] をタップする
- 入力方法をタップする



「手書き検索」を選んで、スタイラスで文字を書いた場合

入力方法の一覧が表示されます。

選択した入力パネルが表示されます。

砂もっと教えて

●[入力パネルインジケータ] をダブルタップすると、選択 している入力パネルが表示されます。

ヘルプを見る

Windows CEについての情報が必要なときや操作がわからないときは、ヘルプをご覧ください。

Winwods CEのヘルプ

- ┫ [スタート]をタップする
- 2 [ヘルプ]をタップする

[ヘルプの目次]ウィンドウが 表示されます。

アプリケーションのヘルプ

例として、「ラップンボイス」で、歌わせる歌詞の用意のしかたを調べてみます。

- **1** デスクトップの「ラップンボイス」アイコンをダブルタップする
- ラップンボイスが起動され、「アディ」という女の子のいる画面が表示されます。

2 ? をタップする

「ラップンボイス」のヘルプ ウィンドウが表示され、ヘル プの目次が表示されます。

調べたいことが「歌わせる歌

詞の用意のしかた」なので、 直感的に似ている項目を選び

- 「歌う文字に関する操作」をタップする
- ます。 「歌う文字に関する操作」の 目次が表示されます。

▲ 見たい項目をタップする

ファイルから文字を読み込む 方法や、文字を入力する方法 などが、それぞれのページに 表示されます。

5 🛛 をタップする

ヘルプ画面が閉じ、「ラップンボイス」の操作を続けることができます。

使い方に合わせてカスタマイズする

使い方に合わせて、InterLinkの設定を変更したり調整したりすることができます。

[スタート]をタップし、[設定]をタップし、[コントロールパネル]をタッ プした後、コントロールパネルウィンドウでアイコンをダブルタップする

| | | *** | | - 88 |
|----|----|-----|-----|------|
| 13 | Ģ: | | ber | ٤Ì |
| | 16 | -ci | d | Ш |
| - | d | d | d | ы |
| | 12 | 4 | 4 | n |

アプリケーション の削除

不要なアプリケーションを削除します。



イチ押しキー設定

イチ押しキーを押すと起動するアプリケーションやファイル を確認したり、登録、変更、削除します。



オーナー情報

所有者の名前や勤務先、住所などの情報を入力しておきます。



キーボード

文字のリピート設定をします。



システム

データ記憶用メモリとプログラム実行用メモリ間で、メモリ の有効領域を調整したり、システム情報を表示します。



スタイラス

スタイラスで画面をタップし認識するための設定をします。 ダブルタップの速度調整およびタップ位置間隔の微調整、タ ッチパネルの座標の補正をします。



ダイヤル

InterLinkで通信をするときの電話番号(発信元)を登録し ます。



ネットワーク

ネットワークに接続するときのアダプタの設定を変更します。 通常、この設定を変更する必要はありません。



パスワード

InterLinkへのアクセスを制限するため、パスワードを設定 します。



パワーマネージメント

バッテリーの残量を確認したり、節約のための設定をするこ とができます。なお、残量はあくまで「めやす」です。充電/ 放電を繰り返すと、残量表示が不正確になる場合があります。



ボリューム&サウンド

音の大きさや鳴らす場面の設定をします。



画面

背景(壁紙)を変更したり、ウィンドウとメニューの色を設 定します。



省電力

ディスプレイのバックライト調整やデバイス・電池の設定を します。 (→112ページ)



世界時計

自宅の他に、訪問先の日付と時間を設定したり、アラームの 設定をします。



地域

使用する地域を選択すると、アプリケーションで時刻や日付、 通貨、数字の表示をその地域に自動的に合わせます。



通信

InterLinkをPCと接続して、PCから利用するときに必要な 識別名や接続方法を設定します。



入力パネル

入力パネルを使って文字入力するときの入力方法を設定しま

通信の準備と設定をする

インターネットを楽しむ前に

インターネットに接続すると、「AVリンクメール」などのメールソフトを使ってインターネットメールのユーザーと電子メールをやりとりすることができます。また、「Pocket Internet Explorer」などのブラウザソフトを使って WWW(World Wide Web)サーバにある Web ページを閲覧することができます。

本機でインターネットを利用するには、上記のアプリケーションのほかに下記が必要です。

電話回線

本機は、内蔵モデムを使って一般公衆回線に接続したり、携帯電話やPHSに接続することができます。(→114~117ページ)

インターネットサービスプロバイダ契約

インターネットの接続サービスを提供する企業を「インターネットサービスプロバイダ」と呼びます。プロバイダは多数あり、加入料金や使用料金などはプロバイダによって異なります。プロバイダと契約すると、ユーザーIDとパスワード、電子メールアドレス、IPアドレス、アクセスポイントの電話番号を教えてくれます。

会社などでLANを経由して接続する場合は、LANがインターネットに接続されている必要があります。

通常、商用プロバイダに接続するときは、ドメイン欄の入力は必要ありません。

しまっと教えて

- ●ユーザーID とパスワードは、インターネットに接続するときの名前と暗証番号にあたります。
- ●電子メールアドレスとは、電子メールを送受信するときのアドレスです。 (たとえば koga@abcde.plala.or.ip)。
- IPアドレスとは、インターネットで通信するために必要なアドレス情報です。通常、XXX.XXX.XXX (XXX は $0 \sim 255$ の数字)の形式です。
- ●アクセスポイントとは、プロバイダが設置しているインターネット接続拠点です。一般公衆回線用/ISDN回線用/PIAFS用など、回線の種類によってアクセスポイントが異なります。アクセスポイントに電話をかけて、インターネットに接続します。
- ●携帯電話の会社によっては、プロバイダと契約しなくても電子メールの送受信やWebページの閲覧ができるサービスを提供しているところもあります。

■インターネット接続の流れ

下記のような手順で、インターネットに接続します。まだプロバイダと契約していない 場合は、まず契約をし、それから下記の手順でインターネットに接続してください。

インターネット接続のための設定をする

「リモートネットワーク」で、電話をかけるアクセスポイントの名前と電話番号を登録します。(→55ページ)

(メールのやり取りをする場合)

(Webページを見る場合)

メール送受信のための設定 をする

「AVリンクメール」を初めて起動すると、アカウント名(メールを利用するためのユーザー名。本名でなくてもよい)やメールサーバーなどの設定をする画面になります。(→60ページ)

InterLinkを電話回線につなぐ

接続方法は「電話回線につなぐ」「携帯電話やPHSにつなぐ」をご覧ください。(→114ページ、116ページ)



アクセスポイントに電話を かけて、メールの送受信をする

「AVリンクメール」で、リモートネットワークで登録した接続先に電話をかけます。このとき、ユーザー名とパスワードの入力が必要です。

(→68ページ)

・メールを送る場合は、先にメールを 作成しておき、それから接続先に電話 をかけることをお薦めします。

(→66ページ)

・メールを受け取る場合は、接続先に 電話をかけて受信し、電話を切ってか らメールを読むことをお薦めします。 (→74ページ)

アクセスポイントに 電話をかける

リモートネットワークで登録した接続先に電話をかけます。このとき、ユーザー名とパスワードの入力が必要です。 (→58ページ)



Webページの閲覧をする

「Pocket Internet Explorer」などのブラウザソフトを起動すると、Webページが表示されます。 $(\rightarrow 59$ ページ)

インターネット接続のための設定をする

プロバイダと契約したら、接続のための設定をしましょう。設定するには、接続するアクセスポイントの電話番号が必要です。

- 【スタート】メニューから、[プログラム]、 [通信]、[リモートネットワーク]を順に タップする
- リモートネットワーク・ウィ ンドウが表示されます。
- **2** 「新しい接続」アイコンをダブルタップする

 る

- 新しい接続ウィザードが起動 されます。

3 「接続名」欄にプロバイダのアクセスポイントの名前を入力し、「ダイヤルアップ接続」をタップして、[次へ]をタップする

「ぷらら横浜」のように、プロ バイダ名とアクセスポイント の都市を入れておくと、複数 のアクセスポイントを登録し て選択するときに便利です。

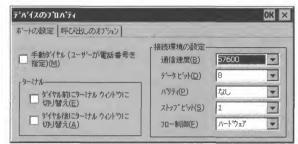


一般公衆回線を使ってアクセスポイントに電話する場合は「SoftModem on COM5:」を、携帯電話または PHS を使う場合は「COM6上のPDC_PHS接続」をタップします。

「モデムの選択」欄の ▼ をタップし、表示される一覧で「SoftModem on COM5:」をタップする



5 「モデムの設定」をタップし、接続環境の設定の「通信速度」欄の ▼ をタップして、表示される一覧で「57600」をタップして、[OK]をタップする



「新しいダイヤルアップ接続」ウィンドウにもどったら、「TCP/IPの設定」をタップし、「サーバが割り当てた IPアドレスを使用する」にのみ
▼ を付け、[OK]をタップする

他の3項目(Slip を使用する、ソフトウェア圧縮を使用する、IPヘッダー圧縮を使用する)には ✓ を付けません。

一般公衆回線を使ってアクセ スポイントに電話する場合は

[57600] を、携帯電話を使

う場合は「9600」をタップ

し、[OK]をタップします。 P H S を使う場合は

[38400]をタップし、「呼び

でもっと教えて

- ●[TCP/IPの設定]のIPアドレス設定を変える必要はありません。現在ほとんどのインターネットサービス・プロバイダは、サーバが割り当てたアドレス設定を使うようになっています。もしインターネットサービス・プロバイダがこのようなアドレス設定を使っていないときは、[TCP/IPの設定]ダイアログボックスにアドレスを入力してください。終了したら[次へ]をタップします。
- **7** 「新しいダイヤルアップ接続」ウィンドウにもどったら、[次へ]をタップする

「国番号」欄は「81」のままで、「市外局 番|欄と「電話番号|欄にアクセスポイ ントの電話番号を入力し、「市外通話とし てダイヤル]または「市内通話としてダイ ヤル]のどちらかをタップして、「終了]を タップする

これで、接続先の登録が完了 しました。リモートネット ワーク・ウィンドウに、操作 手順3で入力した名前のアイ コン (「ぷらら横浜」など) が 表示されます。

- 「81」は日本の国番号です。
- 携帯電話や PHS を使ってアクセスポイントに電話する場合は市外局番からダイヤルするため、「市外通話 としてダイヤルーを選択します。
- ▶ PHS を使う場合は、PIAFS 対応のプロバイダアクセスポイントを指定してください。
- ▶「AV リンクメール」で接続先を選択するとき、ここで設定した接続先が一覧に表示されます。
- 登録した接続先のアイコンをタップし、 [ファイル]をタップし、「デスクトップ ショートカットの作成]をタップする

接続先のショートカットアイ コン(「ぷらら横浜への ショートカット はど)が作 られ、デスクトップに表示さ れます。以降、デスクトップ でこのショートカットアイコ ンをダブルタップすると、登 録した接続先にダイヤルする ことができます。

でもっと教えて

- ●「Pocket Internet Explorer」などでWebページを閲覧するときは、デスクトップでこのショートカット アイコンをダブルタップすると、登録した接続先にダイヤルします。
- をタップして、リモートネットワー ク・ウィンドウを閉じる

インターネットに接続する

インターネットに接続するには、下記の情報が必要です。これらの情報はプロバイダと契約すると通知されます。 不明な場合はプロバイダにお問い合わせください。

・ユーザー名(ユーザー ID) ・パスワード

通常、商用プロバイダに接続するときは、ドメイン欄の入力は必要ありません。

■電話回線につなぐ

1 モジュラージャックに付属のモジュラーケーブルを差し込み、電話回線につなぐ



モジュラーケーブルのコネク タの向きに注意し、「カチッ」 と音がするまでしっかり差し 込みます。

詳しくは、「電話回線につな ぐ」をご覧ください。(→114 ページ)

■アクセスポイントに電話をかけ、サーバにつなぐ

- デスクトップ上に作成したリモートネットワークのショートカットアイコンをダブルタップする
- 3 「ユーザー名」「パスワード」を入力する
- **4** ダイヤルのプロパティダイアログで[ダイヤルのプロパティ]をタップする
- **5** 「発信元」欄の ▼ をタップし、表示される一覧で発信元に当てはまるものをタップして、[OK]をタップする
- 6 [接続]をタップする

ダイヤルアップ接続ダイアロ グが表示されます。

「ユーザー名」にはユーザー ID を入力します。

通常、商用プロバイダに接続 するときは、ドメイン欄の入 力は必要ありません。

これで、発信元の電話の設定 ができました。

アクセスポイントに電話をかけます。インターネットに接続できると「接続中」のダイアログが表示されるので、ブラウザを起動してWebページを見たり(→59ページ)、メールの送受信をしたりします(→69、74ページ)。

「Pocket Internet Explorer」が起動されます。 初めて起動したときは「よう でそ」の画面が表示されま

す。好みのページにジャンプ して、お楽しみください。

[Pocket Internet

Explorer I の操作方法につい

ては[?]をタップして、ヘル

プをご覧ください。

Web ページを閲覧する

インターネットに接続できたら、ブラウザソフトの「Pocket Internet Explorer」を起動して、Webページを見てみましょう。

◀ イチ押しキーの 😥 を押す

むもっと教えて

- インターネットまたはイントラネットに接続せずに、InterLinkに保存されている Web ページを見るには、「Pocket Internet Explorer」の[ファイル]メニューの[開く]をタップし、「インターネットのアドレスを開く」ダイアログで[参照]をタップして、見たいファイルを選択します。
- インターネットやイントラネットのWebページを見るには、InterLinkをインターネットまたはイントラネットに接続し、「Pocket Internet Explorer」のアドレスボックスに見たいWebページのURLを入力します。
- WebページのHTML ソースコードを見るには、まず「Pocket Internet Explorer」の[ファイル]メニューの[名前を付けて保存]をタップし、そのページを保存します。次に「Pocket Word」を起動して[ファイル]メニューの[開く]をタップし、「開く」ダイアログの「種類」欄で「すべてのファイル」を選択して、先ほど保存したページ(HTMLファイル)を選択します。

「Pocket Internet Explorer」を終了します。

2 🛽 をタップする

■電話回線を切る

- **3** 電話回線を切るときは、タスクバーのステータスエリアの[リモートネットワーク]アイコンをダブルタップする
- ◢ 「切断」をタップする
- ■電話回線からはずす
- 5 モジュラーケーブルを取り外す

詳しくは、「電話回線につな ぐ」をご覧ください。(→114 ページ)

メール送受信のための設定をする

「AVリンクメール」でメールをやり取りするための設定をしましょう。設定するには、電子メールアドレスが必要です。不明な場合は、契約したプロバイダにお問い合わせください。

「AVリンクメール」を初めて起動したときは、下記手順の基本設定ウィザードに従って、メール送受信のための設定を正しく行います。「ポート番号の編集」は通常、変更する必要はありません。

- ¶ イチ押しキーの「Mail」を押す
- **2** 「AVリンクメール」を初めて起動した場合は、ユーザ名を入力し、[OK]をタップする

「AVリンクメール」が起動 されます。

画面に表示されている「アカウントネーム」とは、ユーザ名のことです。名前でも名字でも、ニックネームでもかまいません。基本設定ウィザードが起動され、「送信」ダイアログが表示されます。

3 「送信」ダイアログの下記の内容を確認し、「次へ」をタップする

下記の内容は通常、変更する必要はありません。

「ヘッダフィールドをエンコードする」(デフォルト「する」、「BASE64」) 「次のサイズよりメッセージが大きい場合は分割する」(デフォルト「しない」) 「ただちに送信する」(デフォルト「する」)

4 「受信」ダイアログの下記の内容を確認し、「次へ」をタップする

下記の内容は通常、変更する必要はありません。

「受信メールの最大メモリサイズ」(デフォルト「しない」) 「サーバにメッセージを残す」(デフォルト「しない」)

「サーバ」ダイアログの「サーバの設定」 および「電子メールアドレス」欄にメール アカウント情報を入力し、「次へ」をタップ する

「ポート番号の編集」は通常、変更する必要はありません。



6 「コンテンツ」ダイアログの下記の内容を確認し、「終了]をタップする

下記の内容は通常、変更する必要はありません。

「コンテンツのエンコード形式」(デフォルト「Base64」) 「次の文字をこえたら自動改行する」(デフォルト「する」、76文字)



「AVリンクメール」の画面に、操作手順2で入力したアカウントネーム(kogaなど)のフォルダと「ごみ箱」フォルダが表示され、アカウントネームのフォルダの中には「受信箱」「送信箱」のフォルダが表示されます。この画面でメールを作成して送ったり、メールを受け取って読んだりします。(→75ページ)



7 ⋉をタップする

「AVリンクメール」を終了します。 AVリンクメールの操作方法は、66ページ以降をご覧ください。 Windows CE サービスについては 152 ページをご覧ください。 PC で Microsoft Outlook 98 を使いたい場合は、前もってアップグレードしておいてください。

- (PC を立ち上げ状態にしてから) InterLink を AC 電源に接続する
- InterLink と PC を付属のシリアルケーブルで接続する
- **3** 付属の「デスクトップソフトウェア for Microsoft Windows CE CD-ROM」を、PC の CD-ROM ドライブに入れる
- 4 [Mirosoft Windows CEサービスの セットアップ] アイコンを押し、以降は 画面の指示に従う



InterLinkとPCの接続、パートナーシップの設定から、初めての同期まで、ウィザードに従って進めてください。メールメッセージなどいくつかの項目は、初期設定では同期されません。ウィザードが終了すると、PCのデスクトップに (モバイルデバイスアイコン)が作成され、その中に「InterLink」のアイコンも作成されます。

詳しくは「AC 電源を使うと き」をご覧ください。(→29 ページ)

詳しくは「パソコンにつな ぐ」をご覧ください。(→ 123ページ)

詳しくは「Microsoft CE サービス」をご覧ください。 (\rightarrow 152ページ)

ウィザードが自動的に起動されます。起動されない場合は、「d:\textup」を入力してください(CD-ROMドライブがd:ドライブの場合)。 [追加するコンポーネント]については、Windows CEサービス CD-ROMの Read me.doc を参照してください。

「新規パートナー関係のウィザード」のデバイス名に 「InterLink」を入力してください。

できっと教えて

- ●ウィザードを完了した後で、同期したい項目のタイプを変更するときには、モバイルデバイスフォルダ内の InterLinkのアイコンを選び、「ツール」メニューにある「Active Sync の設定」をクリックします。
- Windows 95/98 の PC と同期するには、赤外線通信を使って同期することもできます。Windows 95 の場合には、Windows 95 赤外線ドライバのインストールが必要です。詳しくは Windows CE サービスのヘルプをご覧ください。
- ●InterLink上の情報が破壊されたり失われたりすることに備えてWindows CEサービスを使ってInterLink のデータをPCに定期的にバックアップしてください。InterLinkを接続し、PCのモバイルデバイスフォルダ内の「ツール」メニューで「バックアップ/復元」をクリックしてください。InterLink にどれだけの情報があるかによりますが、最初のバックアップは時間がかかるかもしれません。2回目のバックアップは「バックアップ/復元プロバティ」で「差分バックアップ」を選ぶことによりもっと速くできます。

付属の CD-ROM からアプリケーションをインストールする

InterLink にソフトウェアを追加または削除するには、付属の CD-ROM「デスクトップ ソフトウェア for Microsoft Windows CE CD-ROM」を使用します。この CD-ROM から「Microsoft Windows CE サービス」を PC にインストール(\rightarrow 62ページ)した ら、もう 1 枚の「アプリケーション CD-ROM」からお好みのアプリケーションを InterLink にインストールしてみましょう。

- ¶ InterLink を AC 電源に接続する
- InterLink と PC を付属のシリアルケー ブルで接続する
- 3 「アプリケーションCD-ROM」を、PCのCD-ROMドライブに入れる

詳しくは「AC 電源を使うと き」をご覧ください。(→29 ページ)

詳しくは「パソコンにつな ぐ」をご覧ください。(→ 123ページ)

しばらくすると「InterLinkアプリケーションインストーラー」が起動され、PCの画面に「アプリケーションソフトリスト」が表示されます。 CD-ROMを入れても自動的に「InterLink アプリケーションインストーラー」が起動しない場合は、エクスプローラーで CD-ROM内のInterLink アイコンをダブルクリックして起動してください。

- 4 InterLink にインストールしたいアプリケーションの[選択]ボタンをクリックする
- [インストール]をクリックする



インストールが始まります。 [説明を見る]をクリックする と、そのアプリケーションの 説明が表示されます。 インストールが終了するま で、InterLink の操作はしな いでください。



インストールが完了すると、InterLinkのデスクトップに プログラムのアイコンが追加されます。

しまっと教えて

●追加したアプリケーション を削除するには、InterLink のコントロールパネル内の 「アプリケーションの削除」 を開き、プログラムを選択 し、[削除] をタップします。

注意

- ・CD-ROMの中にファイルされているReadme.txtファイルには、セットアップに関する追加の情報や、取扱説明書に記載されていない情報が載っています。付属のソフトウェアをインストールする前にお読みください。
- ・アプリケーションソフトリスト画面の中で、CE はInterLink用ソフト、WID はWindows 95/98 用ソフトを意味しています。WID の付いたソフトは InterLink にはインストールできません。

3章 メールを楽しもう

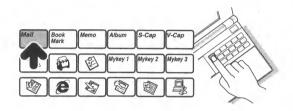
実践

| 日七くケールで近り、山東の牛哺でする | |
|--------------------------|--------|
| メールを書く | 66 |
| メールを送る | 68 |
| 別のアクセスポイントを登録する | 71 |
| メールにファイルを添付して公衆電話から送る | |
| 他のアプリケーションから | |
| 「AVリンクメール」を起動して送信する | 72 |
| 携帯電話・PHSでメールの送信と受信を一度に行う | |
| 接続〜送信〜受信〜切断まで一度の操作に行う… | 74 |
| 受信メールを読み、添付ファイルを開く | ····76 |
| (知っていると便利 | |
| メール作成で便利な方法 | 78 |
| メール送信で便利な方法 | 79 |
| メール受信で便利な方法 | 80 |

ョ メールを書く

さっそくメールを書きましょう。電話回線には、まだつなぎません。

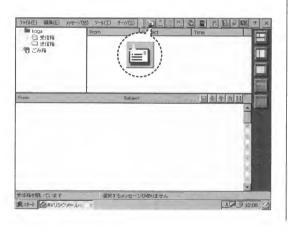
イチ押しボタンの「Mail」を押す



「AV リンクメール」が起 動されます。

デスクトップの「AVリン クメール | アイコンをダブ ルタップしても起動でき ます。

ツールバーの[新規作成]ボタンをタップ する

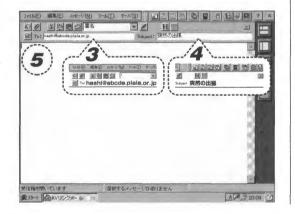


送信ウィンドウの画面が 開き、新しくメールを書く ことができます。

メールを楽しもう

- **3** 「To:」の欄に、送りたい相手のメールアドレスを入力する
- 4 「Subject:」の欄をタップし、タイトルを入力する

5 メッセージを入力するスペース(アドレスやタイトルの下のスペース)をタップし、メッセージを入力する



カーソルが点滅している 欄に、相手のメールアドレ スを入力します。(例: hashi@abcde.plala.or.jp など)。

「Subject:」の欄をタップすると、カーソルが点滅し、タイトルを入力することができます。

「メッセージ」の欄をタッ プすると、カーソルが点滅 し、メッセージを入力する ことができます。



●「To:」と「Subject:」 とメッセージは、どれを先に 入力してもかまいません。

☑ メールを送る

送信ウインドウに相手のメールアドレス、タイトル、メッセージを入力したら、下記の操作を始めましょう。InterLinkを電話回線につないで、メールを送信します。

注意

- この例で接続するのは、一般の家庭電話などにある通常のモジュラータイプの電話です(2線式電話)。ビジネスホン、デジタル式構内交換機(PBX)には接続しないでください。故障や発熱、火災の原因になります。
- キャッチホンの契約をしている場合、メールの送受信中に電話がかかってくると、 キャッチホンが働き通信が切れてしまいます。キャッチホンⅡの場合は、「通信中 に割り込まない」という設定にすることができます。

■電話回線につなぐ

モジュラージャックに付属のモジュラーケーブルを差し込んで、電話回線に接続する



モジュラーケーブルのコネクタの向きに注意して、「カチッ」と音がするまでしっかり差し込みます。詳しくは「電話回線につなぐ」をご覧ください。(→114ページ)

■アクセスポイントに電話をかけ、サーバにつなぐ

- 2 [サーバ]をタップし、[接続]をタップする
- **3** 一覧で接続先をタップし、[決定]をタップ する

「サーバ接続」ダイアログに、 接続先の一覧が表示されま す。

接続先は「リモートネット ワーク」で登録しておいたも の(「ぷらら横浜」など)です。 (→55ページ)

次に、ダイヤルアップ接続ダイアログが表示されます。

▲ 「ユーザー名」「パスワード」を入力する

これらの情報はプロバイダと 契約すると通知されます。不 明な場合はプロバイダにお問 い合わせください。

発信元の電話の設定(回線の種類など)が必要な場合は、[ダイヤルのプロパティ]をタップして設定します。

5 [接続]をタップする

選択した接続先に電話をかけ、プロバイダのアクセスポイントのサーバに接続します。

「接続しました」とメッセー ジが表示されるまで、そのま まお待ちください。

■メールを送信する

6 [送信]ボタンをタップする



「メールを書く」で作成した メールが送信されます。 「送信完了しました」とメッ セージが表示されるまで、そ のままお待ちください。

□ 次ページにつづく

しまっと教えて

- プロバイダのアクセスポイント(のサーバ)に電話をかけるための設定は、「リモートネットワーク」で登録しておきます。(→ 55 ベージ)
- メールを送受信するための設定は、「AVリンクメール」を初めて起動したときに基本設定ウィザードで行います (→60ページ)。まだ設定していない場合や設定を変更する場合は、[ツール]の[基本設定]をタップして各項目を設定してください。

■通信を終了する

7 [サーバ]をタップし、[接続を切る]をタップする

送信が終わったので、プロバイダとの接続を切ります。

モジュラーケーブルを取りはずす

電話コンセントには、元どおり、電話機のモジュラーケー ブルを差し込んでおきます。

ひもっと教えて

●[サーバ]の[メール送受信]をタップすると、アクセスポイントに電話をかけてサーバに接続→メールの送信→メールの受信→電話回線の切断が自動的にでき、便利です。(→74ページ)

別のアクセスポイントを登録する

遠方に旅行や出張をしてメールの送受信をする場合は、最寄りのアクセスポイントの電話 番号を登録しておきましょう。

■「AV リンクメール」から「リモートネットワーク」へ

- **1** 「AV リンクメール」で、タスクバー右端の[デスクトップ]アイコンをタップする
- [スタート]メニューから[プログラム]、 [通信]、[リモートネットワーク]の順に タップし、[新しい接続]アイコンをダブル タップして、別のアクセスポイントを登 録する

「AVリンクメール」が最小化 され、デスクトップ画面が表 示されます。

詳しい操作方法については、 「インターネット接続のため の設定をする」をご覧くださ い。(→55ページ)

■「AV リンクメール」で登録を確認する

- **3** タスクバーの[AV リンクメール]アイコンをタップする
- ◢ [サーバ]をタップし、[接続] をタップする
- **5** 「サーバ接続」ダイアログの[キャンセル] をタップする
- **6** 「AV リンクメール」の[×]ボタンをタップする

最小化されていた「AV リンクメール」が最大化されて、 画面に表示されます。

「サーバ接続」ダイアログに 表示された接続先一覧に、新 しく登録した接続先があるこ とを確認します。

「サーバ接続」ダイアログを 閉じます。

「AVリンクメール」を終了します。

しくもっと教えて

●登録したアクセスポイントの電話番号が変わった場合は、操作手順 2 でその接続先のアイコンをダブルタップして電話番号を入力し直します。

メールにファイルを添付して公衆電話から送る



○ 他のアプリケーションから「AVリンクメール」を起動して送信する

InterLinkオリジナルアプリケーションで静止画や動画を作成したり再生したりすると、 そのアプリケーションから「AVリンクメール」を起動して、メールで静止画や動画を 送ることができます。なお、自分で作成したデータ以外の画像ファイル、動画ファイル やMIDIファイルを添付して送る場合は、著作権の扱いにご注意ください。



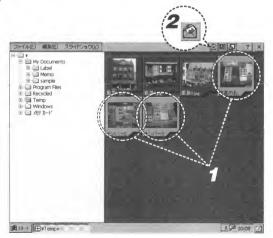
AVリンクメール

ここでは、「ピクチャーアルバム」で静止画を保存したあとで(→82ページ)、メー ルで送ってみましょう。電話回線はISDN公衆電話を使ってみます。

■他のアプリケーションから「AVリンクメール」を起動する

「ピクチャーアルバム」で、送りたい静 止画をタップする

🤈 [メール]ボタンをタップする

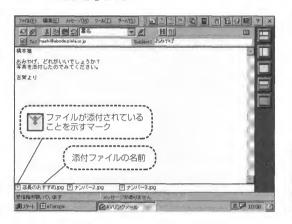


画像のファイル名以外の場所 をタップすると、フレームが 明るくなります。これが選択 された状態です。タップ操作 を繰り返すと、複数の画像が 選択できます。選択を取り消 すときは、同じ画像をもう一 度タップします。

「AVリンクメール」が起動さ れます。上記の6種のアプリケ ーションには、すべてこの [メ ール] ボタンがあります。 すでに「AVリンクメール」 が起動している場合、「メー ル] ボタンをタップしても新 規にメールが作成されません。 「AVリンクメール」を終了 してから [メール] ボタンを タップし直してください。

■メールを完成させる

3 相手のメールアドレスと、タイトル、メッセージを入力する



操作手順1で選択した画像を 新規作成メールに添付した状態になっているので、メール アドレスとタイトル、メッセージを入力すれば、メール の作成は完了です。

■ ISDN 公衆電話につなぐ

- 4 モジュラージャックに付属のモジュラー ケーブルを差し込み、ISDN 公衆電話の アナログコネクタにつなぐ
- 5 ISDN公衆電話の「データ通信」ボタンを 押し、ISDN公衆電話にテレホンカード を入れる

■メールを送る

6 「AVリンクメール」で、メールを送信 → サーバから切り離す、の操作をする

モジュラージャックのコネクタの向きに注意し、「カチッ」と音がするまでしっかり差しいみます。

硬貨でもかまいません。 これで、自宅で電話コンセント につないだときと同じ状態に なりました。

操作方法は、「メールを送る」を ご覧ください。(→68ページ) サーバから切り離すと通信が終了し、テレホンカードが返 却されます。 モジュラーケーブルを取り外してください。

きっと教えて

- ●ファイルを添付してメールを送るには、下記の方法もあります。
- ・「AV リンクメール」でメール作成中に ☑ ボタンをタップして、添付したいファイルを選択します。ファイル形式にかかわらず添付できます。
- ·「AV リンクメール」でメール作成中に 🚹 🍱 などの Plug In ボタンをタップして、添付したいファイルをその場で作ります。

携帯電話・PHS でメールの送信と受信を一度に行う

🔁 接続〜送信〜受信〜切断までを一度の操作で行う

サーバに接続 → メールを送る/受け取る → サーバから切り離す の一連の操作を自動的に行うこともできます。ここでは、携帯電話を使ってメールの送受信をしてみます。

■メールを書く

「AV リンクメール」で[新規作成]ボタンをタップし、メールを書く

操作方法は、「メールを書く」 をご覧ください。(→ 66 ペー ジ)

■携帯電話につなぐ

- PDC/PHSコネクタにPDC接続ケーブルを差し込み、携帯電話につなぐ
- 3 携帯電話の電源を入れる

PDC接続ケーブル(別売)の コネクタの向きに注意し、 「カチッ」と音がするまで、 しっかり差し込みます。(→ 116ページ)

■メールを送る/受け取る~電話回線を切る

- ▲ [メール送受信]ボタンをタップする
- 5 「サーバ接続」ダイアログで接続先を選び、「ダイアルアップ接続」ダイアログで「ユーザー名」「パスワード」を入力する



選択した接続先に電話をかけ、プロバイダのアクセスポイントのサーバに接続し、メールの送信とメールの受信をしたあと、ダイアルアップ接続を切るまで、自動的に行います。

「サーバ接続」ダイアログに 接続先の一覧が表示されま す。

接続先は「リモートネット ワーク」で登録しておいたも のです。(→55ページ) ユーザー名、パスワードはプロバイダと契約すると通知さ れます。不明な場合はプロバイダにお問い合わせください。

できっと教えて

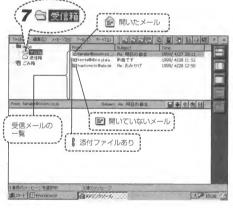
- PHS 接続ケーブル(別売) を使って同様にメールの送受 信ができます。
- ●機種によっては、InterLink で対応していない携帯電話、 PHS があります。

■メールリストをチェックする

6 「送信箱」フォルダをタップする



7 「受信箱」フォルダをタップする



送信/未送信メールの一覧が 表示されます。

受信メールの一覧が表示され ます。

■携帯電話を取りはずす

8 携帯電話の電源を切って、PDC接続ケーブルを取りはずす

しまっと教えて

●[メール送受信]はまず作成中のメールを送り、「送信箱」に未送信メールがあれば、すべて送信します。それから、接続先のサーバにメールが届いていれば受信します。

受信メールを読み、添付ファイルを開く

受け取ったメールを開いて、読みます。このとき、電話回線にはつなぎません。また、メールにファイルが添付されている場合、開くとファイル形式に対応した Plug In のアプリケーションが起動されます。

■受信メールを読む

¶ 「AV リンクメール」で「受信箱」フォルダをタップし、受信メールの一覧で読みたいメールをタップする

画面の下側のウィンドウに、メールの内容が表示されます。画面全体にメールの内容を表示させるときは、メールをダブルタップするか、画面右側の

ボタンをタップします。

■添付ファイルを開く

2 [添付ファイル]マークをダブルタップする



メールに添付ファイルがある場合は、受信ウィンドウの下に[添付ファイル]マークと添付ファイル名が表示されます。



添付ファイルの形式に合ったPlug Inが起動され、画面下側にマルチメディアウィンドウが開きます。

- ・拡張子が bmp, jpg, gif:「画像ビューワ」が起動されます。画像が大きい場合、[拡大] ボタンをタップするとPocket Internet Explorerが起動され、静止画を表示します。
- ・拡張子が jmm:「ビデオプレーヤー」が起動され、動画 /音声が再生されます。
- ·拡張子が mid:「ソフトシンセプレーヤー」が起動され、 音楽が再生されます。



左図は、「ソフトシンセプレーヤー」が起動された例です。

■添付ファイルを保存する

- **3** Altキーを押しながら[添付ファイル]マークをタップする
- ▲ [名前を付けて保存]をタップする
- 5 保存するときのファイル名を入力して、 [OK]をタップする

ポップアップメニューが表示 されます。

「名前を付けて保存」ダイア ログが表示されます。

保存するフォルダを選択したり、新規に作成することも選択できます。



メール作成で便利な方法

■アドレス帳を作る

名前とメールアドレスをアドレス帳に登録することで、メール作成時にメールアドレスを入力する手間が省け、アドレスの入力ミスを防ぐことができます。

あらかじめ「アドレス帳」に登録をしておく

■ボタンをタップして、相手の「名前」と「アドレス」を登録します。



メールのアドレスを入力するときに、アドレス帳から 選択する

メッセージの新規作成時、 ■ ボタンをタップして、メールを送りたい 相手を選択します。そのあと、 「ゝ'」ボタン、 □ ボタン、 □ ボタン・ ボタン・ ロップします。

むもっと教えて

●メールを受信したときに、相手のメールアドレスを自動的にアドレス帳に登録するように設定することもできます。 [ツール]の[オプション]の「その他」で設定します。

■署名定型文を登録する

送信メールの最後に付ける、自分の名前や連絡先などの署名や、よく使うあいさつ文などを定型 文として登録しておくことができます。プライベートや仕事用など、複数登録して、メールの内 容に応じて使い分けると便利です。

「署名定型文」をあらかじめ登録しておく

[ツール]の[オプション]の「署名定型文」で登録します。



メールのメッセージを入力するときに、 登録した署名定型文から選択する

署名定型文を挿入したい場所にカーソルを移動し、署名定型文ボックスで署名を選択して ☑ ボタンをタップします。

メール送信で便利な方法

■宛先は「To:」「Cc:」「Bcc:」を使い分けて

同じ内容のメールを何通も作らなくても、複数の相手に同時にメールを送信することができます。送信ウインドウでメールを作成するとき、「To:」や「Co:」、「Bco:」欄をタップして、アドレスを入力します。

To: 宛先

アドレスを「,」(カンマ)で区切って、複数入力することができます。例) **To**: chiba@xxxx.or.jp,fukushima@xxxx.ne.jp,miyazaki@xxx.ac.jp

Cc: カーボンコピー

直接用件がある人ではないが、メールのコピーを送っておきたい人のアドレスを入力します。一人でも、複数でも入力できます。

例) Cc: oosaka@xxxx.co.jp,fukuoka@xxxx.ne.jp

Bcc: ブラインド・カーボンコピー

直接用件がある人ではないが、メールのコピーを送っておきたい人のアドレスを入力します。Cc:との違いは、Bcc:を送ったことがTo:やCc:の人たちにはわからないことです(隠す、見えなくする=blind)。一人でも、複数でも入力できます。

例) Bcc: kumamoto@xxx.ac.jp,yamaguchi@xxxxx.or.jp



●アドレス帳からアドレスを選択するとき、 ボタンや ボタン Mタンボタンをタップすると、選択したアドレスが「To:」「Cc:」「Bcc:」欄のうち指定の場所に表示されます。

■未送信メールを「送信箱」にためて、一気に送信する

メールを書くたびに送信しなくても、メールを保存しておいて、何通かたまった時点で送信する ことができます。また、すぐに送信せずに保存しておけば、後で書き直したりできるので便利です。 未送信メールは「送信箱」に保存されます。

作成したメールを保存する

メールを作成したあと、[ファイル]の[未送信メールとして保存]をタップします。または、メールの作成中に送信ウィンドウを閉じると、未送信メールとして保存するか確認のメッセージが表示されます。

未送信メールを「送信箱」にためて、一気に送信する

「送信箱」のメールリストで未送信メールをタップすると、未送信メールの内容が送信ウィンドウに表示されます。修正するなどして、未送信メールがすべて送れる状態になったら、送信します。 作成中のメールも、送信箱の未送信メールもすべて送信されます。

メール受信で便利な方法

■テーマ別にフォルダを作って整理する

「受信箱」「送信箱」以外にフォルダを作っておくと、メールの内容別に保存することができるので、もう一度読みたいメールを探すときに役に立ちます。

フォルダを作成する

[ファイル]の[フォルダの作成]をタップして、新規にフォルダを作ります。フォルダ名にはわかりやすい名前を付けます。



メールを選択し、フォルダに移動させる

リストウィンドウで、作成したフォルダにメールをドラッグすると、 移動できます。複数のメールを選択してドラッグした場合は、動かす ときに信用マークが表示されます。

■タイトルや差出人でメールを振り分けて整理する

メールを受信したとき、特定のフォルダに自動分類することができます。たとえば、「Subject:」に「会議」という文字が含まれているメールは「仕事」フォルダに移動する、といったことができます。

「振り分け」の設定をする

[ツール]の[オプション]の「振り分け」で設定します。いつ振り分けるかと、振り分けの条件を指定します。

例)「Subject:」に「会議」という文字が含まれているメールは「仕事」フォルダに移動する場合、振り分け条件は下記のようになります。

「対象ヘッダ」:Subject: 「移動先」:什事フォルダ

「検索文」:会議



自動的に振り分けられる

設定によって、受信時または、読んだあと、「AVリンクメール」の終了時のいずれかに振り分けられます。

4章 画像を楽しもう

実践

デジタルスチルカメラの画像でアルバムを作る

| 「ピクチャーアルバム」で |
|-------------------------------|
| デジタルスチルカメラ画像を取り込む82 |
| () 知っていると便利 |
| 静止画の取り込み方いろいろ84 |
| 「ピクチャーアルバム」で便利な方法85 |
| 写真にいたずら書きをする |
| 「ピクチャーアルバム」から「ピクチャーパレット」へ …86 |
| (知っていると便利 |
| 「ピクチャーパレット」で便利な方法88 |
| USBキャプチャーカメラで動画を録る |
| 「ビデオキャプチャー」で画像を取り込む89 |
| ショプ知っていると便利 |
| 画像/音声だけを録りたいとき91 |
| 動画/音声の再生いろいろ91 |
| 作った画像をメールで送る |
| 「ピクチャーアルバム」から「AVリンクメール」へ92 |
| () 知っていると便利 |
| 静止画をメールで送る方法93 |
| 動画をメールで送る方法94 |
| メールで静止面/動画が届いたら95 |

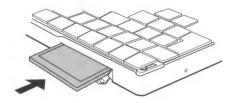
デジタルスチルカメラの画像でアルバムを作る

『ピクチャーアルバム』でデジタルスチルカメラ画像を取り込む

デジタルスチルカメラで撮った画像を、InterLinkに取り込んでみましょう。ここでは、コンパクトフラッシュカードに画像データを保存できるデジタルスチルカメラの例で説明します。

■コンパクトフラッシュカードから画像を取り込む

- ¶ InterLink の電源を切る
- 2 画像が保存されているコンパクトフラッシュカードをコンパクトフラッシュカードスロットに入れる



看 イチ押しキーの「Album」を押す

4 画面左側のツリー表示で、メモリカード のフォルダをタップする 向きに注意して、スロットの 奥のコネクタに固定されるま で、押し込みます。

詳しくは「コンパクトフラッシュカードの入れ方/取り出し方」をご覧ください。(→129ページ)

「ピクチャーアルバム」が起 動されます。

電源を入れて、デスクトップ の「ピクチャーアルバム」ア イコンをダブルタップしても 起動できます。

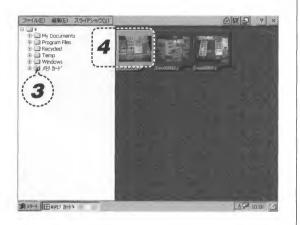
コンパクトフラッシュカード に保存されている画像が、ア ルバム状に表示されます。

きっと教えて

●静止画は、USBキャプチャーカメラ(別売)やIrTran-P対応のデジタルスチルカメラ、JLIP対応のビデオ機器からも取り込めます。

■画像を保存する

4 保存する画像の、ファイル名以外の部分 をタップする



- **5** [編集]をタップし、[コピー]をタップする
- **6** 画面左側のツリー表示で、Temp フォル ダをタップする
- **7** [編集]をタップし、[貼り付け]をタップ する

画像のフレームが明るくなり ます。これが選択された状態 です。

複数の画像を選択するときは、繰り返しタップします。

じもっと教えて

●画像のファイル名の部分 をタップすると、画像情報が 表示されます。ファイル名以 外の部分をタップすると、そ の画像を選択できます。

選択した画像をコピーします。

Temp フォルダを開きます。

選択した画像が Temp フォルダにコピーされます。

でもっと教えて

●ここでは画像のコピー先をTempフォルダにしましたが、他のフォルダでもかまいません。



、知っていると便利

静止画の取り込み方いろいろ

下記の3種類の機器を接続して、「スチルキャプチャー」「ピクチャーアルバム」「ピクチャーパレット」で静止画を取り込むことができます。

- ・赤外線画像通信対応(IrTran-P準拠)のデジタルスチルカメラ ・JLIP対応のビデオ機器
- ·USBキャプチャーカメラ(別売)

取り込み機器とInterLinkを接続して、取り込み可能な 状態へ

赤外線画像通信対応 デジタルカメラ 赤外線ポート同士を真正面に向き合わせる →転送状態にする

JLIP対応ビデオ機器

拡張コネクタに付属のシリアルケーブルと JLIPケーブルで接続する→一時停止状態に する

USBキャプチャーカメラ USBコネクタに取り付ける→撮影状態に する

詳しくは「他の機器と接続する」をご覧ください。(→113ページ)



静止画を取り込む機器を選択して、取り込み開始

「スチルキャプチャー」の[ファイル]の[取り込み機器の選択]で、下記のように機器を選択します。

赤外線画像通信対応デジタルカメラ

IrTran-P

JLIP対応ビデオ機器

JLIP

USBキャプチャーカメラ

USBキャプチャーカメラ

それから[ファイル]の[画像取り込み]を選択します。

砂もっと教えて

●デジタルスチルカメラで撮影してスマートメディアやコンパクトフラッシュカードに保存した画像は、「ピクチャーアルバム」と「ピクチャーパレット」で読み込むことができます。「スチルキャプチャー」では読み込むことができません。

「ピクチャーアルバム」で便利な方法

■順序を入れ替える

保存した画像の順序を日付け順や名前順に並べ替えたり、好きな順序に入れ替えることができます。 日付順や名前順の並べ替えは、[編集]の[並べ替え]で行います。好きな順序に入れ替えるには、下 記のように操作します。

移動したい画像をタップし、移動先の画像の前にドラッグする

移動先を確定する

移動先が赤いカーソルで表示されたら、スタイラスを画面から離します。 複数の画像を一度に移動する場合は、画像のタップをくり返して選択 した状態にしてから、上記の操作をします。

■画像をフォルダに整理する

取り込んだ画像の数が増えてしまったときに、どのファイルがどの写真なのかすぐにわかるように、フォルダを作って整理することをおすすめします。

フォルダを作成する

[ファイル]の[新規フォルダ作成]をタップします。



画像をフォルダにドラッグする

■スライドショウを作る

表示されているアルバムに並んでいる順序にしたがって、画像をスライドのように順次表示する ことができます。

表示させたい画像が入っているフォルダを選択する



スライドショウを始める

[スライドショウ]の[実行]をタップします。

パソコンなどの外部ディスプレイに接続して、スライドショウを表示 させることもできます。

写真にいたずら書きをする

☑ 「ピクチャーアルバム」から「ピクチャーパレット」へ

「ピクチャーアルバム」から「ピクチャーパレット」を起動して、選択した画像に文字を 入れたり、修正したりすることができます。

■「ピクチャーアルバム」から「ピクチャーパレット」へ

1 「ピクチャーアルバム」で、選択する画像のファイル名以外の部分をタップする

画像のフレームの部分が明る くなります。これが選択され た状態です。

[パレット]ボタンをタップする



選択した画像が「ピクチャーパレット」の画面に表示され、編集の操作をすることができます。

「ピクチャーパレット」につ いての詳細は、オンラインマ ニュアルの「ヘルプ」を参照 してください。

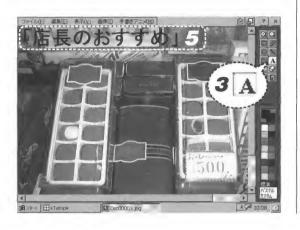
■「ピクチャーパレット」で文字や線画を書き足す

3 「ピクチャーパレット」で、ツールボックスの[テキスト] ボタンをタップする

「文字入力」ダイアログが表示されます。

「文字入力」ダイアログに文字を入力し、 [OK]をタップする

5 画面上の適当な場所をタップし、希望の 場所へドラッグする



タップすると文字枠だけが表示されるので、希望の場所まで動かし、スタイラスを離すと文字列が表示されます。

■画像を保存する

- **6** [ファイル]をタップし、[名前を付けて保存]をタップする
- **7** 「名前を付けて保存」ダイアログにファイル名を入力し、[OK]をタップする
- **★**[×]ボタンをタップする

「名前を付けて保存」ダイア ログが表示されます。

いたずら書きをしたので、元 の画像とは別の名前で保存し ます。

「ピクチャーパレット」を終 了し、元の「ピクチャーアル バム」に戻ります。

しまっと教えて

- ●写真が何枚もあるときは、操作手順 1 ~ 8 を繰り返し操作します。
- ●編集した画像を元の画像に上書きしてよい場合は、[ファイル]の[上書き保存]をタップします。
- ●イチ押しキーやデスクトップ、[スタート]メニューから「ピクチャーパレット」を起動した場合は、[×]ボタンをタップするとデスクトップに戻ります。



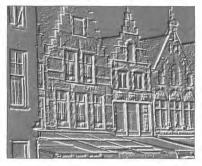
「ピクチャーパレット」で便利な方法

■さまざまな画像処理で変化を楽しむ

画像の色や明るさを変えたり、向きや大きさを変えたり、トリミングしたりするほか、シャープにする/ぼかす/モザイク模様にする/浮き彫り(エンボス)にするなどの効果を楽しむことができます。



人物写真をトリミングした例



建物写真をエンボス加工した例

■手書きアニメーションを作る

画像に文字や図形を描くと、描いた順に記録され、あとでアニメーションのように表示することができます。

アニメーションを作る

[手書きアニメ]の[作成開始]をタップすると、記録が開始されます。画像に文字や図形を描いてください。終わるときは、[手書きアニメ]の[作成終了]をタップします。



アニメーションを見る

[手書きアニメ]の[プレビュー]をタップすると、記録されたアニメーションが表示されます。

USB キャプチャーカメラで動画を録る

『ビデオキャプチャー』で画像を取り込む

USB キャプチャーカメラ(別売)と、内蔵のマイク(標準装備)を使って録った画像と音声を、動画にしてみましょう。

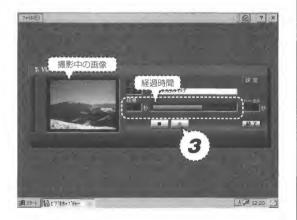
■ USB キャプチャーカメラから画像を取り込む

InterLinkにUSBキャプチャーカメラを 取り付ける



2 イチ押しキーの「V-Cap」を押す

3 [録画]ボタンをタップする



□ 次ページにつづく

レンズに触らないように注意 して、被写体の方に向けま す。

詳しくは「USBキャプチャーカメラを取り付ける」をご覧ください。(→118ページ)

「ビデオキャプチャー」が起 動されます。

撮影中の画像が画面に表示され、録画/録音が始まります。 経過時間は、数字とグラフで表示されます。20秒経過する と自動的に停止し、編集モード画面に切り替わります。

しまっと教えて

●工場出荷時は、最長の20 秒録画/録音すると自動的に 停止するようにセルフタイ マーが設定されています。セ ルフタイマーの時間は[設定] ボタンで変更することがで きます。また、セルフタイ マーの時間よりも早く停止 させたいときは録画中に[停止]ボタンをタップします。

■取り込んだ画像を確認し、保存する

▲ [再生]ボタンをタップする

再生や巻き戻しは、一般のビデオ機器の感覚で操 作できます。

再生する

And the second

一時停止する

. 11

先頭まで戻る:

44

最後まで送る:

1 コマ進める: 🗾

. _ . ~ . ~

1コマ戻す : 🔼

5 「タイトル」 欄をタップし、動画のタイトルを入力する

6 [作成]ボタンをタップする



7 [終了]ボタンをタップする

録画/録音した内容が再生され、確認することができます。再生中、経過時間を知らせるバーに現在位置が青い線で表示されます。

タイトルを付けないと、動画データの作成ができません。

動画ファイルとして保存した 後、前ページの画面に戻りま す。必要ならば、録画をやり 直してください。

「ビデオキャプチャー」を終 了します。

でもっと教えて

- ●取り込んだ画像の前後に不要な部分があった場合は、カット編集することができます。[IN]ボタンや[OUT] ボタンをタップして黄色の▲マークをずらすと、赤いバーで表示された部分が保存され、その前後はカットされます。
- ●保存した動画をメールに添付して送るときは、[メール]ボタンをタップします。新規作成メールに動画ファイルを添付した状態になりますので、宛名とタイトル、メッセージを入力して、送信します。

画像を楽しもう

画像/音声だけを録りたいとき

「ビデオキャプチャー」は、画像と音声を同時に録画/録音します。設定を変えると、画像だけ録画したり、音声だけ録音したりすることができます。

録画/録音の設定を変更する

[設定]ボタンをタップして、画像または音声のどちらか取り込みたい 方にのみ **▽** を付けます。



録画/録音を始める

[録画]ボタンをタップすると、録画/録音が始まります。

[音声]がグレー表示のときは、音声は録音されていません。[画像]がグレー表示のときは、画像は録画されていません。

動画/音声の再生いろいろ

■「ビデオキャプチャー」で録って、すぐに再生する

「ビデオキャプチャー」で撮影すると、画面が自動的に編集モードに切り替わります。この編集 モード画面で動画を再生したり、一時停止したり、巻き戻してもう一度再生したりすることができます。

なお、この編集モードは録画/録音内容を確認し、編集するための画面です。動画を保存したら、「ビデオプレーヤー」で再生してください。

■「ビデオプレーヤー」で動画ファイルを再生する

「ビデオプレーヤー」を起動して、[開く]ボタンをタップします。「開く」ダイアログで動画ファイルを選択し、[再生]ボタンをタップすると、動画が再生されます。再生や一時停止などの操作は、「ビデオキャプチャー」と同じです。

□「ピクチャーアルバム」から「AV リンクメール」へ

保存した画像をメールで送ってみましょう。複数の画像を同時に送ることができます。

■「ピクチャーアルバム」で画像を選択する

- ¶ 「ピクチャーアルバム」で、送る画像が保存されているフォルダをタップする
- 2 送る画像のタップを繰り返す
- [メール]ボタンをタップする



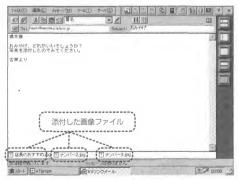
選択したフォルダが開きま す。

すべての画像を選択する場合 は、[編集] の「全ての画像を 選択」をタップします。

「AVリンクメール」の画面に 切り替わり、送信ウィンドウ が表示されます。

■「AV リンクメール」でメールを送る

4 「AV リンクメール」の送信ウィンドウで、相手のメールアドレスとメッセージを入力する





このあとは、電話回線につないで、メールを送信します。 詳しい操作手順については、「メールにファイルを添付して公衆電話から送る」をご覧ください。(→72ページ) 選択した画像を新規メールに添付した状態になっていますので、宛先とメッセージを入力すれば、メールを送ることができます。

きっと教えて

- ●画像を添付すると、メールの容量が大きくなりがちです。めやすとして、添付する画像は最大500KB程度まで(jpgファイル5~6枚程度)にしましょう。それ以上の容量になると通信時間が長くなり、通話料が余計にかかってしまいます。
- ●ファイルを添付してメールを送るとき、必ずメッセージを入れるよう心がけましょう。メッセージなしメールの添付ファイルは、受け取る人を不安にさせます。



静止画をメールで送る方法

送信メールに静止画ファイルを添付するには、下記の2種類の方法があります。

■静止画のアプリケーションから「AVリンクメール」へ

「スチルキャプチャー」「ピクチャーアルバム」「ピクチャーパレット」で静止画を作成して保存する

「スチルキャプチャー」「ピクチャーアルバム」の場合は、送る静止 画をタップして選択します。「ピクチャーパレット」の場合は画面に 表示されている静止画が送られます。



「AVリンクメール」を起動し、宛名とメッセージを入力して、送信する

[メール]ボタンをタップすると新規作成メールに静止画ファイルを添付した状態になりますので、宛名とタイトル、メッセージを入力します。 入力完了後、[送信]ボタンをタップします。

■「AVリンクメール」で静止画を選択する

「AVリンクメール」で、メールを作成する

[新規作成]ボタンをタップし、宛名やタイトル、メッセージを入力します。



ファイルを添付して、送信する

[ファイル添付]ボタンをタップすると「開く」ダイアログが表示されるので、送りたい静止画ファイルをタップします。静止画ファイルを添付した状態になりますので、「送信]ボタンをタップします。

動画をメールで送る方法

動画ファイルを「AVリンクメール」で送信するには、下記の3通りの方法があります。

■動画のアプリケーションから「AVリンクメール」へ

「ビデオキャプチャー」で動画を作成して保存するか、 「ビデオプレーヤー」で動画を選択する

「ビデオキャプチャー」の場合は、録画/録音後の編集モード画面の 動画が送られます。「ビデオプレーヤー」の場合は、選択して画面に 表示されている動画が送られます。



「AVリンクメール」を起動し、宛名とメッセージを入力して、送信する

[メール]ボタンをタップすると新規作成メールに動画ファイルを添付した状態になりますので、相手のメールアドレスとタイトル、メッセージを入力します。入力完了後、[送信]ボタンをタップします。

■「AVリンクメール」で動画を選択する

「AVリンクメール」でメールを作成する

[新規作成]ボタンをタップし、相手のメールアドレスやタイトル、メッセージを入力します。



ファイルを添付して、送信する

[ファイル添付]ボタンをタップすると「開く」ダイアログが表示されるので、送りたい動画ファイルをタップします。動画ファイルを添付した状態になりますので、[送信]ボタンをタップします。

しもっと教えて

● [設定] ボタンを押して「Windows用プレーヤーを添付」「Windows用実行ファイル作成」に「チェックマーク」することにより、Windows環境で動画を見ることができます。詳しくはヘルプファイルをご覧ください。なお、これらのボタンはメールで送るときのみ有効です。

■「AVリンクメール」で動画を作って送る

「AVリンクメール」で、メールを作成する

[新規作成]ボタンをタップし、宛名やタイトル、メッセージを入力します。

Plug Inの「ビデオキャプチャー」を起動して、動画を作る

[ビデオキャプチャー]ボタンをタップすると、Plug Inの「ビデオキャプチャー」が起動されます。USBキャプチャーカメラ (別売)を取り付けて、録画/録音をします。

「AVリンクメール」で、動画ファイル付きのメールを送信する

Plug Inの「ビデオキャプチャー」で[終了]ボタンをタップすると、「AVリンクメール」のメール作成の画面に戻ります。[送信]ボタンをタップします。

注意

Plug Inの「ビデオキャプチャー」の起動された状態で、×をクリックしてAVリンクメールを終了しないでください。

メールで静止画/動画が届いたら

ファイルが添付されているメールが届いた場合は、「AVリンクメール」でそのメールを開いたとき、受信ウィンドウの下に添付ファイルマークとファイル名が表示されます。

添付ファイルを開く

[添付ファイル]マークをダブルタップすると、添付ファイルの形式に応じてPlug Inが起動されます。 たとえば「.jpg」という拡張子のファイルなら「画像ビューワ」が、「.jmm」という拡張子のファイルなら「ビデオプレーヤー」が起動されます。(→77ページ)

添付ファイルを保存する

Altキーを押しながら添付ファイルをタップすると、ポップアップメニューが表示されます。「名前を付けて保存」をタップすると「名前を付けて保存」ダイアログが表示されるので、ファイル名を入力して保存することができます。

5章 音を楽しもう

実践

| MIDI演奏を聴く |
|-----------------------|
| ソフトシンセプレーヤーで音を楽しむ98 |
| 「戸。知っていると便利 |
| メールでMIDIファイルが届いたら100 |
| ラップで楽しむ100 |
| ポータブルMDレコーダーをつないで楽しむ |
| MDの演奏/録音/編集をする101 |
| () 知っていると便利 |
| MDのタイトル情報をラベルに印刷する103 |

風 ソフトシンセプレーヤーで音を楽しむ

内蔵されている GM 音源で MIDI ファイルを再生します。

イヤホンマイクで聴く場合は、イヤホン マイクジャックに差し込む

ビクター製のイヤホンマイク をお勧めします。(→160 ページ)

デスクトップの[ソフトシンセプレー ヤー]アイコンをダブルタップする

ソフトシンセプレーヤーが起 動されます。

[開く]ボタンをタップする

「開く」ダイアログが表示さ れます。

聴きたい MIDI ファイルをタップし、 4 [OK]ボタンをタップする

MIDIファイルが読み込まれ、 ソフトシンセプレーヤーに MIDIファイル名とトータル 時間が表示されます。MIDI ファイルに曲名が設定されて いる場合は、曲名も表示され ます。

注意

イヤホンマイクジャックは3極のイヤホンマイク専用です。故障の原因となりますの で、3極以外のイヤホンマイクを使わないでください。

5

5 [再生]ボタンをタップする

再生や停止は、一般のオーディオ機器の感覚で操作できます。

再生する

0.00

一時停止する:

11

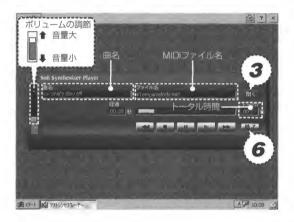
停止する

早戻しする

.

早送りする

-



6 「ソフトシンセプレーヤー」を終了するときは[終了] ボタンをタップする

選択した MIDI ファイルが再 生されます。

じもっと教えて

●読み込んだMIDIファイル をメールに添付して送ると きは M ボタンをタップし ます。新規作成メールに MIDIファイルを添付した状態になりますので、宛名とタ イトル、メッセージを入力し て、送信します。



メールでMIDIファイルが届いたら

ファイルが添付されているメールが届いた場合は、「AVリンクメール」でそのメールを開いたときに、受信ウィンドウの下に 🕙 マークとファイル名が表示されます。

添付ファイルを開く

▼マークをダブルタップすると、添付ファイルの形式に応じて、Plug Inが起動されます。

たとえば、「.mid」という拡張子のファイルなら「ソフトシンセプレーヤー」が起動されます。(GM音源対応のデータであれば再生します)

添付ファイルを保存する

Altキーを押しながら添付ファイルをタップすると、ポップアップメニューが表示されます。「名前を付けて保存」をタップすると「名前を付けて保存」ダイアログが表示されるので、ファイル名を入力して保存することができます。

ラップで楽しむ

「ラップンボイス」は、「アディ」という女の子が文字にメロディーを付けて歌うアプリケーションです。「ラップンボイス」で入力した文字や、テキストファイルから読み込んだ文字、「AVリンクメール」で受信したメッセージを歌うことができます。

歌う文字を準備する下記の3つの方法のうち、いずれかの操作をします

- ■アディのうしろの白い壁をタップして、文字を入力します。
- ■[ファイル]の[ファイルを開く]を選択し、読み込むテキストファイルを選択します。
- ■「AVリンクメール」で受信メールをタップして、受信ウィンドウに メッセージを表示させたあと、 (る) ボタンをタップします。



歌い始める

まず **■**ネオンの下をタップして、曲を選びます。それから、ラジカセの **○**ボタンをタップするか、アディをタップします。

ポータブル MD レコーダーをつないで楽しむ

№ MDの演奏/録音/編集をする

ビクター製のポータブルMDレコーダーXM-R70をInterLinkに接続すると、InterLink から MD(MiniDisc)の演奏、録音、編集などのコントロールをすることができます。

付属のシリアルケーブルを使って、PC アダプター経由で InterLink にポータブ ル MD レコーダーを接続し、MD をセットする



デスクトップの[MD コントローラー]ア イコンをダブルタップする

操作したいボタンをタップする

演奏する

in its and its

一時停止する

and the section of a con-

停止する

1.4.4

曲の先頭に戻る

NA.

次の曲の先頭に進む

and the same

録音する



ビクター製のポータブルMD レコーダーXM-R70(別売) をお使いください。PC アダ プターAC-XR1は別売です。 録音する場合は、ポータブル MDレコーダーの入力端子に マイクや他のオーディオ機器 の出力端子を接続します。 詳しくは「ポータブルMDレ コーダーをつなぐ」をご覧く ださい。(→122ページ)

MDコントローラーが起動されると、TOC (曲情報) が読み込まれて表示されます。 MDレコーダーの電源がオンになったとき、演奏が開始されることがあります。他の操作をする場合は、停止してから行ってください。

トラックをタップすると、演奏が始まります。

でもっと教えて

- MD からデータ読み込み中は、異常動作をする可能性があるため、シリアルケーブル等をはずさないでください。
- ●演奏中の音量や録音レベルは MD レコーダーで調節します。
- ●演奏中に「★★」または「★★」をスタイラスで押し続けると、早戻しまたは早送りをします。
- ●プレイモード(NORMAL または RANDOM)は、MD を演奏する前に切り替えておく必要がありますが、 リピート演奏は演奏中でも切り替えることができます。
- ●MDレコーダーの電源がオンになってもMDコントローラーの表示が電源オフの状態の場合は[POWER]ボタンをタップしてください。

■タイトルを入力する

- 4 タイトルを入力したいトラックの[EDIT] ボタンをタップする
- タイトルを入力し、[決定]をタップする

TITLE EDITダイアログが表示されます。

半角の英数字や半角カタカナ は上段のボックスに、全角の 漢字やひらがなは下段のボッ クスに入力します。

MDにはどちらも記録されますが、MDレコーダーのディスプレイには上段のボックスに入力されたタイトルが表示されます。

■「MD コントローラー」を終了する

- 「POWER]ボタンをタップする
- **7** [×]ボタンをタップする



MDを取り出すときは、MDレコーダー の電源をオフにするか、[UPDATE]ボタ ンをタップしてから取り出す MDレコーダーの電源をオフ にします。

「MDコントローラー」を終了 します。

しまっと教えて

- MD のディスクタイトルを入力するときは、画面上部にある[EDIT]ボタンをタップします。
- ●トラックの順序を入れ替えるときは、移動したいトラックを移動先のトラックの前にドラッグします。移動 先が決まったら、スタイラスを画面から離します。
- ●トラックを削除/結合するときは、[ERASE]/[JOIN]ボタンをタップしてからトラックを選択します。
- ●トラックを分割するときは、そのトラックの演奏中に「DEVIDE」ボタンをタップします。
- ●[SAVE]ボタンをタップすると、タイトル情報をCSV形式のファイルに保存できます。CSV形式とは、多くのデータベースで読み込むことができるファイル形式です。



知っていると便利

MDのタイトル情報をラベルに印刷する

MDタイトルとトラックタイトルをラベル用紙に印刷することができます。

タイトル情報を「MDコントローラー」から「ラベル編集 画面」に送る

「MDコントローラー」で 「LABEL」 ボタンをタップし、印刷に使うラベルの大きさを選択します。「ラベル編集画面」が起動され、画面に MDタイトルとトラックタイトルが表示されます。



自由に編集して、印刷する

「ラベル編集画面」で、色を付けたり図形を描いたりして自由に編集を加えます。編集が終わったらプリンタ*の準備をして、[ファイル]の[送る]、[IrTran-P]でプリンタへ画像を送り、印刷します。

*ポケットビデオプリンタGV-HT1、デジタルダイレクトプリンタGV-DT1、デジタルダイレクトビデオプリンタGV-DT3と指定のラベル用紙を推奨します。



「ラベル編集画面」の画像操作は、「ピクチャーパレット」(→86ページ)と同じです。「ピクチャーパレット」についての詳細は、オンラインマニュアルの「ヘルプ」を参照してください。

6章 その他の便利な使い方

活用

よく使うアプリケーションをイチ押しキーに登録する

₹「イチ押しキー設定」を使う

よく使うアプリケーションをキーボード右上のイチ押しキーに登録しておくと、1回押すだけの操作で起動でき、便利です。イチ押しキーへの登録や登録の取り消しは、「コントロールパネル」の「イチ押しキー設定」で行います。

なお、イチ押しキーに登録されているアプリケーションの種類や、イチ押しキーでの起動のしかたについては、「イチ押しキーで起動する」をご覧ください。(→42ページ)

起動する:

[スタート]メニューから、[設定]、[コントロールパネル]をタップし、「イチ押しキー設定」 アイコンをダブルタップします。



- ・画面に表示されるキーは、イチ押しキーと同じ配列になっています。 色付きで表示されているキーにアプリケーションを登録することができます。グレー表示のキーには登録できません。登録可能なキーは7個ですが、 との組み合わせで、19種類登録できます。
- ・ をタップしている間、画面の表示が変わります。キーボードで[Ctrl]キーを押しながらイチ押しキーを押したときに起動されるアプリケーションを登録します。

むもっと教えて

●イチ押しキーによく使うファイルを登録すると、イチ押しキーを押すことによってアプリケーションが起動し、そのファイルが開きます。

登録する:

イチ押しキー設定の画面上の、アプリケーションを登録したいイチ押しキーをタップします。[参照] ボタンをタップすると「設定するファイル」のダイアログが表示されるので、さらに下のフォルダにある登録したいアプリケーションをタップして、[OK] ボタンをタップします。。

登録を変更する:

イチ押しキー設定の画面上の、アプリケーションを登録し直したいイチ押しキーをタップ します。[参照] ボタンをタップして、上記「登録する:」と同様に登録し直したいアプリケーションをタップして[OK] ボタンをタップすると、登録を変更することができます。

登録を取り消す:

イチ押しキーへの登録内容を取り消すとは、何も登録されていない状態にするということです。 そのイチ押しキーを押しても、何も起動されなくなります。

イチ押しキー設定の画面上の、アプリケーションの登録を取り消したいイチ押しキーをタップします。[消去]ボタンをタップすると、登録内容が(なし)と表示され、登録を取り消すことができます。

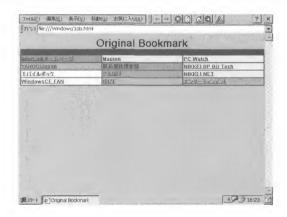
Web ページをわかりやすく表示する

Ѿ「オリジナルブックマーク」を使う

InterLinkでは、「Pocket Internet Explorer」を使って、インターネットのWebページを閲覧できます。気に入ったページのアドレス(URL)を「お気に入り」に登録すると、次回、手軽に同じページを表示することができます。この「お気に入り」をさらに使いやすくするのが、「オリジナルブックマーク」ユーティリティです。

起動する:

イチ押しキーの「BookMark」を押すか、[スタート] メニューから、[プログラム]、 [InterLink ユーティリティ]、[オリジナルブックマーク]を順にタップします。「Pocket Internet Explorer」の画面に、「オリジナルブックマーク」のパネルが表示されます。



登録する:

見たいWebページを表示して、「Pocket Internet Explorer」の[お気に入り]メニューで 1ob フォルダに Web ページの URL を登録すると、「オリジナルブックマーク」のパネルに表示されます。

お気に入りのページを表示する:

「オリジナルブックマーク」のパネルで、見たいWebページのタイトルをタップします。

もっと教えて (オリジナルブックマークの編集)

●雑誌などに載っていたWebページのURLを登録したり、登録したURLを修正・削除したりするときは、インターネットにつながない状態で操作できる「オリジナルブックマーク設定」ユーティリティが便利です。パネルの色を変えたり、場所を移動したりして、使いやすくアレンジすることもできます。「オリジナルブックマーク設定」ユーティリティを起動するには、[Shift]キーを押しながらイチ押しキーの「BookMark」を押すか、または[スタート]メニューから、[プログラム]、[InterLinkユーティリティ]、[オリジナルブックマーク設定]を順にタップします。

使

単語の意味をすぐに調べる

厂クイックディクショナリー」を使う

ことばの意味がわからないとき、「クイックディクショナリー」にそのことばを入力する と、自動的に辞書から探して、意味や用例などの解説を表示します。

辞書は、和英辞典、英和辞典、漢字百科を基本にしています。調べるときに使う辞書を選択したり、用例を表示しないで意味だけ表示するように切り替えることもできます。

起動する:

デスクトップの「クイックディクショナリー! アイコンをダブルタップします。



単語の意味を調べる:

「見出し」ボックスに調べたいことばを入力するだけで意味や用例が表示されます。 「見出し」ボックス右の ▼ をタップすると、過去に調べたことばの一覧が表示されます。もう一度調べたいことばをタップすると、意味や用例が表示されます。

でもっと教えて

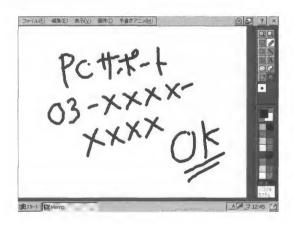
- ●他のアプリケーションを使っているときも「クイックディクショナリー」で意味を調べることができます。 「自動モード」で操作します。操作方法については、ヘルプで「調べたい単語を、別のアプリケーションで指 定する」のページをご覧ください。
- ●新しく辞書を登録したり、「クイックディクショナリー」の画面のボタンの色や図柄を変更するときは、「クイックディクショナリー設定」ユーティリティを使います。起動するには、[スタート]メニューから、[プログラム]、[InterLink ユーティリティ]、[クイックディクショナリー設定]をタップします。
- ●付属の「アプリケーション CD-ROM」に収録されている「クイックディクショナリークリエーター」を Windows 95 / 98 / NT4.0 搭載 PC にインストールすると、CSV 形式のファイルをクイックディクショナリー用に変換して InterLink に転送することができます。転送した辞書を「クイックディクショナリー」で 利用するには、「クイックディクショナリー設定」で登録します。

「メモ機能」を使う

急いでメモをとりたいときに便利なのが「メモ機能」アプリケーションです。イチ押し キーで起動し、スタイラスを取り出して、画面に文字や絵を自由に描くことができます。 重要なメモは、あとで手帳やノートに書き留めておきましょう。

起動する:

イチ押しキーの「Memo」を押します。



終了する:

× ボタンをタップします。

「このメモを保存しますか?」のダイアログで、「はい〕をタップすると、メモを書いた日 付のファイル名で、¥My Documents¥Memo フォルダに保存されます。

メモを表示する:

Shiftキーを押しながらイチ押しキーの「Memo」を押すと、今までに描いたメモの一覧 が表示されます。(→43ページ)

その他の便利な使い方

顔を見ながら会話する

2台のInterLinkで、イーサネットを利用して、画像を見ながら会話を楽しむことができます。InterLinkにUSBキャプチャーカメラ(別売)を接続したときのみ利用でき、映像を取り込みます。音声はイヤホンマイク(別売)を通して送られ、相手の音声はイヤホンマイク(別売)から聞こえます。

インストールする:

「ビジュアルチャッター」は、USBキャプチャーカメラに付属のCD-ROMに収録されています。CD-ROMからInterLinkにインストールしてください。

起動する:

「ビジュアルチャッター」をインストールすると、デスクトップに「ビジュアルチャッター」アイコンが表示されます。このアイコンをダブルタップすると「ビジュアルチャッター」がメモリに常駐し、タスクバーに **『** が表示されます。

顔を見ながら会話する:

相手を呼び出し、つながると、相手と自分の画像が表示されます。画像を見ながら、会話を楽しんでください。



喞『「省電力」を使う

「省電力」は、InterLinkの消費電力を押さえることを目的にしたプログラムです。ACアダプターを接続して利用する場合、消費電力のことはあまり気になりません。しかし、InterLinkを持ち歩いたり、AC電源のない場所で利用する場合は、消費電力を抑える設定をして電池を長持ちさせましょう。

起動する:

[スタート]メニューから、[設定]、[コントロールパネル]をタップし、「省電力」 アイコンを ダブルタップします。



設定する:

[バックライト] [デバイス] [電池]のいずれかのタブをタップし、設定する項目に **✓** を付けます。

フ章 他の機器と接続する

拡張

| 电記凹秋にノルへ | |
|---------------------------|--------|
| 回線の種類を確かめる | 114 |
| 電話回線につなぐ | 114 |
| 携帯電話やPHSにつなぐ | ···116 |
| USBキャプチャーカメラを取り付ける ······ | ···118 |
| 赤外線通信対応のデジタルスチルカメラを使う | ···119 |
| ビデオ機器をつなぐ | |
| JLIP対応ビデオ機器をつなぐ | 120 |
| USBキャプチャーカメラ経由でビデオ機器をつなぐ | 121 |
| ポータブルMDレコーダーをつなぐ | 122 |
| パソコンにつなぐ | ···123 |
| 赤外線通信対応のプリンタを使う | ···124 |
| 外部ディスプレイにつなぐ | ···125 |
| USBマウスをつなぐ | ···126 |
| PCカードを使う | |
| PCカードとは | 127 |
| PCカードの入れ方/取り出し方 | 128 |
| コンパクトフラッシュカードを使う | |
| コンパクトフラッシュカードとは | 129 |
| コンパクトフラッシュカードの入れ方/取り出し方… | 129 |

InterLinkにはモデムが内蔵されていますので、付属のモジュラーケーブルで電話コンセントにつなぐと、電話回線が利用できます。電話回線を利用して「AVリンクメール」でインターネットメールの送受信をしたり、「Pocket Internet Explorer」でインターネットのWebページを閲覧したりすることができます。

回線の種類を確かめる

電話回線には、プッシュホン(トーン)回線とダイヤル(パルス)回線の2種類があります。 アクセスポイントに電話をかけるときに表示される「ダイヤルアップ接続」ダイアログで、 [ダイヤルのプロパティ]をタップして設定します。

プッシュホン(トーン)回線:

電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がします。

ダイヤル(パルス)回線:

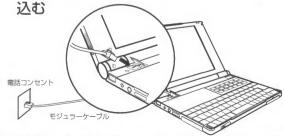
ダイヤルボタンを押すと「カチカチ」と音がします。ボタンではなくダイヤルを回す電話機も、ダイヤル(パルス)回線につながっています。

電話回線につなぐ

◀ モジュラージャックのカバーを開ける



2 InterLinkの電源を切った状態で、付属のモジュラーケーブルをモジュラージャックに差し込み、電話コンセントに差し



3 電話回線を利用するアプリケーションを 起動し、メールの送受信やWebページ 閲覧などの操作をする 「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。

しまっと教えて

●モジュラージャックが2つある電話機の場合は、下図のようにつなぎます。



●電話コンセントには3種類の方式があります。

●モジュラーコードを取り外すときは、ツメを押さえて、モジュラーケーブルを抜き取ります。



モジュラー式 (モジュラー

ジャック) そのままつなげます。



3 ピンプラグ式 (差し込み型)

市販の3ピンプラグ をお求めください。



直結配線方式 (ローゼット

電話機プレート

お買いあげの販売店、 またはお近くのNTT (局番なし116番) にご相談ください。





警告

●デジタル回線やPBX(構内交換機)回線に接続しないでください。 故障や発熱・火災の原因となります。



●落雷のおそれのあるときは、モジュラーケーブルや通信用ケーブルを InterLinkから取り外してください。



火災の原因となることがあります。

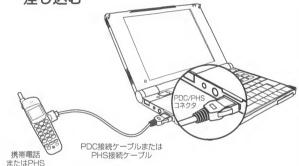
■内蔵モデムに関する注意

下記の注意をお守りください。

- · InterLinkと電話回線を接続するときや取り外すときは、必ずInterLinkの電源を切ってください。
- ・内蔵モデムは日本国内での使用を目的に設計しているため、海外では使用できません。
- ・ホームテレホン、ビジネスホンなどをご使用の場合、一般のNTT公衆回線と電気的 条件が異なるため、そのままでは接続できません。NTTまたは電話機を購入された 販売店にご相談ください。
- ・磁気を発するものに近づけないでください。磁気の影響を受けて通信できないことが あります。
- ・モジュラージャックに直接手などで触れないでください。内部の回路が静電気などによって壊れることがあります。
- ・通信しないときは、モジュラーコードを本機から外してください。
- ・一般の機器よりも高い信頼性が要求される用途には使用しないでください。

使用できるのは、9600bpsデータ通信対応のデジタル携帯電話、またはPIAFSに対 応したPHSのみです。ただし、PHSでのFAX送受信はできません。

InterLinkの電源を切った状態で、PDC 接続ケーブルまたはPHS接続ケーブル をPDC/PHSコネクタに差し込み、携 帯電話またはPHSの通信用コネクタに 差し込む



左図のようにPCカードな しで接続できる携帯電話 やPHSについては、 InterLinkホームページ(裏 表紙)の「ユーザーサポー トー 「接続確認機器情報 | でご確認ください。

- 電話回線を利用するアプリケーションを 起動し、メールの送受信やWebページ 閲覧などの操作をする
- **₹** PDC/PHS接続ケーブルを取り外す



左の図は、PDC接続ケー ブルを取り外す場合です。 携帯電話側のコネクタの 左右にあるノブを押しな がら、コネクタをまっす ぐに引いて、外します。 PHS接続ケーブルの場合 は、PHS側の上面にある ノブを押しながら、コネ クタをまっすぐに引いて 外します。

■携帯電話/PHSに関する注意

●取り扱い上のご注意

- ・携帯電話のアンテナをInterLinkに近づけないでください。携帯電話の発する電波で 誤動作する可能性があります。
- ・磁気を発するものに近づけないでください、磁気の影響を受けて通信できないことが あります。
- ・一般の機器よりも高い信頼性が要求される用途には使用しないでください。
- · InterLinkに携帯電話やPHSを接続するときや取り外すときは、InterLinkの電源を切ってから行ってください。

●InterLinkを使用する環境について

- ・InterLinkに内蔵されている、携帯電話やPHSで通信をするためのモデム機能は日本 国内での使用を目的に設計されていますので、海外では使用できません。
- ・自動車などの運転をしながら使用することは危険ですから、おやめください。
- ・携帯電話の使用を禁止された区域では、携帯電話を使用しないでください。航空機内では携帯電話の使用が禁止されています。また医療機関内では、医療電気機器などに影響を及ぼす場合がありますので、携帯電話の使用は各医療機関の指示に従ってください。
- ・携帯電話やPHSのサービスエリア外や電波状況の悪い所では通信できません。電波状況のなるべく良い状態でご使用ください。電波状況の良い場合でも、ノイズなどの影響で通信エラーになることがあります。そのような場合は、再度やり直してください。

●通信を始める前に

- ・携帯電話またはPHSの表示が「圏外」になっていないことを確認してください。「圏外」のときは電波が届きません。電波の届く場所まで移動してから通信をしてください。
- ・InterLinkおよび携帯電話またはPHSに、バッテリー交換をするよう表示されていないことを確認してください。バッテリー残量が少ない場合、通信中に急に電源が切れることがあります。長時間通信をする場合は、携帯電話またはPHSのバッテリー残量が十分な状態であり、InterLinkはAC電源に接続して使用することをおすすめします。

●通信中に

- · InterLinkおよび携帯電話またはPHSから、PDC接続ケーブルまたはPHS接続ケーブルを外さないでください。通信中に外れると、電話回線が接続中のままになることがあります。万一、接続中のままになった場合は、携帯電話またはPHSの電源を切ってください。
- ・携帯電話またはPHSのバッテリーの残量不足や電波状況によって、通信が不安定になり、切れることがあります。このような場合、電話回線が接続中のままになることがあります。万一、接続中のままになった場合は、携帯電話またはPHSの電源を切ってください。

●通信後に

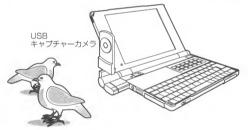
・電話回線が切れるまでに、しばらく時間がかかります。通信後約10秒間は、InterLinkおよび携帯電話またはPHSから、PDC接続ケーブルまたはPHS接続ケーブルを外さないでください。電話回線が切れたことを確認してから、PDC接続ケーブルまたはPHS接続ケーブルを外してください。

InterLinkに別売のUSBキャプチャーカメラを取り付けて撮影すると、「スチルキャプチャー」「ピクチャーアルバム」(→82ページ)「ピクチャーパレット」(→86ページ)で静止画を取り込んだり、「ビデオキャプチャー」(→89ページ)で動画を作ったりすることができます。またUSBキャプチャーカメラに付属の「ビジュアルチャッター」(→111ページ)で画像を見ながら会話することができます。

1 USBコネクタにUSBキャプチャーカメ ラを取り付ける



2 カメラのレンズを被写体の方に向ける



3 画像を利用するアプリケーションを起動し、取り込みや録画などの操作をする

USBキャプチャーカメラの本機への取り付けは、カメラの取扱説明書を参照してください。

本イラストは、当社別売の USBキャプチャーカメラ (MP-UC1)が直接接続された状態になっています。

カメラは、時計方向に 210度、反時計方向に30 度まで回転することができます。

むもっと教えて

- ●USBキャプチャーカメラには、次のような機能があります。
 - 動画を撮る(カメラ)。
 - ・ビデオムービーやビデオデッキから録画済みの画像を取り込む(キャプチャー)。

赤外線通信対応のデジタルスチルカメラを使う

お手持ちの赤外線画像通信対応デジタルスチルカメラ(IrTran-P準拠)で撮影した静止画を、InterLinkの「スチルキャプチャー」「ピクチャーアルバム」「ピクチャーパレット」で取り込むことができます。

赤外線画像通信機能を利用するので、接続ケーブルは必要ありません。

★外線画像通信ポートと、デジタルスチルカメラの赤外線通信ポートが真正面で向き合うように置く



50cm以内の距離で、平行に向き合う(±15度以内)ように置いてください。

- デジタルスチルカメラを、データの転送ができる状態にする
- **3** 画像を利用するアプリケーションを起動し、取り込みの操作をする

ひもっと教えて

- ●デジタルスチルカメラで撮った画像をスマートメディア(→127ページ)またはコンパクトフラッシュカード(→129ページ)に保存した場合、「ピクチャーアルバム」で読み込むことができます。読み込む方法は、「ピクチャーアルバム」のヘルプで「原画/画像に関する操作」→「画像を取り込む」とリンクをたどって、「デジタルスチルカメラで撮って、コンパクトフラッシュカードやスマートメディアに保存した場合」のページをご覧ください。
- ●ビクター製のデジタルビデオカメラGR-DVX7も赤外線画像通信に対応しており、お使いになれます。

JLIP対応ビデオ機器をつなぐ

InterLinkにお手持ちのJLIP対応ビデオ機器をつなぐと、「スチルキャプチャー」「ピクチャーアルバム」「ピクチャーパレット」で静止画を取り込むことができます。

- ¶ InterLinkとビデオ機器の電源を切る
- 2 拡張コネクタに付属のシリアルケーブルを差し込み、市販の変換アダプターとシリアルリバースアダプターを使って、 JLIP-PC接続用ケーブルでビデオ機器を接続する



InterLinkとビデオ機器の電源を入れる

4 ビデオ機器を、画像の再生状態にして、 取り込みたい画像で一時停止状態にする

5 画像を利用するアプリケーションを起動し、取り込みの操作をする

左図はビクター製のデジタルビデオカメラGR-DVL7を接続した例です。 変換アダプターは、市販のD-sub9ピン(オスーオス)をお使いください。 シリアルリバースアダプターは、市販のD-sub9ピン(オスーメス)のリバースケーブルアダプターをお使いください。

しまっと教えて

- ●JLIPとは、ビデオ機器やカメラなどをパソコンで操作する制御手段で、ビクターが開発した技術です。
- ●GR-DVL7のほか、GR-DVLでも静止画の取り込みができます。
- ●InterLinkではJLIP対応のビデオ機器をコントロールすることはできません。画像の取り込みのみに対応しています。

USBキャプチャーカメラ経由でビデオ機器をつなぐ

InterLinkに別売のUSBキャプチャーカメラ経由でお手持ちのビデオ機器をつなぐと、「ビデオキャプチャー」で動画を取り込むことができます。ビデオ機器はJLIP対応である必要はありません。

1 USBコネクタにUSBキャプチャーカメ ラを取り付け、ビデオ変換ケーブルでビ デオ機器を接続する



- 2 ビデオ機器を、画像の再生状態にする
- **3** 「ビデオキャプチャー」を起動し、取り 込みの操作をする

左図はビクター製のデジタ ルビデオカメラGR-DVL7を、 別売のUSBキャプチャー カメラMP-UC1に付属の 変換ケーブルで接続した 例です。(→160ページ) ビデオムービーのほか、ビ デオデッキも接続できます。

InterLinkの音声入力は、イヤホンマイクジャックからの一系統(モノラル)だけです。そのため付属のオーディオ変換ケーブルを使ってステレオ信号をモノラル信号に変換しています。

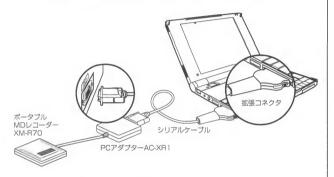
ポータブルMDレコーダーをつなぐ

InterLinkにビクター製のポータブルMDレコーダーXM-R70をつなぐと、「MDコントローラー」でMDの演奏/録音/編集ができます。

使用できるポータブルMDレコーダーは、XM-R70のみです。他のMDプレーヤー/MDレコーダーは接続できません。

拡張コネクタに付属のシリアルケーブルを差し込み、PCアダプター経由でポータブルMDレコーダーを接続する

PCアダプターAC-XR1と、 ポータブルMDレコーダー XM-R70は別売です。



2 MDをセットする

3 「MDコントローラー」を起動し、演奏/ 録音/編集の操作をする ポータブルMDレコーダー の電源のオン/オフは「MD コントローラー」からでも 操作できます。

「MDコントローラー」に ついては101ページをご 覧ください。

しまっと教えて

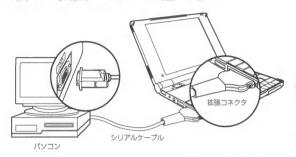
- ●録音する場合は、ポータブルMDレコーダーの入力端子にマイクや他のオーディオ機器の出力端子を接続します。ポータブルMDレコーダーXM-R70の取扱説明書をで覧ください。
- ●ポータブルMDレコーダーとPCアダプターを取り外すときは、「MDコントローラー」を終了し、ポータブルMDレコーダーの電源が切れたことを確認してから取り外してください。

パソコンにつなぐ

「Windows CEサービス」がインストールされているパソコンにInterLinkを接続すると、InterLinkからパソコン上のプログラムやデータを利用することができます。

「Windows CEサービス」は、付属の「デスクトップソフトウェア for Microsoft® Windows®CE CD-ROM」からインストールします。 (→62ページ)

1 パソコンに付属のシリアルケーブルを接続し、拡張コネクタに差し込む



- 2 パソコンで、プログラムやデータをやり 取りできる状態にする
- **3** パソコンまたはInterLinkで、プログラムやデータのやり取りのための操作をする

できっと教えて

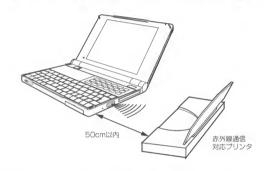
● IrDA1.1規格に準拠した赤外線通信ポートのあるモバイルPCの場合、ケーブルで接続せずに赤外線通信でプログラムやデータをやり取りすることができます。シリアルケーブルで接続中は、赤外線通信はできません。InterLinkと赤外線通信ポートのあるモバイルPCの置き方は、赤外線通信ポートのあるデジタルスチルカメラやプリンタの場合と同様です。(→119ページ、124ページ)。

赤外線通信対応のプリンタを使う

赤外線通信ポートのあるプリンタ(IrDA1.1規格)を利用すると、「ピクチャーアルバム」 「ピクチャーパレット」「AVリンクメール」などで印刷することができます。 (→160ページ)

赤外線通信機能を利用するので、接続ケーブルは必要ありません。

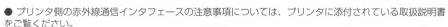
★外線通信ポートと、プリンタの赤外線通信ポートが真正面で向き合うように置く



50cm以内の距離で、平行に向き合う(±15度以内)ように置いてください。

- 2 プリンタを、印刷できる状態にする
- **3** 印刷機能のあるアプリケーションを起動し、印刷の操作をする

きっと教えて

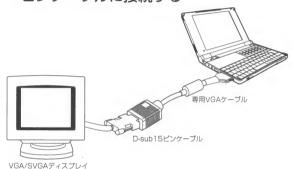


- IrTran-P対応の機器に画像を送る場合は、[ファイル]メニューの[送る]をタップし、印刷します。
- ビクター製のデジタルダイレクトビデオプリンターもIrTran-Pに対応しており、お使いになれます。

外部ディスプレイにつなぐ

InterLinkにお手持ちのVGA/SVGAディスプレイをつなぐと、 たとえば大画面で「ピクチャーアルバム」のスライドショウを表示することができます。

InterLinkの電源を切った状態で、拡張コネクタに専用VGAケーブルを差し込み、VGA/SVGAディスプレイのD-sub15ピンケーブルに接続する



専用VGAケーブルは別売です。 (\rightarrow 160ページ)

- **2** VGA/SVGAディスプレイを、画像を表示できる状態にする
- **3** 「ピクチャーアルバム」を起動し、スライドショウの操作をする

でもっと教えて

- ●InterLinkの電源が入った状態で接続しても、VGA/SVGAディスプレイに映りません。サスペンド状態で接続するか、または接続後リセットボタンを押してください。
- ●VGA (Video Graphics、Array) ディスプレイとは、640×480ドットの表示ができるディスプレイのことです。VGAを超える解像度のSVGA (Super VGA) ディスプレイの800×600ドット表示にも対応しています。
- ●「Pocket PowerPoint」や「ピクチャーアルバム」のスライドショウなどの、外部ディスプレイ対応 アプリケーションソフトの場合は、自動的に800×600ドットで表示されます。それ以外の場合は 640×480ドットで表示されます。

USBマウスをつなぐ

InterLinkにお手持ちのUSBマウスをつなぐと、スタイラスの代わりに使うことができます。

使用できるマウスは、USBマウスのみです。シリアルマウスやPS/2マウスなどは接続できません。

1 USBコネクタにUSBマウスを取り付ける



2 USBマウスで操作する

PCカードを使う

PCカードとは

PCカードは、PC Card規格に準拠した、カード型拡張デバイスの総称です。主にモバイルPCやノートPCで利用されます。PCカードには、メモリカードやモデムカード、LANカードなどがあります。ただし、InterLinkに対応していないものもありますので、InterLinkホームページ(裏表紙)の「ユーザーサポート」「接続確認機器情報」でご確認ください。

メモリカード:

データをフラッシュメモリに保存します。メモリカードの規格の1つである「スマートメディア」が、デジタルスチルカメラの画像記憶用に多く利用されています。 InterLinkでは、スマートメディアに保存された画像を「ピクチャーアルバム」で読み込むことができます(スマートメディアをPCカードアダプタに付ける必要があります)。

モデムカード:

電話回線を使って通信をする場合に、デジタル信号とアナログ信号の変換する装置を「モデム」といいます。この変換機能をPCカードに持たせたものを、モデムカードと呼びます。

InterLinkにはモデムが内蔵されているため、モデムカードは必要ありません。

LANカード:

InterLinkをLANのサーバーに接続し、1クライアントとして利用するときに、LANカードが必要になります。

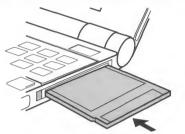
■PCカードに関する注意

・PCカードによっては大量の電力を消費する場合があります。電池の残量によっては、使用できかなったり、ニッケル水素蓄電池の交換を促すメッセージが表示されずに突然電源が切れたりする場合があります。このような場合は、AC電源で使用してください。

PCカードの入れ方/取り出し方

■PCカードの入れ方

PCカードをPCカードスロットに入れる



スロットの奥にあるコネ クタに、PCカードが固定 されるまで押し込みます。

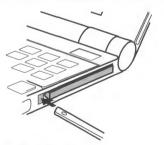
アプリケーションでPCカードを利用する

でもっと教えて

▶PCカードがうまく入らないときは、挿入方向が間違っている場合があります。無理に押し込まずに、取 り出して挿入方向を確認し、もう一度入れ直してください。

■PCカードの取り出し方

PCカード取り出しボタンをスタイラス のうしろ(ペン先でない方)などで押す



・スタイラスの先端 (ペン 先の方)で押さないでく ださい。

スタイラスのうしろなど で押すと、PCカードが少 し飛び出します。

2 PCカードを抜き取る

注意

PCカードを使用されない場合は、付属のダミーカードをPCカードスロットに入 れておいてください。

コンパクトフラッシュカードを使う

コンパクトフラッシュカードとは

コンパクトフラッシュカードは、フラッシュメモリを使った小型のメモリカードです。 PCカードよりも小さく、記憶容量が4~48MBと多いのが特長です。デジタルカメラ の映像記憶用や、ノートPC/干バイルPCの外部記憶メモリとして利用されています。 InterLinkでは、コンパクトフラッシュカード(TYPE I)に保存された画像を「ピク チャーアルバム」で読み込むことができます。

コンパクトフラッシュカードの入れ方/取り出し方

■コンパクトフラッシュカードの入れ方

◀ コンパクトフラッシュカードスロットの カバーを開ける



2 コンパクトフラッシュカードをコンパク トフラッシュカードスロットに入れる



- コンパクトフラッシュカードスロットの カバーを閉める
- 4 アプリケーションでコンパクトフラッシ ュカードを利用する

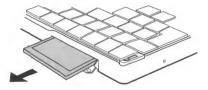
スロットの奥にあるコネ クタに、コンパクトフラ ッシュが固定されるまで 押し込みます。

■コンパクトフラッシュカードの取り出し方

コンパクトフラッシュカードスロットの カバーを開ける

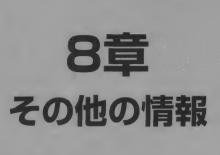


2 コンパクトフラッシュカードの下部手前側に爪などをひっかけて抜き取る



3 コンパクトフラッシュカードスロットの カバーを閉める





情報

| リセットのしかにと注意 | 132 |
|--|-----|
| アプリケーション一覧 | |
| InterLink内蔵アプリケーション一覧 | 133 |
| CD-ROMアプリケーション一覧 | 133 |
| Microsoft社製アプリケーションの使い方 | |
| ファイルとWebの検索······ | 134 |
| Microsoft オフィスコンパニオン | 134 |
| ボイスレコーダーとInkWriter | 140 |
| Microsoft Pocket Outlook ······ | 142 |
| Microsoft Windows CEサービス | 152 |
| リモートネットワークの設定 | |
| 会社などのネットワークに接続する | 154 |
| リモート同期のためにPCと接続する | 157 |
| 製品仕様 | |
| ハードウェア仕様 | 160 |
| 別売品一覧 | |
| 用語説明 · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 161 |
| 故障と思う前に | 163 |
| 索引 | 165 |

使用中にInterLinkが動作しなくなった場合は、スタイラスを使ってリセットの操作をしてください。 リセットには、通常のリセットとコールドリセットの 2 種類があります。

注意

先のとがったもの(針など)や、先の折れやすいもの(シャープペンシルなど)でリセット、コールドリセットの操作をしないでください。

■リセット操作

この操作をすると、使用中のアプリケーションが終了し、作成中のデータは消えてしまいます。 リセット後、自動的に電源が入り、デスクトップが表示されます。 (→40ページ)

◀ スタイラスで、「RESET」ボタンを押す



電源が入っていない状態でこの操作をしても、リセット機能は働きません。電源の入っている状態でリセットの操作をしてください。

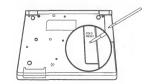
■コールドリセット操作

リセット操作をしても、まだ問題が解決しない場合は、コールドリセットの操作をしてください。この操作をすると、お買いあげ直後の状態にもどり、作成中のデータも保存されているデータもすべて消えてしまいます。電源を入れると、初めてInterLinkの電源を入れたときと同じ「ようこそ」の画面が表示されます。(→ 32ページ)

注意

コールドリセットの操作をすると、データはすべて失われ、お買い上げ時の初期状態になります。前もって PC などにバックアップしてあるファイルからデータを復元し、各種設定をし直す必要があります。

オタイラスで、底面の「COLD RESET」 ボタンを押す



8

その他の情報

アプリケーション一覧

InterLink 内蔵アプリケーション

■ InterLink オリジナルアプリケーション

| AV リンクメール | 66ページ |
|--------------|--------|
| スチルキャプチャー | 84ページ |
| ピクチャーアルバム | 82ページ |
| ピクチャーパレット | 86ページ |
| ビデオキャプチャー | 89 ページ |
| ビデオプレーヤー | 91ページ |
| ラップンボイス | 100ページ |
| ソフトシンセプレーヤー | 98ページ |
| MDコントローラー | 101ページ |
| オリジナルブックマーク | 108ページ |
| クイックディクショナリー | 109ページ |

■ Microsoft 社製 アプリケーション

| Pocket Internet Explorer | 59ページ |
|--------------------------|-------------|
| 受信トレイ | 147ページ |
| 予定表 | 142ページ |
| 連絡先 | 145ページ |
| 仕事 | 146ページ |
| Pocket Word | 135ページ |
| Pocket Excel | 136ページ |
| Pocket Access | 137ページ |
| Pocket PowerPoint | 139ページ |
| ボイスレコーダーと InkWriter | 140ページ |
| 通信 (ActiveSync) | 150ページ |
| 通信 (PC リンク) | 152ページ |
| 通信(リモートネットワーク) | 154ページ |
| 通信(ターミナル) | [スタート] メ |
| アクセサリ(世界時計、電卓) | ニューから[へ |
| ゲーム (ソリティア) | ルプ]をタップ |
| | |

CD-ROM アプリケーション一覧

付属の CD-ROM から下記のアプリケーションをインストールすることができます。

(バージョンアップにより、内容が一部変わる場合があります。)

| JR トラベルナビゲータ | 経路探索 |
|-----------------|---------------------------|
| 信乃助 for CE | FAX送受信 |
| 信乃助 for Term | パソコン通信 |
| 10円メールマスター CE 版 | 携帯電話メール |
| ニフティサーブでインターネット | ニフティサーブサインアップとダイヤルアップ接続設定 |

インストールの方法は63ページをご覧ください。

このCD-ROMには、上記のほかにWindows 98/95/NT用のアプリケーションが含まれています。

| クイックディクショナリークリエーター | 「クィックディクショナリー」の辞書作成ツール |
|----------------------|------------------------|
| Adobe®Acrobat®Reader | PDF リーダー |

Microsoft 社製アプリケーションの使い方

ファイルと Web の検索

■エクスプローラー

ファイルを探すには、[スタート]メニューから[プログラム]、[エクスプローラ]の順にタップします。ファイルを作成したり保存したりすると、他の場所を指定しない限り、My Documents というフォルダに保存されます。

ファイルをある場所から他の場所へコピーしたり移動したりするには、そのファイルを選択し、[編集]メニューの[コピー]または[切り取り]、[貼り付け]コマンドを使います。

砂もっと教えて

● エクスプローラーを使っている間に、インターネットまたはイントラネットに接続している場合、アドレスボックスに URL を入力すると Web ページにアクセスできます。

■ Pocket Internet Explorer

「Webページを閲覧する」(→59ページ)をご覧ください。 また、詳しい操作方法についてはヘルプをご覧ください。

Microsoft オフィスコンパニオン

Microsoftオフィスの仲間 (コンパニオン) として、「Pocket Word」「Pocket Excel」「Pocket Access」「Pocket PowerPoint」があります。これらのプログラムは、PC上の「Office(Windows バージョン)」とともに使うことができ、最新の文書のコピーに簡単に起動することができます。

- ・InterLinkで「Excel」や「Word」のファイル、「PowerPoint」のプレゼンテーション、「Access」のデータベースやテーブルなどを作成したり編集したりすることができます。
- ・ [Word] や [Excel] のテンプレートを使ってすばやく文書を作成することができ、新しく作成または編集した文書をPCに同期してコピーできます。同期について、詳しくは「Microsoft Windows CE サービス」をご覧ください。(\rightarrow 152 ページ)

むもっと教えて

- オフィスコンパニオンプログラムを起動するには、イチ押しキーが簡単です(→ 42 ページ)
- InterLinkのプログラムは PC 上の同様のプログラムと同じように機能します。ここで説明したことがらについて、さらに詳しく知るにはヘルプをご覧ください。基本的な操作方法、コンパニオンのプログラムと PC のプログラムの違いなどについての情報を知ることができます。
- Microsoftオフィスのプログラムについてさらに詳しい情報が必要な場合は、PCバージョンのプログラムに付属の説明書も併せてご覧ください。

■ Pocket Word: 文書の作成

- ・「Pocket Word」を使って、手紙、議事録、出張レポートなどの文書が作成できます。 また「Pocket Word」を使って、「Microsoft Word」で作成された文書を開いたり、 編集したりすることができます。
- ・作成・編集した文書を保存する場合、Pocket Word 文書(拡張子.pwd)やWord 文書(拡張子.doc)など、いろいろなフォーマットで保存することができます。
- ・作成・編集した文書を電子メールで「Word」のユーザーに送るときは、「Pocket Word」ではなく必ず「Word」のフォーマット(.doc)で保存してください。

<操作の手順:会議の記録を作成する>

- ◀ イチ押しキーの 🕸 を押す
- ② [ファイル]メニューの[新規作成]、[テンプレート]をタップする
- **3** 「議事録」をタップし、[OK]をタップする

- 【ファイル]メニューの[名前を付けて保存]をタップする
- **5** テンプレートのフォーマットを使って入力する

「Pocket Word」が起動されます。

テンプレートの一覧が表示され、選択することができます。

議事録のテンプレートが開き、画面に表示されます。 画面いっぱいに文書を広げたいときは、[表示]メニューの [全画面表示]をタップします。

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されるので、名前を入力して[OK]をタップします。

きっと教えて

- ●「Pocket Word」で文章を入力するには、まず入力する位置をタップし、それから入力します。ボタンとメニューのコマンドを使って、すばやく文章の書式を整えることもできます。書式は文章を入力しながら、または入力した後でも変更できます。
- ●文章の入力は、アウトライン、標準どちらの画面でもできます。[表示]メニューで、簡単に画面を相互に切り替えることができます。会議でメモをとるときなどは、アウトライン画面で見出しを使って重要事項をハイライトしたり、基本文章に詳細を付け加えたりすると便利です。

その他

の

■ Pocket Excel: ワークブックの作成

- ・「Pocket Excell を使って、経費のレポート、走行記録などのワークブックが作成で きます。また「Pocket Excel」を使って、「Microsoft Excel」で作成されたワーク ブックを開いたり、編集したりすることができます。
- ・作成・編集したワークブックを保存しようとする場合、「Pocket Excel」ワークシー ト(拡張子.pxl)や「Excell ワークシート(拡張子.xls)など、いろいろなフォーマッ トで保存することができます。
- ・作成・編集した文書を電子メールで「Excell のユーザーに送るときは、「Pocket Excell ではなく必ず「Excell のフォーマット (.xls) で保存してください。

<操作の手順:出張費の記録を作成する>

- イチ押しキーの 🔊 を押す
- [ファイル]メニューの[新規作成]、「テン プレートのブック]をタップする
- 「経費明細書」をタップし、「OK]をタップ する

| ā | A | N CONTRACT | В | Arrest line | C | D | | E | F | ALC: I | G |
|----|------|------------|----|-------------|------|-----|---|------|-----|--------|------------|
| | 経費明制 | 書 | | | | | | | | | |
| | ILB: | | | | 開始日: | | | #丁日 | | | |
| | 日付 | | 製物 | | 官泊代 | 文海道 | ガ | ソリンパ | 東 | 8 | 東蓝代 |
| | | | | # | | ¥ - | ¥ | | ¥ | | ¥ - |
| | | | | ¥ | | 8 - | 8 | | A | - | ¥ - |
| έÜ | | | | ¥ | | ¥ . | * | | l w | - | ¥ - |

- 「ファイル]メニューの[名前を付けて保 存]をタップする
- テンプレートのフォーマットを使って入 力する

「Pocket Excel」が起動され ます。

テンプレートの一覧が表示さ れ、選択することができます。

経費明細書のテンプレートが 開き、画面に表示されます。

「名前を付けて保存」ダイア ログが表示されるので、名前 を入力して[OK]をタップし ます。

してもっと教えて

- 「Pocket Excel」は、計算式、関数、並べ替え、フィルタなどの基本的な表計算作成ツールを持っていま す。枠を分割することにより、大きなワークシートの別々の場所を簡単に抜き出すことができます。またワー グシートの一番上と一番左の枠を固定して行と列のラベルを保ちつつ、スクロールしても他のデータを見るこ とができます。
- 大切な情報が含まれているワークブックは、パスワードを使って保護することができます。ワークブックを 開き、「ファイル]メニューの[パスワード]をタップします。そのワークブックを開くたびにパスワードを入力す る必要があるので、覚えやすいが他人には思いつくことが困難な言葉にしましょう。なお、パスワードで保護 されているワークブックは同期できません。

■ Pocket Access: データの閲覧と作成

・「Pocket Access」を使って、PCで作成した「Microsoft Access」、「Microsoft SQL Sever」、他のODBCデータベースのデータを閲覧したり更新したりすることができます。PCでデータベースを作成し、InterLinkにそのデータを転送するだけです。たとえば、営業部がPCで「Microsoft Access」を使って製品と注文票のマスターデータベースを作成します。セールスマンはマスターデータベースとInterLinkとを同期させ、最新の製品情報を得たり、顧客の注文情報をアップロードしたりすることができます。同期に関して、詳しくは「Microsoft WindowsCEサービス」をご覧ください。(→152ページ)

| テーフル: 14 | 导意先 | | | | | | | ¥ |
|----------|--|---|--------|-------------|----------|-------|----|----|
| 得意先コード | -[1 | | 得意先コード | フリガナ | 得意先名 | 担当者名 | 部署 | 4 |
| 17.显兀 | Contract Contract and Contract | F | 1 | キッサタイムマシン | 喫茶たいせましん | 林 千春 | 店長 | L. |
| フリガナ | キッサタイムマシン | | 2 | コリョウリナンコウ | 小料理なんごく | 河本なみ | 料理 | |
| 得意先名 | 喫茶たいむましん | | 3 | カッホウフジイ | 割烹ふじい | 山久 良美 | 料理 | |
| 担当者名 | 林 千春 | | 4 | カイセンリョウリケシラ | 海鮮料理くじら | 和辺 義隆 | 料理 | H |
| 但目者名 | 117 78 | | 5 | イサカヤナナヘエ | 居酒屋ななべえ | 渡川 秀人 | 料理 | |
| | | | | | | | | |

「Access」データベースの例

きっと教えて

- 「Pocket Access」を使って、直接新しいデータベース、テーブル、そして SQL プロシジャーを作成することもできます。
- プログラマーの方は、「Microsoft ActiveX®Data Objects for WindowsCE(ADOCE)」と、「Microsoft Visual Basic®」または「Microsoft Visual C++®」を使って独自のデータベースを開発することができます。詳しくは、http://www.microsoft.com/japan/windowsce/をご覧ください。

<操作の手順:新しいデータベースやテーブルを作成する>

◀ イチ押しキーの 🕲 を押す

「Pocket Access」が起動されます。すでに起動されている場合は、「ファイル」メニューの [開く/新規データベース作成] をタップします。メニューにこのコマンドがない場合は、「表示] メニューの[データベースウィンドウ]をタップします。

- 2 データベースの名前を入力し、[OK]を タップする
- **3** [新しいテーブルの作成]アイコンをダブルタップする

「新しいテーブルの作成」ア イコンが表示されます。

フィールドの設定画面が表示されます。

4 フィールド名ボックスに名前を入力し、 [Enter]キーを押す

「データ型」ボックスにリス トが表示されます。

5 「データ型」リストでデータタイプをタップし、[Enter]キーを押す

テーブルが保存された後では、フィールドデータタイプは変更できません。

- **6** フィールドのサイズ制限を設定するときは、フィールドサイズボックスにサイズを入力し、[Enter]キーを押す
- 7 フィールドにインデックスを設定するときは、インデックスリストで「はい」を タップし、[Enter]キーを押す

テーブルが保存された後では、フィールドサイズは変更できません。

- **8** 手順 4~7を繰り返して、テーブルに必要なすべてのフィールドを設定する
- **9** [ファイル]メニューの[テーブルの保存] をタップする

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されるので、名前を入力して[OK]をタップします。

できっと教えて

- データ型を設定するときは、下記に注意してください。
- ・「テキスト型」のボックスに入力できるのは最大 255 文字です。長い文を入力する場合は、「メモ型」に設定してください。
- ・小数点を入力する場合は「浮動小数点型」に設定してください。
- · -32.768~+32.767の間の数字を入力する場合は、「整数型」に設定してください。
- ・より大きな数値を入力する場合は、「長整数型」に設定してください。
- 製品カタログのように更新を必要としないテーブルの場合は、PCからInterLinkにそのテーブルを転送するときに読み取り専用のマークを付けると、同期の際に転送の時間を節約することができます。「Windows CEサービス」は、同期の際に更新されているかどうをチェックしません。

■ Pocket PowerPoint: プレゼンテーション

・「Pocket PowerPoint」を使って、すばやく簡単に、プロフェッショナルなプレゼンテーションを行うことができます。1対1のプレゼンテーションはInterLink上で行い、そして大人数に対してはInterLinkにVGAモニタを接続してプレゼンテーションします。PCで「Microsoft PowerPoint」を使ってプレゼンテーション資料を作成し、それをInterLinkに転送するだけです。

ただし「Pocket PowerPoint」のデータは、オリジナルの「Microsoft PowerPoint」 プレゼンテーションのテキスト、図、ノート、レイアウトを含みますが、アニメーショ ンやスライドは含みません。



[, citati citag y z Cz y z z z z z z z z

<操作の手順:プレゼンテーションをする>

- Microsoft Windows CEサービスを 使って、PC から InterLink にプレゼン テーションするファイルをコピーする
- 2 イチ押しキーの 🕲 を押す
- **3** プレゼンテーションのファイルをタップ し、[OK]をタップする
- 4 プレゼンテーションの表示とスライドの 切り替え方法を変更するときは、[ツール] メニューの[スライドショーの設定]を タップする
- **5** スライドショーを始めるときは、[表示]メニューの[実行]をタップする

詳しくは「Microsoft Windows CEサービス」をご覧ください。(→ 152ページ)

「Pocket PowerPoint」が 起動され、「プレゼンテー ションを開く」ダイアログ ボックスが表示されます。

テンプレートのファイルが開き、画面に表示されます。

手順4で「手動」を選んだ場合は、スライドをコントロールするために ◆ を使います。

しまっと教えて

●外出中でも、プレゼンテーションのファイルに、タイトルのスライドを加えることができます。[ツール]メニューの[タイトルスライド]をタップしてください。

他

の

ボイスレコーダーと InkWriter

「ボイスレコーダー」と「InkWriter」を使うと、アイデア、メモや考えなどをすばやく書 き留めることができます。「ボイスレコーダー」では、覚えておかなくてはならないこと や、考えを録音することができます。[InkWriter] では、手書きとキーボード入力のメモ をとったり、絵を描いたりすることができます。

「ボイスレコーダー」は「AV リンクメール」(→72ページ)にはリンクしていません。 ここで説明したことがらについて、さらに詳しく知るにはヘルプをご覧ください。

■ボイスレコーダー:アイデアや考えを記録する

「ボイスレコーダー」を使うと、考え、思いつき、電話番号などをすばやく録音できます。

<操作の手順:録音と再生>

- InterLink前側面のREC(録音)ボタンを 押す
- InterLink のマイクの近くで話すかマイ クに音源に近づけ、画面の「録音」ボタ ン: ● をタップする
- 録音を終了するときは、「停止」ボタン: ■ をタップする
- 再生するときは、録音リストで再生した いものをダブルタップする

| 0 = > | <u></u> | | 4 | |
|-------|----------------|-------|----------|--------|
| 名前 (| 目的 | 録音時間 | サイズ フォルゲ | 保存場所 |
| 緑音1 | 99/04/28 19:26 | 9.6秒 | 2.87KB | メインメモリ |
| 録音2 | 99/04/28 19:26 | 11.0秒 | 3.30KB | メインメモリ |
| 録音3 | 99/04/29 19:27 | 11.78 | 3.51KB | 北) 积 |

「ボイスレコーダー」が起動 されます。

マイクは、録音ボタンの左に あります。

録音が始まるときはビープ音 が鳴ります。

録音リストに新しい録音が表 示されます。

再生を一時停止するときは、 「一時停止」ボタン: 🕠 を タップします。

再開するときは、同じボタン をもう一度タップします。

もっと教えて

- ●録音されたものを全て次々と再生することができます。一番最初に再生したいものを選び、「コントロール」、 「連続再生」をタップします。選択した録音とそれに続く次の録音が再生されます。 短いビープ音が各々の録音 再生の間に鳴ります。
- 手順] でREC(録音) ボタンを押し続けると「ボイスレコーダー」が起動されて録音が始まり、REC(録 音) ボタンを離すまで録音されます。
- イヤホンマイクを使用すると、外部雑音が小さくなり声が明瞭になります。このとき内蔵のマイクとスピー カーは無効になります。
- 「イチ押しキー設定」で「Voice Rec」をタップして設定を変更すると、REC(録音)ボタンを押しても 「ボイスレコーダー」が起動されなくなります。

■ InkWriter:メモや描画の作成

「InkWriter」を使うと、紙の上に書くように簡単に文字や絵を書くことができます。書いたものを編集したり、書式を整えたりすることもできます。スタイラスやUSBマウス(別売)を使って画面に直接書くか、キーボードを使って文字をタイプするか、どちらでもやりやすい方法で情報を入力してください。

<操作の手順:文書を作成>

- [スタート]メニューから、[プログラム]、 [アクセサリ]、[InkWriter]をタップする
- 2 ドキュメントを作成する

終了したら、「ファイル」メニューの「名前

を付けて保存]をタップする

| ファイル(E) | 編集(日) | 表示(Y) | 鲁式(Q) | THID I I IS SO BY BIUS | ? X |
|---------|-------|-------|-------|------------------------|-----|
| 連絡 | 先情報 | 報 | | | 4 |
| 名前 | | | | 役職: | |
| 会社 | : | | | | |
| 住所 | | | | | |

「InkWriter」が起動されます。

スタイラスやマウスを使って 画面に直接書くときは、[表示]メニューの[手書き]をタップします。

キーボードから入力するときは、[表示]メニューの[入力]を タップします。

スタイラスやマウスを使って 絵や図を描くときは、[表示] メニューの[描画]をタップし ます。

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されるので、名前を入力して[OK]をタップします。

しまっと教えて

● 直線や円、長方形、三角形を描くことができます。「描画」画面で好みの形を描き、「選択」 ■ をタップし、描いたものをスタイラスでタップします。それから[書式]メニューの[形状の選択]をタップして、好みの形をタップします。

Microsoft Pocket Outlook

「Microsoft® Pocket Outlook™」には、「予定表」「連絡先」「仕事」「受信トレイ」が 含まれています。

- ・「Windows CE サービス」を使って、PCの「Microsoft Outlook」「Microsoft Schedule+」「Microsoft Exchange」内にある情報を、InterLinkと同期することができます。同期を行うたびに、「Windows CE サービス」はPCと InterLink で行われた変更を比較し、両方を最新のものにします。詳しくは「Microsoft Windows CE サービス」をご覧ください。(→ 152 ページ)
- ・「予定表」「連絡先」「仕事」には、それぞれ1件表示と一覧表示があります。1件表示 では各情報の詳細を見たり入力したりすることができます。一覧表示ではすべての情報 を見ることができます。
- ・「受信トレイ」ではPCの「Outlook」または「Exchange」との同期を通して、あるいはインターネットやネットワークアカウントを通してメールサーバに直接接続することで、電子メールを送受信することができます。

ここで説明したことがらについて、さらに詳しく知るにはヘルプをご覧ください。

■予定表:スケジュールを管理する

「予定表」を使うと、約束、会議などのスケジュールを管理することができます。いくつかある表示(日、週、月、年、計画表)のひとつを選んで予定をチェックします。対応するツールバーを選択すると、表示を簡単に切り替えることができます。

| 4月26日 | 4月27日 | 4月28日 | 4月29日 | 4月30日 |
|---------------------------|-------|-----------------------|---------------------------------|--|
| | | + | | |
| and the same and the same | | The State of the same | reconstruct have from more com- | and a comment of the second of |
| | | | | |
| | | | | |
| 全社会議 🕝 | | | | |
| | | | | → 取引先訪問 🗨 |
| | | | | |
| | 4月26日 | | 4月26日 4月27日 4月26日 ◆ | 全社会課 |

<操作の手順:新しい予定を作成>

◀ イチ押しキーの 🔞 を押す

「予定表」が起動されます。

2 図日、整理、図月、図年、製計画表のどれか1つをタップする

表示のしかたを切り替えます。

8

その他の情

8 その他の情報

3 🔳 をタップする



- 4 「予定の詳細」ボックスと「場所」ボックスに内容を入力する
- 5 時間と日付を選ぶ
- 7 予定をカテゴリーに登録するときは、 をタップし、表示された一覧で分類項目 をタップする
- おうにオプションがあれば選び、すべて 入力し終わったら[OK]をタップする

「予定」ダイアログが表示されます。

メモエリアをタップすると、 メモエリアが画面いっぱいに 表示されます。入力が終わっ たら、[OK]をタップして、元 の画面にもどります。

しまっと教えて

● 日または週表示のとき、予定をすばやく付け加えるには、時間を選択し、その内容と場所を入力します。場所はカッコに入れてください。たとえば「昼食(カフェテリア)」のように入力すると場所は「カフェテリア」であることが認識されます。

<操作の手順:会議のお知らせを作成>

「予定表」を使うと、「Outlook」「Pocket Outlook」または「Schedule+」を使っている人たちと会議の予定をたてることができます。出席予定者は会議のお知らせを受け取ると、出席できるかできないかを選びます。出席する場合は、会議の予定は自動的に彼らの予定表に追加されます。さらに返答は自動的に発信者に送り返され、発信者の「予定表」が更新されます。

会議のお知らせを送る前に、連絡先の電子メールのアドレスを入力し、「受信トレイ」でメッセージの送受信ができるように設定しておきます。「連絡先」「受信トレイ」の使い方については、このあとの「連絡先:住所録を管理する」(→ 145ページ)や「受信トレイ:電子メールの送受信」(→ 147ページ)をご覧ください。

- 「予定表」で[ツール]メニューの[オプション]をタップしする
- ② 「メールの転送」ボックスで表示される一覧で、転送方法をタップし、[OK]をタップする
- **3** 「ファイル」メニューで、「会議の作成」を タップする
- △ 会議の内容を入力する
- 5 招待したい連絡先を選ぶ
- **6** さらにオプションがあれば選び、すべて 入力し終わったら[OK]をタップする

「オプション」ダイアログが 表示されます。

同期を使ってメッセージの送 受信をする場合は、「Active Sync」を選びます。

ISP(Internal Service Provider) またはネットワークにつなぐ場合は、「受信トレイ」で設定したサービスを選びます。

次回メールサーバに接続するとき、またはPCと同期するときに「受信トレイ」によって会議のお知らせが出席予定者に自動的に送信されます。

しまっと教えて

● 「予定表」は、約束や会議などの予定をアラームを鳴らす、アラーム通知ランプの点滅、あるいは画面メッセージなどで通知します。通知方法を変更するときは、[ツール]メニューの[オプション]をタップし、 をタップして、[アラームのオプション]をタップします。

■連絡先:住所録を管理する

「連絡先」を使うと、友人や知人のリストを管理することができます。家でも外出先でも 簡単にその情報を見つけることができます。赤外線通信ポートを使えば、「連絡先」の情報を他のWindows CE搭載モバイル機器のユーザーと速やかに共有することができます。



<操作の手順:新しい連絡先を作成>

- ◀ イチ押しキーの 📦 を押す
- 2 🔟 をタップする



「連絡先」が起動されます。

「名前」ダイアログが表示されます。

- 3 名前を入力する
- 4 p または をタップし、それぞれの場所に情報を入力する

会議のお知らせや電子メール の伝言を送る場合は、電子 メールのアドレスも入力して ください。

メモエリアをタップしてメモ を入力したり、一覧から分類 項目を選びます。

でもっと教えて

● 他のWindows CE搭載モバイル機器に、連絡先を一度に25件まで送信することができます。一覧表示で、送りたいアドレスカードをタップし、[ファイル]メニューの[送信]をタップしてください。アドレスカードを受信するときは[ファイル]メニューの[受信]をタップしてください。

■仕事:仕事リストの管理

「仕事」を使うと、遂行すべき仕事の内容を管理することができます。期限切れの仕事は 太い赤字で表示されます。



<操作の手順:新しい仕事を作成>

- ◀ イチ押しキーの ⑧ を押す
- 🤈 📝 をタップする



「仕事」が起動されます。

「仕事」ダイアログが表示されます。

- 3 仕事の詳細を入力する
- ◢ 開始の日付、期限、その他の情報を選ぶ
- **5** メモを付け加えるときは、**®** をタップし、 メモエリアをタップしてメモを入力する
- 6 仕事をカテゴリーに登録するときは、 をタップし、表示された一覧で分類項目 をタップする
- 7 さらにオプションがあれば選び、すべて 入力し終わったら[OK]をタップする

メモエリアをタップすると、 メモエリアが画面いっぱいに 表示されます。入力が終わっ たら、[OK]をタップして、元 の画面にもどります。

€もっと教えて

● 仕事に完了マークを付ける ときは、仕事リストの「状態」 欄のチェックボックスをタッ プします。終了したすべての 仕事を消去するときは、[編集] メニューの[完了した仕事の 削除]をタップします。

■受信トレイ:電子メールの送受信

「受信トレイ」を使うと、電子メールの送受信ができます。インターネットまたはネットワークアカウントを通してメールサーバにつなぐか、またはPCと同期することによって電子メールの送受信ができます。



<メールサーバへの接続>

メールサーバに直接接続して、メッセージの送受信をします。モデムを使ってインターネットサービスプロバイダ (ISP) に接続するか、またはモデムカードやイーサネットカードを使って、メールサーバが接続されているLANに接続してください。(→154ページ)インターネットサービスプロバイダまたはLANに接続するほかに、メールサーバと通信するために必要な情報を「受信トレイ」に設定する必要があります。

ドメインネームは、通常の商用プロバイダ接続時には必要ありません。

できっと教えて

●「受信トレイ」は AOL やMSN™などのプライベートメールプロトコルとの接続は現在サポートしていません。また、こうしたプライベートなプロトコルを通してメールの送受信を可能にする別の会社のプログラムが見つかることがあります。Webページで「Windows CE」をキーワードにして検索し、別会社のプログラムを見つけましょう。

<操作の手順:受信トレイを設定してメールサーバに接続する>

インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から、POP3またはIMAP4のサーバ名、SMTPホスト名、ユーザー名、パスワード、ドメインネーム(ネットワーク接続の場合)の情報を得る

通常、商用プロバイダに接続 するときは、ドメインネーム 入力は必要ありません。

デスクトップの「受信トレイ」アイコン をタップする

「受信トレイ」が起動されます。

その他の 情

報

- [サービス]メニューの[オプション]を タップする
- [サービス]タブをタップし、[追加]をタッ プする
- 「サービスの種類」ボックスで「IMAP4 メール または 「POP3メール」を選び、 「サービスの名前」ボックスに入力し、 [OK]をタップする
- 手順1の情報を入力し、「接続」ボックス で使用するリモート接続の種類を選ぶ
- 「全般の設定(2/3)」ダイアログで、希 望のオプションを選ぶ
- 「メール受信トレイの設定(3/3)」ダイ アログで、希望のオプションを選ぶ

「オプション」ダイアログが 表示されます。

「サービスの名前」ダイアロ グが表示されます。

選択したサービスの種類に 合った「サービスの定義(1/ 3) |ダイアログが表示されま

ネットワーク接続で電子メー ルを受信する場合は「ネット ワーク接続しを選びます。 初めて接続する場合は「新し い接続」を選びます。リモー トネットワークウィンドウが 表示されるので「新しい接 続! アイコンをダブルタップ し、ウィザードの指示に従っ てください。終了したらタス クバーの「受信トレイ」アイ コンをタップし、「受信トレ イ | の設定を続けて行ってく ださい。詳しくは「リモート ネットワークの設定 | をご覧 ください。(→ 154ページ)

しきっと教えて

- 手順8の「メール受信トレイの設定(3/3)」ダイアログの「メッセージのダウンロード」では、初期設定 としてどのようにメッセージをダウンロードするかを選択します。「メッセージすべて」を選択すると、 InterLinkにより多くの保存スペースをとります。「メッセージヘッダーのみ」を選択すると、メッセージのダ ウンロードにかかる時間を短縮することができます。
- 手順8の「メール受信トレイの設定(3/3)」ダイアログの「メッセージの内容」では、メッセージをフル コピーするとき添付ファイルや会議のお知らせをダウンロードするかを選択します。この設定は、初期設定と してすべてをダウンロードすることを選んでも、またはメッセージを開き、「全文をサーバーからコピー」をタッ プしてすべてのメッセージを選択的にダウンロードする場合にも適用されます。さらに、会議のお知らせを受 け取りたい場合は、「Exchange サーバ」の管理者があなたのアカウントためにリッチテキストフォーマット をサポートする必要があります。これが可能かどうか、管理者にお問い合わせください。

<操作の手順:受信トレイで電子メールを送受信し、切断する>

- **1** [サービス]メニューで使用するサービス が選択されているか確認する
- **2** [接続]をタップし、メールサーバに接続する

- **3** メッセージー覧の中にあるメッセージを ダブルタップし、メッセージを開く
- 4 [サービス]メニューの[接続]をもう一度 タップし、[受信トレイ]とメールサーバ を切断する

選択されているサービスには、選択マークが付いています。

InterLinkとメールサーバの情報が同期します。新しいメッセージが受信トレイフォルダにダウンロードされ、送信トレイフォルダのメッセージが送信され、サーバ上で消去されたメッセージが受信トレイから取り除かれます。これらのフォルダは、受信トレイを設定するときに作成した「サービス」の下に保存されます。

全メッセージを読みたいときは [サービス]メニューの [全文をサーバからコピー] をタップします。

ダイヤルアップ接続の場合は、さらにステータスバーの [リモートネットワーク] アイコンをダブルタップし、 [切断] をタップします。

でもっと教えて

- 初期設定としてメッセージは、作成したサービスの中の4つのフォルダ(受信トレイ、削除済みアイテム(ローカル)、送信トレイ、送信済みアイテム)のひとつに表示されています。削除済みアイテム(ローカル)フォルダには、InterLinkで削除されたメッセージが含まれています。IMAP4を使用していると削除済みアイテムフォルダが見えます。このフォルダはサーバが削除したメッセージのためにあります。削除済みアイテムと送信済みアイテムフォルダの動作は「受信トレイ」で選択されたオプションに依存します。
- フォルダを追加してメッセージを整理したい場合は、[ファイル]メニューの[フォルダ]の[新規フォルダ]をタップして作成した後、新規フォルダにメッセージをドラッグします。作成したフォルダの動作は、POP3を使用しているか IMPA4 を使用しているかに依存します。
- POP3では、作成したフォルダにメッセージをドラッグすると、メッセージとメールサーバにあるそのコピーとのリンクは壊れます。次回接続したとき、メールサーバは受信トレイのメッセージがなくなっていると判断し、サーバからそれらを削除します。その結果、メッセージの複写はできなくなります。また作成したフォルダに移動したメッセージには、InterLink 以外からはアクセスできなくなります。
- IMAP4では、作成したフォルダや移動したメッセージはサーバに反映されます。たとえば、受信トレイフォルダから2つのメッセージを「ファミリー」というフォルダに移動したとします。サーバはファミリーフォルダのコピーを作成し、そのメッセージをそのフォルダにコピーします。その結果、InterLinkからでもPCからでも、メールサーバに接続したときにはいつでもメッセージが見られます。フォルダの同期は、新しいフォルダを作成したときやメッセージをフォルダに移動したとき、「受信トレイ」を終了したとき、「サービス]メニューの[フォルダの同期]を選択したときに行われます。メールサーバ切断時にメッセージを見たい場合は、フォルダをタップし、「サービス]メニューの「オフラインフォルダ」をタップします。

< ActiveSync を使って電子メールを同期>

電子メールにアクセスするもうひとつの方法は、InterLinkとPCを同期する方法です。

- ・PCの「Windows CEサービス」を使って、PCの「Outlook」または「Exchange」の「受信トレイ」と、InterLinkの「受信トレイ」間でデータを交換し、電子メールメッセージの送受信ができます。同期をすると、それぞれのコンピュータで行われた変更は、互いのコンピュータに転送されます。PCの受信トレイに新しいメッセージが入ると、そのメッセージはInterLinkにコピーされます。InterLinkのメッセージを削除すると、次回同期したときにそのメッセージはPCからも削除されます。InterLinkで新しい電子メールメッセージを作成して送信すると、そのメッセージはPCに移動し、次回同期したときに送信されます。さらに「予定表」「連絡先」「仕事」で行われた変更も更新されます。
- · InterLink の「受信トレイ」は、PC と同期して電子メールを受け取るように初期設定されています。しかし電子メールメッセージは初期設定では同期していないため、PC の「Windows CEサービス」で、同期するときは電子メールメッセージも同期するように設定する必要があります。PCでモバイルデバイスフォルダ(「Windows CEサービス」のインストールにより作成される)内の InterLink のアイコンをクリックし、[ツール]メニューの[ActiveSync 設定]をクリックします。そして[オプション]ボタンをクリックして、どのくらいの量のメッセージをダウンロードするか、添付ファイルを含めるかなどの設定をしてください。

設定や同期の使い方についての操作は、「Microsoft Windows CEサービス」をご覧ください。(→152ページ)

< ActiveSync を使ってメッセージをダウンロードする>

電子メールを送受信するには、PCに接続し同期を初期化します。

- ・同期の初期化の方法は、PCへの接続のしかたと「Windows CE サービス」で選択されている設定に依存します。詳しくは「Microsoft Windows CE サービス」をご覧ください。(\rightarrow 152ページ)
- ・同期を行うと、PCの「受信トレイ」内にある新しいメッセージの最初の50行が InterLinkの受信トレイフォルダにコピーされ、InterLinkの送信トレイフォルダのメッセージが送信されます。これらのフォルダは ActiveSync の下に保存されます。メッセージを開くには、メッセージー覧内のメッセージをダブルクリックしてください。

< ActiveSync を使った場合のメッセージとフォルダの管理>

- ・メッセージは、ActiveSyncサービスの4つのフォルダ(受信トレイ、削除済みアイテム(ローカル)、送信トレイ、送信済みアイテム)のひとつに保存されます。削除済みアイテムと送信済みアイテムフォルダの動作は「受信トレイ」で選択されたオプションに依存します。
- ・メッセージを受信トレイではなく、別のフォルダに保存したい場合は、[ファイル]メニューの[フォルダ]の[新規フォルダ]をタップします。新しくフォルダを作成した後、そこにメッセージをドラッグします。これにより、メッセージとPC上のコピーとのリンクは壊れます。次回同期したときは、作成したフォルダ内のメッセージは同期しません。PCは、InterLinkの受信トレイのメッセージがなくなっていると判断し、両方の受信トレイフォルダを一致させるためにPCの受信トレイフォルダからそれらを削除します。その結果、メッセージの複写はできなくなります。また作成したフォルダに移動したメッセージには、InterLink以外からはアクセスできなくなります。

<操作の手順:メッセージの送信>

- ¶ 「受信トレイ」で、[作成]メニューの[メッセージの作成]をタップする
- **2** [宛先]欄をタップし、受取人の電子メールアドレスを入力する
- **3** [件名]欄をタップし、メッセージのタイトルを入力する
- 4 メッセージ本文欄をタップし、メッセージを入力する
- **6** [送信]ボタンをタップする



メッセージを作成するウィン ドウが表示されます。

「連絡先」に登録した人が受取人の場合は、 をタップし、アドレス帳の一覧または「アドレスの選択」からアドレスを選びます。

「ファイルの添付」ダイアロ グが表示されるので、ファイ ルを選択し、[OK]をタップし ます。

メールサーバに接続していない場合は、メッセージは送信トレイに移動し、次回接続または同期したときに送信されます。

Microsoft Windows CE サービス

付属の CD-ROMから「Active Sync 付き Microsoft Windows CE サービス」を PC に インストール する (\rightarrow 62 ページ) と、 PC と InterLink 上の情報が同期(シンクロナイズ)できます。

「同期」とは、InterLink と PC 上のデータを比較し、たとえば、次のように両方のデータを最新の情報に更新することです。

- ・InterLinkをPC上の「Microsoft Outlook」(「Outlook Express」との受信トレイ 同期は現在サポートされていません。)、「Microsoft Schedule+」、「Microsoft Exchange」のいずれかと同期させて、「Pocket Outlook」のデータを常に更新しておきます。
- ・InterLink と PC 間で、「Word」や「Excel」の文書、「Access」そして他の ODBC データベースやテーブル、「InkWriter」の文書を同期します。ファイルは自動的に正しいフォーマットに変換されます。

また、Windows CEサービスでは、次のようなこともできます。

- · InterLink のデータをバックアップまたは復元します。
- · InterLink 上にプログラムを追加または削除します。
- · InterLink と PC 間で、(同期できないものでも) ファイルをコピーします。

■ファイルの同期

PCからInterLinkに文書を移動する方法の1つに、下記の方法があります。

・InterLink と PC を接続し、PC のモバイルデバイスフォルダ内の InterLink のアイコンを開き、ファイルをドラッグします。ファイルは自動的に Windows CE で読めるフォーマットに変換されて、コピーされます。

しかし、InterLink と PC に頻繁に更新される文書がある場合、InterLink と PC を同期 して常に最新のコピーがあるようにするこもできます。両方の同期ファイルフォルダに 同期させたいファイルを入れておくと、ファイルは同期中に両方で更新されます。

ひもっと教えて

● InterLinkの同期ファイルフォルダは、My Documents フォルダ内にあります。PCの同期ファイルフォルダは、「デバイス」同期ファイルと呼ばれ、「デバイス」の部分にはInterLinkの名前が入ります。Windows 95 の場合、フォルダは My Documents フォルダ内にあります(c:¥My Documents¥ デバイス同期ファイル)。Windows NT の場合、フォルダは Personal フォルダ内にあります(c:¥Winnt¥Profiles¥ username¥ Personal デバイス同期ファイル)。

8

その他の情報

■同期ファイルの拡張子と属性の変換

PCからInterLinkにファイルを転送すると、ファイルはInterLinkで読めるフォーマットに変換されます。そして、ファイルの拡張子は変更されます。ファイル変換の際にファイル属性が変更されたり、取り除かれたりすることもあります。たとえば「Microsoft Word」の文書をInterLinkに転送すると、文書の書式のいくつかが取り除かれたり、変更される場合があります。またファイル拡張子は「.pwd」(Pocket Word)に変更されます。この文書を再び PC に転送すると、ファイル拡張子は「.doc」に戻りますが、変更されたり取り除かれたりした書式は失われたままです。

そのために、ファイルの転送に同期ファイルフォルダを使い、しかも元の文書のすべての書式を保持したい場合は、別のフォルダに元のファイルのコピーを心がけてください。 詳しくは[Windows CEサービスヘルプトピック]のヘルプで、変換でファイルの属性がどう影響するかの説明をご覧ください。

また、外出先でInterLink内蔵のモデムを使って直接PCに接続したり、ネットワークに接続してPCと同期する方法については、「リモート同期のためにPCと接続する」をご覧ください。(\rightarrow 157 ページ)

しまっと教えて

● InterLinkのPocket Excel または Word にパスワード保護がかかっている場合は、ファイルがPCと同期される前にパスワード保護を外してください。ファイルを開き、[ファイル]メニューの[パスワード]をタッブし、パスワードボックスをクリアします。

■ PC に InterLink のデータをバックアップする

InterLink 本体のメモリ上のデータを PC にバックアップすることができます。

- InterLink と PC を付属のシリアルケー ブルで接続する
- **2** PC上でモバイルデバイスフォルダを開き、[ツール]メニューの[バックアップ]をクリックする
- 3 バックアップ先のフォルダを確認して [OK]をクリックする
- 4 バックアップが完了したら[OK]をクリックする

バックアップが始まります。 バ ッ ク ア ッ プ す る 間 、 InterLinkは使用できません。

リモートネットワークの設定

外出先で、InterLink を使って PC、ネットワークあるいはインターネットに接続する場 合は、まずダイヤルアップ接続を確立しなければなりません。これを「リモートネット ワーク」と呼びます。「リモートネットワーク」には、下記のオプションがあります。

- ・インターネットサービスプロバイダ(ISP)に接続し、電子メールの送受信やWebサ イトのホームページを見ることができます。この方法については「インターネット接続 のための設定をする」「インターネットに接続する」をご覧ください。(→55~58ペー ジ)
- ・会社のネットワークに接続し、電子メールの送受信やイントラネットのホームページを 見たり、ネットワーク上のファイルにアクセスしたりすることができます。この方法に ついては、下記の「会社などのネットワークに接続する」をご覧ください。
- ・自分のPCに接続してリモートに同期し、「Pocket Outlook」データなどの情報を同 期することができます。この方法については「リモート同期のためにPCと接続する」 をご覧ください。(→ 157ページ)

同期について、詳しくは「Microsoft Windows CEサービス」をご覧ください。(→ 152ページ)

会社などのネットワークに接続する

LAN (Local Area Network) などのネットワークに接続すると、電子メールを送った り、ファイルサーバにアクセスしたり、イントラネットのホームページを見たりでき、ま たそこからインターネットにもアクセスできます。ネットワークに接続するには、下記 の2つの方法があります。

- · RAS (Remote Access Service) アカウントを使ってダイヤルアップ接続をしま す。なお、ダイヤルアップ接続の設定をする前に、あなたの RAS アカウントをネット ワーク管理者に設定してもらう必要があります。詳しくは「ネットワークへのダイヤル アップ接続 | をご覧ください。(→ 155ページ)
- ・イーサネットカード(LANカード)とネットワーク端子を使って、ネットワークに接 続します。 詳しくは 「ネットワーク (イーサネット) 接続 | をご覧ください。 (→ 156 ページ)

■ネットワークへのダイヤルアップ接続

- ネットワーク管理者から、会社のダイヤルアップアクセスの電話番号、ユーザー名、パスワード、ドメイン名の情報を得る
- [スタート]メニューから、[プログラム]、 [通信]、[リモートネットワーク]の順に タップする
- **3** 「新しい接続」アイコンをダブルタップする
- 4 「接続名」欄に接続先の名前を入力し、「ダイヤルアップ接続」をタップして、[次へ]をタップする
- 「モデムの選択」欄の ▼ をタップし、表示される一覧で使用するモデムをタップし、「次へ」をタップする
- **6** 接続先の電話番号を入力し、[終了]をタップする

一度ダイヤルアップ設定ができれば、登録した、この接続 アイコンをダブルタップし、ユーザー名とパスワード、ド メイン名を入力して[接続]をタップすることで、ネット ワークに接続できます (→58ページ)。

そして「Pocket Internet Explorer」を使ってイントラネットのホームページを閲覧したり(→59ページ)、「AVリンクメール」や「受信トレイ」を使って電子メールの送受信ができます。ただし「AVリンクメール」(→60ページ)「受信トレイ」(→147ページ)を使う前に、メールサーバと通信するための設定が必要です。

リモートネットワーク·ウィ ンドウが開きます。

新しい接続ウィザードが起 動されます。

「会社ダイヤルアップ」のように、接続先がわかりやすい 名前を入力します。

[モデムの設定]や[TCP/IPの 設定]ダイアログの設定につ いては56ページをご覧くだ さい。

これで、ダイヤルアップ接続 が設定できました。新しい接 続が登録され、リモートネッ トワーク・ウィンドウにアイ コンで表示されます。

その他の情

■ネットワーク(イーサネット)接続

InterLinkをネットワークに接続するには、ネットワークごとに固有の値を設定する必要があります。実際の設定は、ネットワークについて十分知識のある管理者に相談し、設定してください。イーサネットを使うためのドライバは、インストールされています。

- イーサネットカードを InterLink の PC カードスロットに入れ、ネットワーク ケーブルをつなぐ
- **2** AC アダプターを、InterLink に接続して、ネットワーク接続する
- 3 [IPアドレスを指定]にチェックを付け、 [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[既定 のゲートウェイ]に固有の値を設定する
- 【ネームサーバー] タブをタップし、[プライマリ DNS]、[セカンダリ DNS]、[プライマリWINS]、[セカンダリWINS] にそれぞれ固有の値を設定する
- 5 [OK] をタップする
- **6** LANカードをいったん取り出し、10秒後に、再度InterLinkに挿入する
- 7 [スタート]メニューから、[設定]、[コントロールパネル]をタップし、「ネットワーク」アイコンをダブルタップする
- **8** [オーナー情報] タブをタップしてユーザー名、パスワード、ドメインを入力する

イーサネットカードは NE 2000 互換のものが必要です。PC カードスロットへのカードの入れ方は 128ページをご覧ください。

「'NE2000 Compatible Ethernet Driver'設定」画面の [IPアドレス] タブが開きます。電池駆動の場合、バッテリー残量についての警告メッセージが表示されることがあります。

[プライマリWINS] に入れる値は、同期PCのIPアドレスにします。

「'NE2000 Compatible Ethernet Driver'設定」画面 が閉じ、デスクトップ画面に 戻ります。

これで設定は終了します。

手順2でダイアログが自動的に表示されない場合は、「スタート」メニューから「設定」、「コントロールパネル」をタップし、「ネットワーク」アイコンをダブルタップします。イーサネットカードに対応したドライバをタップし、「プロパティ」をタップします。

接続が確立されれば、「Pocket Internet Explorer」を使って、イントラネットのホームページを閲覧したり、「受信トレイ」を使って電子メールの送受信ができます。「Pocket Internet Explorer」を使ってイントラネットのホームページを閲覧したり(\rightarrow 59ページ)、「AV リンクメール」や「受信トレイ」を使って電子メールの送受信ができます。ただし「AV リンクメール」(\rightarrow 60ページ)「受信トレイ」(\rightarrow 147ページ)を使う前に、メールサーバと通信するための設定が必要です。

しまっと教えて

●ほとんどのネットワークはDHCP機能を使っているため、サーバ情報の設定を変える必要はありません。必要であれば、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

注意

- ●使用されないときは、カードをPCカードスロットから抜いてください。LANに接続されている場合、単3形電池駆動でもオートサスペンド動作しません。(→38ページ)
- ●「'NE2000 Compatible Ethernet Driver'設定」画面の表示中は、LANカードを 抜き差ししないでください。データが失われる場合があります。

リモート同期のために PC と接続する

リモート同期をするには、下記の条件を満たしていることが必要です。

- ・まずInterLinkとPCの間のパートナーシップをPC側で確立しなければなりません。
- ·PCの電源を入れ、ログオンしなければなりません。またPC上で「Schedule+」「受信トレイ」「Outlook」のいずれかが動作していなければなりません。
- ・モバイルデバイスウィンドウの右下隅に、接続ステイタスが「モバイルデバイスの 接続待機中」と表示されていなければなりません。
- · 「Windows CEサービス」の[ActiveSyncの設定]ダイアログで、同期が有効になっているはずです。(あるいは[更新の必要なデータを自動的に同期する]を選ぶこともできます。)
- ・モデムを通してPCと通信する場合は、モデムのスイッチが入っていなければなりません。また「Windows CE サービス」の自動接続を有効にするか、モバイルデバイスウィンドウが開いていなければなりません。
- ・ダイヤルアップまたはネットワーク接続を通してPCと通信する場合は、PCのネットワークにログオンしなければなりません。PCから離れる前に「Windows CEサービス」の「プロパティ」で[ネットワーク経由での接続]で選択を有効にしておいてください。

外出中、社内のPCの電源が切れている場合は、リモート同期することはできません。しかしネットワークに直接ダイヤルして電子メールを受け取ることはできます。詳しくは「会社などのネットワークに接続する」をご覧ください。(→ 154 ページ)

以上の条件があえば、外出中、社内のPCと同期できます。その方法には下記の3種類があります。

- ・RASアカウントを使って、ダイヤルアップ接続をします。ダイヤルアップ接続をする前に、あなたのRASカウントをネットワーク管理者に設定してもらう必要があります。一度ネットワークに接続されると、InterLink は PC を見つけて同期を初期化します。詳しくは「ネットワークへのダイヤルアップ接続」をご覧ください(→ 155ページ)。接続後は、[スタート]メニューから、[プログラム]、[通信]、[ActiveSync]を選びます。「ActiveSync」ダイアログで、設定したダイヤルアップ接続を選び、接続したいPCを選びます。
- ・ネットワークカードを使ってネットワークに接続します。ネットワークに接続される と、InterLink は PC を見つけて同期を初期化します。詳しくは「ネットワーク(イー サネット)接続」をご覧ください(→ 156ページ)。接続後は、[スタート]メニューか ら、[プログラム]、[通信]、[ActiveSync]を選びます。「ActiveSync」ダイアログで、 ネットワーク接続を選び、接続したい PC を選びます。
- ・PCに直接つながっているモデムへダイヤルアップ接続をします。モデムは呼び出し音に答えるように設定されていなければなりません。詳しくは「PCのモデムへのダイヤルアップ接続」をご覧ください(下記)。接続後は、[スタート]メニューから、[プログラム]、[通信]、[ActiveSync]を選びます。「ActiveSync」ダイアログで、設定したダイヤルアップ接続を選び、「接続先」一覧から PC を選びます。

■ PC のモデムへのダイヤルアップ接続

接続先のPCがWindows95を使用している場合には「Dial-Up Networking Upgrade 1.2」をインストールし、もし「Dial-Up Networking Upgrade」で「User Level Access」が有効になっている場合にはユーザアカウントを設定する必要があります。Windows 98を使用している場合には、第2のダイヤルアップ接続機器を追加する必要があります。詳しくは「Windows CE サービス」のヘルプをご覧ください。

- **1** モデムの取扱説明書にしたがって、PC にモデムをインストールする
- **2** PC のモデムを接続した回線の電話番号を書き留めておく

- **3** PC上で、モバイルデバイスフォルダを 開き、[ファイル]メニューの[通信]をク リックする
- **4** [シリアルポート経由での接続]の[ポートー覧]で、使用するモデムをクリックする
- **5** [モバイルデバイスの接続を有効にする] を有効にする
- **6** [シリアルポート経由での接続]と[ネット ワーク経由での接続]の両方で、[接続を有 効にする]をクリックする
- **7** 以降は、「インターネット接続のための設定をする」(→55ページ)の手順にしたがって操作する

接続先の電話番号は、操作手順2で書き留めておいた番号を入力します。

■リモート接続のヘルプ

ここで説明している手順について、他の手順と同様に詳しくは下記をご覧ください。

- ・「受信トレイ:電子メールの送受信」(→147ページ)
- · 「Microsoft Windows CE サービス」 (→ 152ページ)
- ・InterLinkのヘルプ。[スタート]メニューの[ヘルプ]から、[受信トレイ]、[通信]または[同期]をタップしてください。
- ・PCの「Windows CE サービス」のヘルプ。モバイルデバイスフォルダを開き、[ヘルプ]メニューの[Windows CE サービスヘルプトピック]を選びます。トラブルシューティング情報もここにあります。

8

その他の情

ハードウェア仕様

| | <u> </u> | | | | |
|---|--|--|--|--|--|
| CPU MIPS RISC CPU | | | | | |
| ROM 32MB | | | | | |
| RAM*1 SDRAM 32MB | | | | | |
| 表示能力 液晶画面 65,536 色 *2、カラー D- | 65,536 色*2、カラー D-STN 液晶 (バックライト付) | | | | |
| 液晶サイズ 640×480ビット、7.2 | 640×480ビット、7.2型 | | | | |
| 入力方式 キーボード (キーピッチ: | 16mm)、スタイラス | | | | |
| 内蔵モデム* ³ データ:56kbps (V.90) | 準拠)、FAX:14.4kbps | | | | |
| 拡張コネクタ シリアル (RS-232C) | シリアル (RS-232C) | | | | |
| 外部ディスプレイ出力*4 | 外部ディスプレイ出力 *4 (最大 800 × 600 ドット) | | | | |
| モジュラージャック (RJ- | モジュラージャック (RJ-11) | | | | |
| インターフェイス データ通信 PHS*5*6 (PIAFS)32kbp | PHS*5*6 (PIAFS)32kbps | | | | |
| デジタル携帯電話 (PDC) | デジタル携帯電話 (PDC) 9.6kbps | | | | |
| USB コネクタ *7 | USB コネクタ *7 | | | | |
| その他 赤外線ポート (IrDA1.1, I | 赤外線ポート (IrDA1.1, IrTran-P準拠) | | | | |
| イヤホンマイクジャック* | イヤホンマイクジャック *8 (3 極) | | | | |
| カードスロット PCMCIA TYPE II × 1 ス | スロット | | | | |
| コンパクトフラッシュ TY | コンパクトフラッシュ TYPE I × 1 スロット | | | | |
| AC電源 (付属 AC アダプ | ター 100 ~ 240V 使用) | | | | |
| | 単3形ニッケル水素蓄電池4本、単3形アルカリ乾電池4本、 単3形リチウム乾電池4本 | | | | |
| 駆動 別売ニッケル水素蓄電池 非通信時 (連続通信時) 約6.0時間 (約2.5時間) | | | | | |
| 時間*10 アルカリ乾電池 非通信時 (連続通信時) 約3.0時間 (約1.0時間) | | | | | |
| 外形寸法 (W)210mm × (H)18.8m | m × (D) 153mm (突起物を除く最大外形) | | | | |
| 質量 約720g (単3形アルカリ | J乾電池4本を含む) | | | | |
| 電源/ACアダプター | 電源/ACアダプター | | | | |
| 付属品 接続ケーブル/シリアル技 | 接続ケーブル/シリアル接続ケーブル、モジュラーケーブル | | | | |
| | i)、添付 CD-ROM (2 枚) | | | | |

別売品一覧

| ポータブル MD レコーダー | XM-R70 |
|----------------------------|---------------|
| 液晶デジタルビデオカメラ | GR-DVX7 |
| ポケットビデオプリンタくプリット> | GV-HT1 |
| USBキャプチャーカメラ | MP-UC1 |
| USBマウス | HC-M1U、HC-M3U |
| 充電器 (単3形ニッケル水素蓄電池4本セット) | MP-BC1 |
| 単3形二ッケル水素蓄電池4本セット | BN-E1X4 |

| イヤホンマイク (ø 2.5) | TF-PM20、TF-PM30 TF-PM40、TF-PM50 |
|-----------------------------------|------------------------------------|
| PDC 接続ケーブル | MP-PD1 |
| PHS 接続ケーブル(ビクター用) | MP-PV1 |
| PHS 接続ケーブル (NTT DoCoMo/ アステル用) | MP-PN1 |
| 外部ディスプレイ接続ケーブル | MP-VG1 |
| MD レコーダー接続用 PC アダプター | AC-XR1 |

用語説明

下記の用語説明は、InterLinkオリジナルアプリケーションの各ヘルプの「用語説明」でも見ることができます。

<英字>

bmp

Windows環境で標準的に使用されるビットマップファイル形式です。

Compact Flash

書き換え可能なフラッシュメモリを使った小型メモリカード。PCカードよりも小さく、記憶容量が4~48MBと多いのが特長です。デジタルスチルカメラの映像記憶用の電子フィルムや、携帯機器用の外部記憶メモリとして利用されています。

HTML(Hyper Text Markup Language)

インターネットのホームページを作るときに使われる記述言語。文字や画像などのデータや、別のページへのジャンプをHTMLタグと呼ばれる文字列を使って記述します。

IPアドレス

インターネットの標準プロトコルである TCP/IPで通信するために必要な、32ビットのアドレス情報です。通常、XXX.XXX.XXX.XXX (XXXは0~255の数字)で指定します。

IrTran-P

デジタルスチルカメラの赤外線画像通信装置を 利用して、カメラ同士や、カメラとコンピュータ/ プリンタなどの間で画像データを交換すること を目的にした、通信プロトコルの国際標準規格。

JLIP

ビデオ機器やカメラなどをパソコンで操作する 制御手段です。ビクターが開発した技術です。

imm

ビクター独自の動画ファイル形式です。「ビデオプレーヤー」で再生したり、「AVリンク」で送受信して楽しむことができます。

jpeg

静止画を 1/10 ~ 1/100 に圧縮するフォーマットです。

風景や写真データなどのファイル形式に効果的で、デジタルスチルカメラや画像データベース、カラープリンタの印刷処理などに利用されます。

MIDI

(Musical Instrument Digital Interface) ミディ。シンセサイザ同士やシンセサイザとコ

ミディ。シンセサイザ同士やシンセサイザとコンピュータを接続して、音色や音程などの情報を送るための方式。

PC カード

主にモバイルPCやノートPCで利用されるカード型拡張デバイスの標準規格。PCカードにはメモリカードやモデムカード、LANカードなどがあります。

Plug In

アプリケーションでさまざまな拡張機能を実現 するためにモジュールのことです。

InterLinkの「AVリンクメール」には、「スチルキャプチャー」「ピクチャーパレット」「ピクチャーアルバム」「ビデオキャプチャ」「ビデオプレーヤー」「ソフトシンセプレーヤー」「ラップンボイス」などの機能をPlug-Inとして組み込むことができます。

RGB

Red (赤)、Green (緑)、Blue (青)の、光の3原色。コンピュータ内部では、色の情報をRGB各8ビットの情報で持ち、全部で1670万種類の色を表現することができます。ディスプレイの仕様により、すべての色を表示できない場合は、ディザによる色の混ぜ合わせなどをして、表示します。

その他の情報

URL (Uniform Resource Locator)

インターネット上の情報にアクセスするために、 プロトコル(httpやftpなど)とアドレスを指 定したものです。

例:日本ビクターのホームページの URL は、 http://www.ivc-victor.co.ip.

USB (Universal Serial Bus)

デジタルデータを 1bit ずつ連続的に送信する、 シリアルインターフェイスのポートの1種類。 InterLink の USB コネクタには USB キャプ チャーカメラ (別売) やUSBマウス (別売) な どが接続できます。

<あ行>

ウィザード形式

いくつかのダイアログボックスに対話的に次々 に答えていくことにより、各種設定が簡単に行 えるようにする形式のことです。

エンコード

「符号化する」という意味。電子メールでは、画 像などのファイルをそのままでは送れず、テキ スト文字に変換して送らなければなりません。 そのためのエンコード方法が「Base64| 「uuencode」等です。

<か行>

カット編集

録画/録音した内容から、不要な部分を削除す るだけ編集のことです。

ガンマ補正

画像処理で利用される補正処理の1種類で、主 にディスプレイの中間色特性を補正するために 用いられます。補正に使用される関数が表わす 曲線がギリシャ文字のガンマ(γ)に似ていたこ とから、このように呼ばれています。

<た行>

ディザ

1ピクセルでは表現できない色や輝度の階調を、 複数ピクセルの組み合わせ (タイルパターン) に よって表現すること。

トラック

MDを録音/再生するときの音楽の単位。 通常は 1つの曲が1つのトラックになります。

<は行>

ピクセル

Picture Elementの略で、ディスプレイに表示 する/しない、色、輝度などをユーザーが制御で きる最小の単位。

ホスト名

サービスを提供する側のコンピュータに付いて いる名称のことです。インターネットでは、 mail.foo.co.jp のように「.| で区切った名称が 使われます。

くら行>

ラウンチ

launch (始める、起動する)。アプリケーション を起動する機能をいいます。InterLinkの「オリ ジナルブックマーク | では、ラウンチモードと呼 んでいます。

ラバーバンド表示

最初にタップした位置から、スタイラスのド ラッグに追従して輪ゴム (ラバーバンド) のよう に線や図形が表示されること。

故障と思う前に

おや、故障かな?と思ったら、修理を依頼する前にちょっとお確かめください。 画面に表示されたメッセージについては、InterLinkオリジナルアプリケーションの各へ ルプをご覧ください。

| こんなときは | ここをお確かめください ・AC 電源が正しく接続されていますか。(→29ページ) |
|---------------------------|--|
| | ・電池が正しく入っていますか。(→30ページ) |
| 電源が入らない | ・電池キャップロックスライダは、正しい位置になっていま |
| (通電ランプが点灯しない) | すか。(→30ページ) |
| | ・ニッケル水素蓄電池は充電してありますか。/アルカリ乾 |
| | 電池の容量がなくなっていませんか。 |
| | ・コールドリセット操作(→132ページ)をよく読んで行っ |
| | てください。 |
| 電源が入らない (画面に表示されない) | ・画面の明るさは正しく調整されていますか。 |
| (岡田に孜小とれなり) | (→36ページ)・電池の節約などのため、自動的に電源が切れる設定になっ |
| 自動的に電源が切れる | ています。「コントロールパネル」の「パワーマネージメ |
| | ント」で確認してください。(→52ページ) |
| 通信設定データやファイル、 | ・内蔵のバックアップバッテリーが放電している可能性があ |
| インストールしたアプリ | ります。(→28ページ) |
| ケーションが消えた | ・長時間電池が入っていない状態が続きませんでしたか。 |
| 75/5712 | (→30ページ) |
| スタイラスやキーボードの 入力を受け付けない | ・リセット操作をしてください。(→132ページ) |
| プログラムが反応しなく | · Ctrl キーと Alt キーと Del キーあるいは Alt キーと Tab |
| なった | キーを同時に押して、表示された「タスクマネージャ」で |
| PC カードやコンパクトフ | プログラムを終了させてください。 ・InterLink 対応のカードをお使いですか。 |
| ラッシュカードを入れても | ・カードを正しくセットしていますか。 |
| 認識しない | (→127~130ページ) |
| | ・InterLinkと通信相手の赤外線ポートをまっすぐ向き合わ |
| | せ、適切な距離(50cm以内)に置いていますか。 |
| 赤外線通信ができない | (→119、124ページ) |
| | ・蛍光灯や携帯電話、PHSなどから十分離して操作してく |
| | ださい。 |
| 通信ができない | ・電話回線とInterLinkのモジュラージャックが、付属のモジュラーケーブルで正しく接続されていますか。 |
| (内蔵モデム) | $(\rightarrow 114$ ページ) |
| | |

| 通信ができない (内蔵モデム) | ・電話回線がアナログ回線であることを確認してください。・電話回線のダイヤル方式(パルス式、トーン式)に合わせて、通信ソフトで正しく設定されていますか。 |
|-----------------------------|--|
| 通信ができない (携帯電話、PHS) | ・携帯電話やPHSに「圏外」の表示が出ていませんか。 ・携帯電話やPHSは、同一市内でも市外局番からダイヤル する必要があります。「リモートネットワーク」で接続先 の電話番号が正しく設定されていますか。(→55ページ) ・携帯電話側の設定がFAXモードになっていませんか。 データ通信モードとFAXモードの両方を「OFF」に設定 してみてください。 |
| PC と通信ができない (シリアルケーブル) | ・PCとInterLinkの拡張コネクタが、付属のシリアルケーブルで正しく接続されていますか。(→ 123ページ) ・ケーブルを接続したPCのシリアルポートが、Windows CEサービスのインストール中に選択したものと同じかどうか確認してください。 |
| インターネットに接続でき ない | ユーザーIDやパスワードは正しく入力されていますか。インターネットプロバイダサービスへの利用者が集中し、 つながりにくい時間帯ではありませんか。別のアクセスポイントへの接続を試してみるか、早朝などの空いている時間帯にかけ直してみてください。 |
| 「AV リンクメール」で相手 にメールが届かない | ・相手のメールアドレスは正しく入力されていますか。 |
| 「AV リンクメール」でメー ルが受信できない | ・[ツール]メニューの「基本設定」の「受信」で、受信サイズに制限を設定していませんか。 |
| 日本語の入力ができない | ・日本語が入力できる状態になっていますか。 (→ 48 ページ) |
| 日付や時刻が正しくない | ・「コントロールパネル」の「世界時計」で設定し直してく ださい。(→52ページ) |
| 音が鳴らない | ・「コントロールパネル」の「ボリューム&サウンド」を確 認してください。(→52ページ) |
| 処理が遅い | ・通信をしているときは、InterLinkの他の処理が遅くなります。それ以外のときも処理が遅い場合は、リセット操作をしてみてください。(→ 132ページ) |
| メモリの領域を増やしたい | ・「コントロールパネル」の「システム」で、記憶用メモリ とプログラム実行用メモリを調整してください。(→52 ページ) |

| <英字> | オリジナルブックマーク108 |
|---------------------------------------|----------------------|
| AC電源での操作 | |
| ActiveSync | <か行> |
| AVリンクメール60、65 | カスタマイズ 52 |
| InkWriter140 | カード |
| JLIP120, 161 | PCカード127 |
| MDコントローラー 101 | コンパクトフラッシュカード 129 |
| Microsoft Pocket Access 137 | スマートメディア127 |
| Microsoft Pocket Excel136 | カメラ 118、119 |
| Microsoft Pocket Internet Explorer 56 | キーボード35 |
| Microsoft Pocket Outlook 142 | クイックディクショナリー109 |
| Microsoft Pocket PowerPoint 139 | 携帯電話74、116 |
| Microsoft Pocket Word135 | ケーブル |
| Microsoft Windows CE 40 | PDC接続ケーブル 116、160 |
| Microsoft Windows CEサービス | PHS接続ケーブル116、160 |
| 60、152 | VGAケーブル125、160 |
| Microsoft オフィスコンパニオン 134 | シリアルケーブル 120、122、123 |
| MS-IME 98 | 交換 |
| PC62、123、157 | 電池交換 29 |
| PCMCIA→PCカード | コネクタ |
| PCカード127 | PDC/PHS接続コネクタ 116 |
| PCリンク152 | USBコネクタ118、121、126 |
| PDC/PHS通信ケーブル116、160 | 拡張コネクタ(シリアル) |
| PHS74,116 | 120,122,123 |
| RASアカウント154 | コントラストの調整36 |
| USBキャプチャーカメラ 118、121、160 | |
| USBマウス126、160 | <さ行> |
| | サスペンド38 |
| <あ行> | 仕事146 |
| 明るさの調整36 | 充電 29 |
| イチ押しキー | 受信トレイ147 |
| イチ押しキーで起動 42 | 仕様160 |
| イチ押しキー設定106 | シリアルケーブル 120、122、123 |
| インターネット53 | スタイラス33 |
| エクスプローラー134 | スタートメニュー41、46 |
| オートサスペンド38 | スチルキャプチャー84 |

| ステータスエリア 41 | 付属品 2 |
|----------------------|--------------------|
| スライダー41 | 別売品160 |
| 赤外線通信119、124 | ヘルプ 51 |
| 接続 | ペン → スタイラス |
| LAN接続(ネットワーク接続) 154 | ボイスレコーダー140 |
| PCとの接続157 | |
| 赤外線通信119、124 | <ま行> |
| ダイヤルアップ接続 55、155、158 | マイハンドヘルドPC 40 |
| セットアップ | |
| ソフトシンセプレーヤー98 | マウス |
| 97 トシブセブレーヤー98 | メモ機能110 |
| | モジュラーケーブル64、72、114 |
| <た行> | モデム115、158 |
| タスクバー41 | |
| ダイヤルアップ接続55、155、158 | <や行> |
| 調整 | 予定表142 |
| 明るさ36 | |
| コントラスト36 | <ら行> |
| ツールバー41 | ラップンボイス100 |
| デスクトップ40 | ランプ |
| 電源 | アラーム通知ランプ26、144 |
| 電子メール | |
| 電池 | パワーランプ29、37 |
| アルカリ乾電池28、30 | リセット |
| | コールドリセット132 |
| ニッケル水素蓄電池28、30 | 通常のリセット132 |
| リチウム乾電池28、30 | リチウム乾電池28、30 |
| 同期 150、157 | レジューム38 |
| | 連絡先 145 |
| <な行> | |
| ニッケル水素蓄電池 28、30 | |
| 日本語入力 | |
| | |
| <は行> | |
| ピクチャーアルバム82 | |
| ピクチャーパレット86 | |
| ビデオキャプチャー89 | |
| ビデオプレーヤー 01 | |

保証書 (別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」 等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

モバイルPCの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

この期間は、通産省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または PC サポートセンター窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

163~164ページの「故障と思う前に」に従ってお調べください。 それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により有料で 修理させていただきます。

| 便利メモ | お買い上げ日 | | | | モバイルPC |
|------|---------|------------|-----|---|---------|
| | | 年 | 月 | 日 | MP-C101 |
| | お買い上げ店名 | 2 (| .) | | _ |





私たちは環境・資源を たいせつにしています。 エコマーク認定の 再生紙(古紙100%含有)を 使用しています。



ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご転居等で保証書に記載のお買い上げ販売店に 修理をご依頼になれない場合は、 「PCサポートセンター」窓口にご相談ください。

お問い合わせ

ビクター製品についてのお買い物相談、 お取り扱い方法、お手入れ方法、その他ご不明な点は 下記までお問い合わせください。

ビクターPCテクニカルサポートセンター 受付時間 10:00 ~ 18:00 ※土日祝祭日を除く 電 話 (046) 278 - 1940 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

InterLinkホームページ http://www.jvc-victor.co.jp/interlink/ このホームページで、InterLinkの最新情報やサポート情報がご覧になれます。



AV&マルチメディア事業本部 情報诵信事業統括部

〒242-8514 神奈川県大和市下鶴間1644 電話 (046) 278-1892